

WINET 情報

ウイネット

特集 国連特別総会「女性2000年会議」

No. 6

2000. 9



国立婦人教育会館

WINET情報 ● CONTENTS

第6号 平成12年9月

特集 国連特別総会「女性2000年会議」

「女性2000年会議」に参加して 大野 曜.....	1
NGOの目から見た女性2000年会議	3
- 成果文書内容の実施にむけてのNGOの役割と課題 -	
国信 潤子	

会館事業情報

平成12年度婦人教育施設職員のためのセミナー ...	6
平成12年度教師のための男女平等教育セミナー ...	8
2000年女性学・ジェンダー研究国際フォーラム ...	9

婦人教育情報センターより

「女性関連施設データベース」公開！	12
国連特別総会「女性2000年会議」特別展示	14

書誌情報

女性・家族関係雑誌記事インデックス	17
テーマ展示図書案内	55
新着図書案内	61
新刊案内	63

編集後記

WINET（ウィネット）とは...WINET(Women's Information NETWORK system)は、国立婦人教育会館が収集している女性及び家族に関する様々な情報のデータベース検索システムの総称です。

「女性2000年会議」に参加して

国立婦人教育会館長 大野 曜

1. 国連特別総会「女性2000年会議」開催の経緯

国連は、第23期特別総会を「女性2000年会議：21世紀に向けての男女平等・開発・平和」として本年6月5日から10日までニューヨークの国連本部で開催しました。

この会議は、平成7年(1995年)到北京で開催された「第4回世界女性会議」をフォローアップするため“北京プラス5”と呼ばれています。

国際婦人年(昭和50年=1975年)に「平等・開発・平和」をテーマにメキシコシティで開催された第1回世界女性会議では『世界行動計画』を採択し、1985年には「国連婦人の十年ナイロビ会議」で『2000年に向けて婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略』を採択しました。その10年後第4回世界女性会議が開かれ『ナイロビ将来戦略』の実施状況を評価し、2000年までの12の重大問題領域を含む「行動綱領」と「北京宣言」が採択されました。「女性2000年会議」は、北京会議以降の各国の進捗状況と地域会議における実施状況の評価と見直しを踏まえ、「行動綱領」の完全実施に向けた今後の戦略について協議を行いました。

これまでの世界女性会議では、政府間会議と並行してNGOのフォーラムが開催されてきましたが、今回は国連特別総会のみで、NGOの参加資格や人数も制限されました。

2. 「女性2000年会議」の概要

(1) 参加状況

国連加盟国等約180カ国から国連常駐代表部の職員に加え約2,300名の政府代表団及び1,036の認定NGOから2,043名が参加しました。その他、会議に参加・傍聴できなかった人々が約2,000名ニューヨークに来ておりNGOが開いたワークショップ等に参加したと言われています。

日本からは岩男寿美子男女共同参画審議会会長を首席代表とし、39名からなる代表団が出席しました。日本からのNGOの参加状況は正確には把握されていませんが、700~800人がニューヨークに

赴いたのではないかとわれています。

(2) 会議の進め方

国連特別総会は、本会議と採択文書の協議が同時並行で行われ、休憩時間中にはパネル等が開かれました。

本会議場では、各国代表等による発言が行われ、その数は178加盟国、3非加盟国、16オブザーバー、4国連機関、1国連委員会(女子差別撤廃委員会)、5 NGO等207人に及び、その77%は女性でした。

準備委員会での合意ができない部分を残した「成果文書」については2つのワーキンググループで協議されました。更にワーキンググループで難航する事項については、課題別会合やコンタクトグループを開き、深夜に及ぶ協議が連日続けられました。これらの会議の間に、地域別討議やグループ別会合が開かれ、協議の方向や運営について打ち合わせました。日本が属するJUSCANZと呼ばれるグループは、カナダ等10カ国で構成されました。

女性に対する暴力や教育への取組については多くの国が重要な課題として意見が一致しました。一方、セクシャル・オリエンテーション(性的指向)やセクシャル・ライツ(性的権利)、家族の概念をめぐる表現(伝統的な家族を示そうとするthe familyと多様な形態の家族を含むfamilies等)、経済制裁をめぐる当該国間の対立等については議論が紛糾し、当初予定した9日には最終合意が得られず10日の明け方まで努力が重ねられました。「北京行動綱領」での合意を基本にし、そこからは一歩も後退しないことを誓って粘り強く合意に持って行かれたのです。

(3) 採択文書の要旨

「政治宣言」は、会議に参加した政府が「北京宣言」及び「北京行動綱領」並びに「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」の実施の決意を再確認するものです。

先進諸国による政府開発援助の国際目標の達成や女子差別撤廃条約の完全実施、男女平等の推進に向けた男性の関与と共同責任の強調、NGO及び女性団体の役割と貢献の再認識、2005年に行動綱

領等の実施状況を評価する会合の開催等の必要性等に言及しています。

「成果文書」 - 「北京宣言」及び「行動綱領」を実施するための更なる行動とイニシアティブ」は、第1章：前文、第2章：行動綱領の12の重大問題領域の実施に関する成果及び障害、第3章：「北京宣言」及び「行動綱領」の完全実施に際して直面する新たな課題、及び第4章：行動綱領の完全かつ更なる実施及び障害克服のための行動とイニシアティブ、から成っています。

第4章は、「国内レベル」「国際レベル」「国内及び国際レベル」の今後取るべき行動指針を提示しています。ドメスティックバイオレンスに関する立法、トラフィッキング（人の密輸）への総合的対策、「名誉犯罪」への言及、男性・少年の意識変革のための教育や政策の推進、予算配分へのジェンダ - 視点の導入、性別データの整備支援、平和構築へのジェンダ - 視点の導入、女性に対する新しい技術教育への支援等の指摘が重要だと思います。

3. 「女性2000年会議」雑感

(1) 政府代表団の一員として

6月4日12時に成田空港を出発して日付変更線の関係で同日の11時にニュ - ヨ - クに到着、国連本部での代表団登録の後、夕方には代表団打ち合わせが行われました。

首席代表の岩男先生、NGO顧問として国連婦人の地位委員会日本代表の目黒先生、国際婦人年連絡会世話人の中村先生、NGOレポ - トをつくる会の橋本先生、顧問議員団5名に関係各省から30名という大所帯です。

最も重要で大変な成果文書の協議には、目黒先生と橋本先生に外務省、課題別のコンタクトグループには関係省庁が配置されました。私は、本会議場の他資料収集のため国連ビルの内外を廻る機会も持てました。といっても情報をよく掴めず、日本のNGO主催のワークショップ等の見学、アメリカのNGOホスト・コミティが主催するカスタム・ハウスの訪問、8日夜のセレブレ - ティング・イブニングへの参加に終り、英語力不足を痛感しました。資料の収集には国連代表部の方をはじめ皆さんに大変お世話になりました。お陰で、8月1日からヌエック特別展示「女性2000年会議」が実施できました。

(2) 国連本部ビルの中で

全体会合は本会議場で、採択文書の実質的な協議やパネルは地下の会議場で行われました。地下の廊下には、国連機関がポスターや出版物の展示をしたり、パソコンコーナーが設けられていました。

連日、各国の政府代表を務める女性リーダーがキラ星のごとく壇上に並ぶパネルは壮観でした。例えば“Progress of the World's Women”と題するパネルには、オランダの開発・協力大臣、ウガンダの副大統領、インドのギタ・セン教授等が、“Women : The New Leadership in U.N. Agency”には、国連人権高等弁務官をはじめUNICEF、UNIFEM、WHO、国連食糧計画のトップを占める女性がパネリストでした。

一階のロビーでは美術展“Progress of the World's Women”がUNIFEMと国際女性美術館の共催で行われ、一般の観光客にも開放されていました。

(3) NGOの活動

世界各国のNGOは活発にロビーイングを行い、また国連プラザの一角に情報発信センターも開いていました。日本のNGOの活動は、ジャパン・グローバル・フォーラム、グローバル・フェミニズム・シンポジウム等がフォーラムを開催し、全国各地のグループがワークショップをもって参加していました。ジャパン・ソサエティでもシンポジウムが開かれ、日本の女性の状況を積極的に情報発信していました。国連会議場でも熱心に傍聴しているNGOの方々に会いました。

一番印象的なのは、政府代表団の中で成果文書の協議に重要な役割を果たされたNGO顧問の方々の活躍です。外交政策決定に参画されGOとNGOのパートナーシップを示されたことに心から敬意を表します。

この25年間女性の地位向上に向け多様な活動が活発になり、女性の様々なネットワークが形成されました。日本の女性のエンパワーメントも実効を示すようになってきました。21世紀に男女平等を実現するため、更なる行動に取組むことの重要性を改めて感じています。

[参考資料]

1. 「えがりて」男女共同参画推進本部ニュース132号(平成12年7月15日) 総理府男女共同参画室編集・発行
2. 「NEWSLETTER」最終号(2000.7.25)女性2000年会議 日本国内委員会有識者部会編集・発行
3. 房野桂『女性2000年会議 力強いNGOの宗教的原理主義者たちとの闘い!』(「女性展望」2000年8号 (財)市川房枝記念会出版部)
4. 関口悦子・加藤登紀子『国際情報国連特別総会「女性2000年会議」に参加して』(「女性教養」2000年8月号 (財)日本女子社会教育会)
5. 国際連合広報センター『女性2000年会議』(非公式訳)(2000年8月)

NGOの目から見た女性2000年会議

— 成果文書内容の実施にむけてのNGOの役割と課題 —

愛知淑徳大学教授、ジェンダー・女性学研究所所長 國信潤子

1. 国連特別会期開催の意味

2000年6月5日から9日までの5日間、ニューヨークにおいて国連総会特別会期が開催され、1995年に策定された北京行動綱領の実施状況のチェックと今後の課題について政府間で協議が行われた。また国連の社会経済理事会に協議資格をもつNGO（NGO with Consultative Status: CONGO）については各組織2名という限定で国連ビル内の会議場で傍聴及びロビー活動が可能となった。私はユネスコの傘下にある教育関連の国際NGOで国連の社会経済理事会に協議資格を持つアジア南太平洋成人教育協議会（Asian South Pacific Bureau of Adult Education：ASPBAE）というインドに本部のある組織の代表としてインド、インドネシアからの女性とともに参加した。この期間に先立って世論を盛り上げるためにニューヨークにある国連諸機関、女性民間組織、大学・大学院などがニューヨークのマンハッタン各地でシンポジウム、ワークショップなどを開催し北京行動綱領の推進を呼びかけた。世界各地のNGOが現状報告をし、さらに新たな問題について情報共有をおこなった。

今回の国連総会特別会期（以後特総）で協議されたのは1995年北京第四回世界女性会議において採択された北京宣言及び北京行動綱領についてである。各国政府担当者がその内容について実施状況を報告し、新たな問題について討議した。3月の時点で特総の後に出される予定の成果文書の原案がインターネットで流れはじめ、5月になってもその原案はまとまる様子なかった。最近ではこれらの国連文書の作成過程で原案原稿がすべてインターネットを通じて世界的に同時に共有される。このために多くのNGOはこれらの文書を予め検討し、各組織としての意見、提言をインターネットで担当局に

送信できるようになった。こうしたことが可能になったのはこの2年ほどのことである。このため現地にいなくても資料を読み、意見を伝えることは可能である。

2. NGOの存在理由

私は6月3日にニューヨークに到着し、早速登録手続きを完了した。国連ビルにはいるためのID、国連総会会場にはいるための入場券、各ワーキンググループの会議室にはいるためのIDと三種もが必要であり、入り口でのチェックは厳しかった。私は政府間会議が開始される前に6月4日（日）にニューヨークのコロンビア大学であったNGOによるシンポジウムに参加した。そこで今回の特総の抱える問題を司会者が明らかにした。そのシンポジウムの司会を担当したのはアメリカのラトガース大学教授でフェミニズム運動のリーダーでもあるシャーロット・パンチである。彼女は「今回の会議の準備段階でいくつかの国は国際的にすでに合意された北京行動綱領の内容についてささむし返し、その内容を後退させようとしている。また行動目標として数値目標をいれることに反対し、また期間を明記して実行することを躊躇している」と厳しく指摘した。「北京行動綱領の内容を実施するために必要な資源が確保されていない、このためにその政策推進が滞っている。女性の解放は促進されるどころか、後退させられつつある。」「北京行動綱領が後退させられることのないようにNGOは強力にロビー活動することが必要だ」また「北京行動綱領をさらにおし進めるためには、行動重視の文書とすること、そしてそれは実践されることが不可欠だ」と強調した。

またこのシンポジウムにはメアリー・ロビンソン（元アイルランド大統領）もパネリストの

一人として参加していた。彼女は政府による深い関与、責任ある実施、結果の評価が必要であること、また実践成功例の共有の必要性を強調した。「単に希望しているだけでは何も実現しない、政治的関与が不可欠であり、それは国家の責任においてなされねばならない」と見事なスピーチをし、会場を沸かせた。また選択議定書の批准を政府に要請することの重要性も指摘した。また彼女は「文化的伝統の名のもとに女性への差別、暴力、虐待を正当化することを許してはならない。また女性差別撤廃のためには女性の経済的権利の確保は不可欠である」と指摘し、成果文書に含めるべき内容の要点を説明した。

3. NGOのロビー活動

NGOの人々は何のためにわざわざニューヨークまで来たのか。今回は北京会議のときのように誰でもが参加できるNGOフォーラムがあるわけでもない。しかもCONGOにのみ制限されたとはいえ、3000人におよぶ世界中の女性組織のリーダーたちが特総におしよせてきたのはなぜなのか。何がこれほどまでにNGOを駆り立てるのか。

それは北京行動綱領の内容が見事な言葉で語られているにもかかわらず、現状があまりに旧態依然としており、女性差別撤廃は遅々として進んでいないことに業を煮やしているからだ。特総と同時進行したNGOや国連関連機関による多くのパネルディスカッション等によって、NGOが今回の特総で優先的にどのような活動、ロビー活動をするべきなのかが次第に見えてきた。

つまり、北京行動綱領の実施のためにはテーマごとに明確な主張をもって強力に各国政府に提言してゆくこと、そして自分たちと意見を共有する政府をNGOが積極的に支持表明をし、その政府の発言をバックアップしてゆく材料を提供することが必要なのだ。それなしには2000年女性会議の結果が1995年の文書より後退したものになりかねないという危機感がある。こうした危機感がもたれたのも理由あってのことである。今回の会議では準備段階また特総中にも保守派組織が団結して、大量の人員を国連そし

てニューヨークに送り込んだからである。特に宗教的原理主義の人々が北京行動綱領の内容に反対の声をあげ、組織的運動を展開していた。保守派とはバチカン法王庁(Holy See)、イスラム原理主義を信奉する諸国などである。特に今回バチカンの存在は目立っていた。成果文書作成のワーキンググループでも発言頻度は極めて多く、しかもその発言の多くが家族の多様性、性と生殖の自己決定権、性志向性の多様化などを決して認めない方向の発言であった。

4. 女性解放の困難

6月5日の開会式は誰でもが参加できるように国連の向かい側にあるダグハマーショルド・プラザの特設会場で開催された。アナン国連総長は「NGOの協力なしにはこの会議は成功しない」と強調した。しかし6月7、8日になっても一向に成果文書の作成は進展しなかった。それは論争点となるいくつかの領域について厳しい対立が次第に表面化し、互いに決して譲らない態度があきらかになってきたためである。それらの領域とは、家族の多様化、女性の固定的役割の打破、性志向性の多様化、リプロダクティブ・ヘルスについて女性の権利の確保、債務の帳消し、ポルノ情報の規制、外国軍隊駐留の排除、国際的NGOの活動の拡大などであり、これらの内容を認めたくない国々が関連する成果文書の項目の変更、削除を強力に要求したのである。これらの方向に反対する発言を繰り返す国々は、バチカン法王庁(キリスト教カソリック総本山)、イラン、スーダン、リビア、キューバ、レバノン、イラク、ニカラグア、アフガニスタン、パキスタンなどであった。バチカンという宗教組織が国家と並列して発言をする国連には違和感を禁じ得ない。国連の分担金を支払っているというだけの理由で国家扱いされる宗教組織がカソリックのみであるということも全く納得がいかない人は多いが現実である。

成果文書作成の過程とは、まずこの文書を大きく2部にわけ、二つのワーキンググループで検討が開始された。国連のビルの会議室は政府担当者、またその傍聴席はNGO関係者で埋まった。それぞれのワーキンググループでの協議が進展するにつれて、どうしても妥協点があ

たらない項目についてその都度コンタクトグループがテーマ別につくられ、対立する国々の担当者は別室でその対立点にしぼって、討議を継続するという方式で会議は進行した。コンタクトグループでの討議にはNGO傍聴は許可されなかった。日本はJUSCANZという国の連合体をつくって、意見反映をした。それらの国々とは、日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー、アイスランド、スイス、リヒテンシュタイン、韓国である。

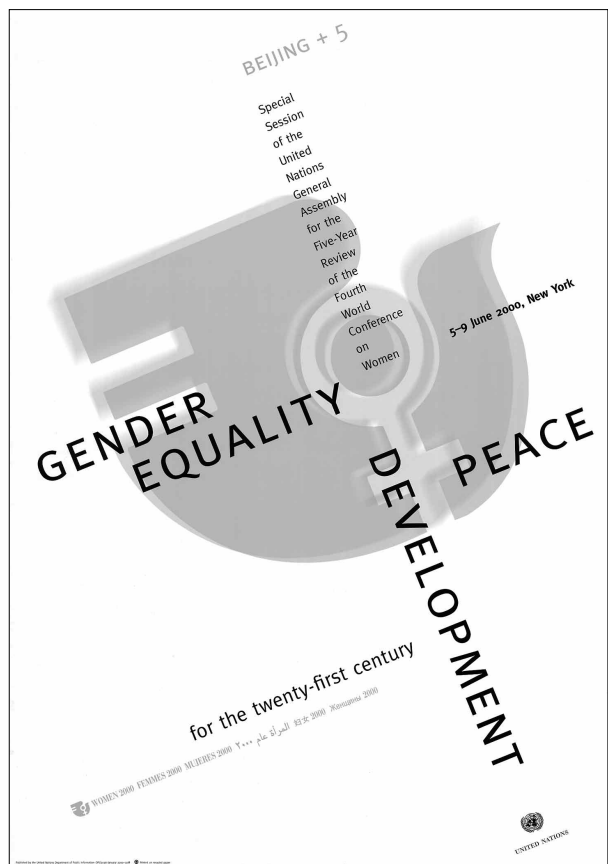
最終日の6月9日になってもまだ多くの課題を残したままであったために、次第に討議中の各国政府代表の発言時間は1分から30秒さらに15秒と限定されていった。政府担当職員もNGO傍聴者も食事もお茶も抜きで午前2時、3時まで国連ビルのなかでの討議は続いた。これとは別に国連総会会場では各国政府代表によるスピーチが継続していた。この5年間の北京行動綱領にそった政策は以下に実施されたか、その評価と今後の課題が述べられた。これについてはインターネットでもすべて内容が見られる。これらの発言の内容は概要紹介とはいえ、問題指摘がなく、形式的であるものが多かった。

こうした国連の会議にNGOが参加することの意味は論争点となっている内容についてどのくらいNGOが関心をもって活動しているかを実力行使でみせることにある。その方法はパネルディスカッションなどを国連会議場内外で開催し、大量の参加者を集めて熱い論争を展開し、最後には宣言書をつくり、要求内容を明確に文書化し、参加者の多くが署名をしてそれを政府間担当者、議長などにただちに手渡すという作業を討議の進行に合わせておこなってゆくことである。このため成果文書の討議がどこでまわっており、反対意見を言う政府代表者はどの国であり、またそれを説得しようとしている国はどの国の誰であるかを傍聴席からみて、その人を追っかけて、NGOの支援があることを伝え、発言してもらいたい内容を書いたメモを手渡すなどのロビー活動がおこなわれた。これらの活動に精通しているのはやはり、英語圏の欧州、北アメリカ、オーストラリア、フィリピンなどの国のNGOリーダーたちである。英語による微妙な表現の取引によって交渉をすすめるために、英語が外国語である人々にとっ

てはフォローすることは至難である。

5 . NGOの今後の課題

成果文書は結果として10日つまり閉会予定日を越えた土曜日の午後になってやっと完成した。そしてその内容でもっとも目立ったのは女性への暴力の防止にたいし国が責任をもって実行するということが明記されたことである。日本でも性暴力の防止、夫婦間暴力の防止が政策課題となっており、その実行が待たれている。また女性労働者への差別、賃金差別については極めて差別的扱いが続いている。男女の性別役割分業を促進するような社会政策も多くある。成果文書では見事な言葉が並んでいるが、いったい日本政府はどこまで実施に責任をもつのが大いに疑問である。日本のNGOとしてこれらの内容が具体的にどのような政策として実行されてゆくかについて詳細に見張ってゆくことが今後の仕事である。



国連特別総会「女性2000年会議」公式ポスター

平成12年度婦人教育施設職員のためのセミナー －21世紀の男女平等・開発・平和－

6月27日から30日（館長コースは28日）まで、「婦人教育施設職員のためのセミナー」を開催した。このセミナーは、会館創設当初以来実施しており、24回目に当たる今回は、「21世紀の男女平等・開発・平和 - 女性関連施設の役割と展望 -」をテーマとして、男女共同参画社会の形成に向けたエンパワーメントの拠点としての施設及び施設職員の役割について考えるプログラムを展開した。

1. 事業の特色

このセミナーは、男女共同参画社会の形成をめざした生涯学習の促進を図るため、公私立婦人教育会館、女性センター等の職員として必要な知識・技術を高めるための専門的・実践的な研修を行い、併せて資質の向上を図ることを目的としている。今年度は多数の参加申込みがあったが、予算及び施設の関係から館長コース30名・職員コース110名に絞り、計140名が参加した。

平成9年度より、より実践的な研修を行うことをねらいとし、名称も「セミナー」に変更し、「職員コース」の他に「館長コース」をおき、さらに職員コースを「企画担当」「情報担当」に分け実施していたが、婦人教育関連施設として、情報の獲得にもジェンダーの視点を取り入れ、企画の際に積極的に女性情報を組み込むことが必要と考え、職員コースとして一本化した。

また今回のセミナーの開催に当たり、全国婦人会館協議会から「女性施設の100年」等、施設の歴史に関するパネル・資料等を借用し、本館2階に展示したほか、WinetCASS等の女性情報を自由に検索するためのパソコンを置いた情報検索コーナー、参加者が持ち寄った施設に関するパンフレット等を自由に交換する情報交換コーナーの開設等、自由に学習・交流できる場を設けた。

2. 事業の概要

(1) 第1日目は、本年6月5日～9日にかけてニューヨークで行われた国連特別総会「女性2000年会議」に日本政府代表団顧問として出席した目黒依子上智大学教授が「21世紀の男女平等・開発・平和 - 国連特別総会「女性2000年会議」の成果を知る -」の講演を行い、会議のあらまし、参加者の様子及び日本女性にとっての21世紀の課題等を報告した。

目黒氏は、本会議において各国政府代表等の演説が行われる一方、ワーキング・グループで「セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）」「セクシュアル・ライツ（性的権利）」「家族」等の言葉をめぐる激しいやりとりが行われた末に、ようやく最終日に政治宣言ならびに「更なる行動とイニシアティブに関する文書」いわゆる成果文書が採択されたこと、また難航する協議の際にも、常に「北京から一步も後退しない」という強い姿勢で会議に臨んだことを報告した。

その上で、この成果文書をどのように読んだらよいかについて、女性、とくに開発途上国の女性が利益を得るよりどころとなるものであること、及び先進国の女性にも重要なよりどころとして活用できるものであること、また成果文書を熟読することにより、北京行動綱領を今の時点で再度確認し、さらなる前進を求めることが重要であることを指摘した。

また日本の課題として、今後は平和問題に関する議論にも女性問題、ジェンダーの視点を入れる必要があること、エイズに関する記述の多さはエイズの蔓延ぶりと危機感を示しているが、日本での認識があまりに薄すぎることを指摘した。

最後に目黒氏は、参加者の質問に答える中で、行政関係者は国からの指示を待つだけでなく、地域の特性を生かし、NGOと協力すれば「平

等・開発・平和」というテーマでより創造的な、もっと意味のある活動ができるのではないかと呼びかけた。

目黒氏に続いて岩澤まり子図書館情報大学助教授が、「メディア・リテラシーと女性情報」として、メディアからの情報を主体的・批判的に読み解くことの重要性及びより適切な女性情報の獲得の仕方についての講義を行った。また森高情報交流課長が「婦人教育情報センターにおける情報提供サービス」について説明した。

(2) 第2日目からは、館長コースと職員コースに分かれた研修となった。職員コースでは、就任1年未満の職員を対象として伊藤真知子事業課研究員が「女性学教育/学習の目的と内容 - ジェンダーの視点とは何か」、中野洋恵事業課主任研究員が「ジェンダーの視点で問い直す男女・家族像」の講義を行った。また就任1年以上の職員は、入江直子神奈川大学教授による「意識変容・エンパワーメントに向けた学習とは」のワークショップを行った。

館長コースでは、助言者に佐藤洋子東京ウィメンズプラザ館長を迎え、竹中佳子滋賀県立女性センター館長からの事例報告を受け、「管理・運営に関する諸問題」についての研究協議を行い、活発な意見交換が行われた。館長コースはこの後、閉会となった。

また職員コースで行った研究協議「婦人教育施設と団体・グループ活動について」においては、吉井眞智こうち女性総合センター事業課長および山下清子氏（とやま女性政策研究会）による婦人教育施設と団体・グループの連携に関する実践発表があり、団体・グループに関する職員の役割等について話し合った。

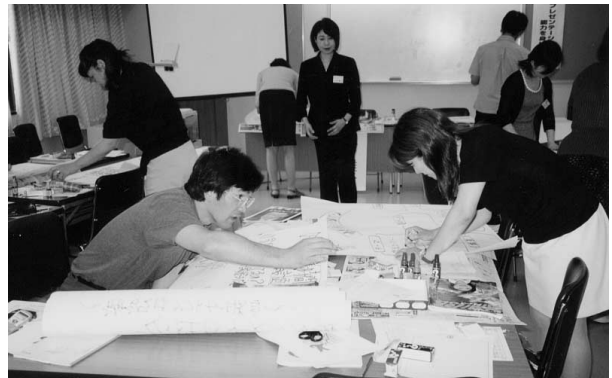


熱心に話し合う参加者（職員コース）

(3) 交流に関するプログラムとして、又エックボランティア、全国ボランティア情報提供・相談窓口事業相談員の協力により、交流・見学・実技体験等の自由研究が行われた。

(4) 3日目は施設職員として必要な専門的・実践的な技術を身につけるために、4ワークショップを開いた。

- A 学習プログラムの企画・立案
国立教育研究所生涯学習研究部
生涯学習開発・評価研究室室長 山本慶裕
- B ファシリテーター（学習支援者）の役割
大阪YWCA教育総合研究所主任研究員
神阪登茂子
- C プレゼンテーション能力を身につける
株式会社ウェコブ
人材マネジメントコンサルタント 川合雅子
- D “聴くこと”の力と情報検索
公立はこだて未来大学
システム情報科学部教授 美馬のゆり



ワークショップ風景

(5) 最終日は、「学習日記」をもとに、個人で3日間の講義・ワークショップによって気づいたこと・わかったこと等をまとめ、グループ毎に話し合った。最後の講義は、大野曜国立婦人教育会館長による「男女共同参画社会の形成に向けた婦人教育施設の役割」で、女性のエンパワーメントの促進を図るために、施設職員としての今後の課題をあらためて確認した講義であった。閉会式では、全プログラム参加者一人ひとりに、大野館長から修了証書が渡された。

(国立婦人教育会館事業課専門職員 土岐 都子)

平成12年度教師のための男女平等教育セミナー — 学校教育をジェンダーの視点から見直す —

国立婦人教育会館では、7月25日から27日の3日間、「学校教育の中のジェンダー/男女平等教育を考える」を主題に、男女共同参画社会の形成に向け、教師のための生涯学習の一環として、学校教育における人権尊重、男女平等に関する指導の充実及びジェンダーに敏感な視点の定着と深化を目的としたセミナーを開催した。

今年度で4回目となるセミナーには、都道府県の教育委員会指導主事及び校長・園長・教頭・教諭等142名（男性27名）が参加した。プログラムの主な内容として、文部省生涯学習局男女共同参画学習課長 有松育子氏の「男女共同参画社会の実現に向けて」及び大阪女子大学人文社会学部助教授 木村涼子氏の「学校教育をジェンダーの視点から見直す」の講義の外、自分自身をジェンダーの視点で振り返るワークショップ及び男女平等教育に関する実践報告・事例報告もとに、「性に関する指導」、「総合的な学習の時間」、「メディア・リテラシー」、「学校経営」の4分科会を実施した。

3日間のセミナーを通して、教育現場で男らしさ女らしさにとらわれない教育及び指導が行われているかを検証し、これからの男女平等教育について検討した。全体討議・グループ討議等においては活発な意見交換が行われ、男女平等意識を高める教育・指導の向上に資する充実したセミナーとなった。以下に「学校教育をジェンダーの視点から見直す」の講義要旨を述べることにする。

講義「学校教育をジェンダーの視点で見直す」

・教育における男女平等の流れにはこれまで大きな3つの波があった。1つは、明治に学校教育制度が発足したときであり、その時女子も男子と同じ国民として教育の対象になった。男女が

同じスタートに立ったとはいえ、裁縫教育が女子のみが受ける教科として発達していき、中等教育以降では男女別体系の教育制度が確立された。2つ目は、戦後の男女が一緒に学び、同じカリキュラムで学べるようになったことである。3つ目は、「国連婦人の10年」で女子差別撤廃条約が批准され、その後、家庭科の男女共修をはじめとして、学習指導要領の改訂がおこなわれ、教育の中で男女平等がさらに推進されていったことである。

・今の学校の中で何が問題であるかを見るときに、ジェンダーに敏感になる色めがねをかけてみる必要がある。つまり、学校の文化・慣習・制度について、今までと違った視点で見直していくことである。また、時間や空間を見通す広い視野をもつために望遠レンズや広角レンズで学校現場を見直すことがジェンダー・センシティブにつながる。

・混合名簿についても子どもたちが考える機会を持つこと、教師自身が議論することが必要である。男子が先に来る名簿と他の社会的現象（男子が優先されること）と結びつくことが問題であり、また、名簿が後になることによって起こる心理的効果であるが、「男だから」「女のくせに」という言葉と比べて反発されることは少ないが、目に見えない形で積み重なり男子はファースト、女子はセカンド的存在であることのメッセージを送ってしまっている。男女別男子優先名簿が残っているのは、戦前の男女別学・別体系教育の歴史がそのまま引き継がれた結果でもあり、性差別とリアルタイムで関連する現代的課題である。

（国立婦人教育会館事業課専門職員 金 朝子）

2000年 女性学・ジェンダー研究 国際フォーラム

国立婦人教育会館では、平成12年8月3日(木)~6日(日)の間、3泊4日で「2000年女性学・ジェンダー研究国際フォーラム」を開催した。

この国際フォーラムは、本年6月に開催された国連特別総会「女性2000年会議」の成果を受けて実施したものであり、21世紀の地球規模での男女平等・女性の地位向上をめざし女性のエンパワーメントと女性の人権の確立に資する活動をつくるため、女性学・ジェンダー研究と女性のエンパワーメントに関わる多様な研究・教育・実践活動の課題や成果を出し合い情報交換を行うとともに、国内外でのネットワークづくりをすすめることを、ねらいとした。

テーマは「21世紀に向けての男女平等・開発・平和」とし、プログラムは、

全国より公募した104件の女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究に関する日頃の研究・教育・実践の成果や課題についての自主企画ワークショップ

ジェンダー研究の最新の国際情報の提供を中心とした主催者提供プログラム

で構成した。

フォーラムの企画に当たっては、有馬眞喜子氏(財団法人 横浜市女性協会理事長)を企画委員長に8名で企画委員会を構成し、会館と共同で行った。

参加者は、全国47都道府県、および海外より、女性学・ジェンダー研究に関心のある成人男女1,736名であった。その内訳をみると、性別では、女性：1,612名、男性：124名と、女性が93%を占めている。

職業・所属をみると、団体・グループが35%、行政関係者が20%、小・中・高校教諭が6%、大学教員・研究者が4%であった。

年齢別では、40代・50代が半数を占めている(40代：24%、50代：32%)。

以下、そのプログラムの概要につき、主催者提供プログラム、特に国際ワークショップを中心に報告することとする。

主催者提供プログラムの概要

主催者提供プログラムとしては、ジェンダー研究に関する最新の国際情報として、次の3つのプログラムを実施した。

1. 基調報告「女性2000年会議の成果と戦略」

「男女平等・開発・平和」について、女性2000年会議での成果とこれからの戦略について国内外から情報を得た。

コーディネーター：有馬眞喜子

(財団法人 横浜市女性協会理事長)

講師：マビック・カブレラ・バレッサ

(Isisインターナショナルマニラ)

橋本ヒロ子(十文字学園女子大学教授)



参加者も含め、白熱した議論が展開された「基調報告」

2. 国際シンポジウム「21世紀に向けての男女平等・開発・平和への取組」

諸外国における男女平等・開発・平和への取組の現状と課題、さらに今後の展望を知ることにより、今後の活動を考えた。

コーディネーター：有馬眞喜子

(財団法人 横浜市女性協会理事長)

外国人専門家：ジャニスE・グッドソン・フェルデノカメナ・グナラトナ/フィリッパ・ホール/マビック・カブレラ・パレッサ/ツティラ・トムソン/アザ・カラム

日本人専門家：中村道子
(国連NGO国内婦人委員会委員長)

3. 国際ワークショップ

第4回世界女性会議で策定された「行動綱領」の重大関心領域から、次の8つのテーマを取り上げ、その最新課題と課題解決に向けた取組についてワークショップを開催した。

(1) 国際ワークショップA「女性と経済」

コーディネーター：今井圭子(上智大学教授)
外国人専門家：ジャニスE・グッドソン・フェルデ(ICDA国際コンサルタント)

日本人専門家：神野直彦(東京大学教授)

男女共同参画社会の形成をめざす動きが展開される中、他方では効率と利潤追求の競争原理に主導された経済のグローバル化がすすんでいる。競争は国境の壁を突き破ってグローバル化し、失業者の増加と就労条件の悪化、就労形態の不安定が深刻な問題となっている。そうした中で女性はより大きな打撃を被りやすく、多くの女性が就労機会、就労条件、就労報酬などにおける性差別に苦しんでいる。

このワークショップではグローバリゼーションの下での男女平等の問題を経済の視点からとらえ、2名の専門家からの問題提起を中心に討論を進めた。

(2) 国際ワークショップB「女性と教育」

コーディネーター：亀田温子
(十文字学園女子大学教授)

外国人専門家：チョン・セ・ファ
(プール学院大学教授・韓国梨花女子大学名誉教授)

日本人専門家：奥山和弘
(静岡県教育委員会生涯学習企画課指導主事)

女性学・ジェンダー論の発展は、教育や学校がジェンダーを再生産する機能を果たしていることを明確にした。差別撤廃条約、世界行動計画等においても、人間形成、能力形成の基本となる教育を見直し、ジェンダーに敏感な新たなシステムを作ることが世界的な課題となっている。

このワークショップでは、近年さまざまな制度改革を行っている韓国のジェンダーフリーな社会の実現に向けた教育がどのように展開しているか、

日本の学校教育における教材開発等の事例を通して、教育実践や教師の眼、学校のあり方が、どう変わりつつあるか、また社会教育の現場ではどうか等、平等教育にどこまで接近しているのか、検討を深めた。

(3) 国際ワークショップC「女性と暴力」

コーディネーター：庄司洋子(立教大学教授)
外国人専門家：カメナ・グナラトナ
(スリランカ・オープン大学講師)

日本人専門家：近藤恵子
(「女のスペース・おん」代表世話人)

最近、ようやく日本社会におけるドメスティック・バイオレンスの実態が明らかになりつつある。そのことを踏まえて、この問題の深刻さ、課題の緊急性、等についての認識を共有するため、国内外の女性に対する暴力、特にドメスティック・バイオレンスの実態と被害者支援に向けた実践活動報告をもとに、その取組を考えた。

(4) 国際ワークショップD

「女性の地位向上のための制度的なしくみ」
コーディネーター：橋本ヒロ子
(十文字学園女子大学教授)

外国人専門家：フィリッパ・ホール
(ニューサウスウェールズ州女性局次官)

日本人専門家：江橋 崇(法政大学教授)
女性2000年会議で採択された成果文書では「予算作成、執行、評価のすべての過程で、ジェンダーの視点を取り組むこと」「ジェンダー関連調査を行えるような国の能力開発」が、各国政府が実施すべき行動として挙げられている。

このワークショップでは、本分野で国際的にも先進的な取組をしているオーストラリア・ニューサウスウェールの「wonen's budget」の利点と限界とそれに代わる評価法などについての報告、日本における地方自治体の女性行政における苦情処理のあり方等の報告をもとに、今後の女性政策の進展に資することを目標に討議を行った。

(5) 国際ワークショップE「女性とメディア」

コーディネーター：松村泰子
(東京学芸大学教授)

外国人専門家：マビック・カブレラ・パレッサ
(Isisインターナショナルマニラ)

日本人専門家：林 香里(成蹊大学講師)
情報は力であり、女性のエンパワーメントにとって不可欠である。

このワークショップでは、マスメディアや新し

い情報コミュニケーション技術（ICT）の近年の状況を踏まえ、それらを通じてメディアにアクセスできることの意義、そして、どのような形で女性の発信・コミュニケーションが確保されるのか、マスメディアをどのように変えていくのか等について、国内外の具体的な事例報告を受け、一人ひとりがどのようにメディアを利用していくのか、何をどのようにして改革すべきなのか、さらに改革できるか等を議論した。

(6) 国際ワークショップF「女性と健康」

コーディネーター：迫田朋子（NHK解説委員）

外国人専門家：キャサリン・コバーン

（Management Sciences for Health）

日本人専門家：池上清子

（国際家族計画連盟本部リソース
ープライゼーションオフィサー）

リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康）という考え方が、国際会議のテーマとして初めて取り上げられたカイロの国際人口開発会議から6年が経つ。しかし自分たちの言葉としてなかなか使いきれていない。リプロダクティブヘルス/ライツとは具体的には何をさすのか、私たち自身とどうかかわるのか、リプロダクティブヘルス/ライツを推進するために何が必要なのか、さらには、何より自分の健康、自分のからだや性について、決定するのは自分であるというリプロダクティブヘルス/ライツの基本的な考え方を、どうやって自分自身のものにするか、国内外の事例報告を通して考えた。

(7) 国際ワークショップG「女性と人権」

コーディネーター：林 陽子（弁護士）

外国人専門家：ツティラ・トムソン

（タイ・女性の地位向上協会会長）

日本人専門家：山下泰子（文京女子大学教授）

「女性の人権」はジェンダーの問題を理解するキーワードであると同時に、伝統的に男性に支配されてきた法解釈、法実務を揺さぶりつつある、新しく刺激的なテーマである。

このワークショップでは、アジアの女性の人権について、及び女性差別撤廃条約の国際的な動向についての報告をもとに、現在アジアで起こっている変化を探った。

(8) 国際ワークショップH「女性の政治参加」

コーディネーター：渋谷敦司（茨城大学教授）

外国人専門家：アザ・カラム

（クィーンズ大学民族紛争研究センタープログラムマネージャー）

日本人専門家：久保公子

（財団法人 市川房枝記念会事務局長）

日本女性の政治への参画状況は改善されつつあるものの、その過去最高というレベル自体が、地方議会での女性議員の割合でもやっと6%というのが日本の現実である。

このワークショップでは、女性の政治家の数を増やすための戦略・戦術（女性を政治のメインストリームへ）から、ジェンダーの視点を持った政治活動をいかに展開させるのかという、言わば質的レベルの課題（ジェンダー視点自体のメインストリーム化）へ向けての取組の展開可能性について、日本各地での実践、国レベルでの新たな動きについての分析結果の報告と女性の政治参画先進国である北欧諸国の状況を中心とした報告を受け、討論を深めた。



国内外の最新のジェンダー情報が提供された
「国際シンポジウム」

主催者提供プログラムについては参加者が多く、講堂での基調報告では会場に入りきれず、別室でのビデオ視聴をお願いした。国際ワークショップでもテーマごとに参加希望者が多く、会場の関係もあり、抽選で参加者を決定した。

各プログラムとも国内外の専門家からジェンダー研究の最新情報の提供があり、参加者から活発な質疑や意見が出され、白熱した討議が行われた。

なお、「2000年女性学・ジェンダー研究国際フォーラム」の概要については、報告書を作成する予定である。

（国立婦人教育会館事業課専門職員 小林 千枝子）

「女性関連施設データベース」公開！

今まで、WinetCASSで公開されていた女性関連施設に関するデータベースには「女性関連施設1997」と「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査事例集」の2つがありました。これらは、1997年と1998年に文部省の委嘱を受けた全国婦人会館協議会が、女性関連施設を調査した結果を当館でデータベース化したものです。本誌5号（2000年3月）でもお知らせしたとおり、この2つのものを関連付け、施設についての様々な情報が一度に検索出来るようにリニューアル、名前もすっきり「女性関連施設データベース」としました。本号では、この新しくなったデータベースの使い方などをご紹介します。

このデータベースには、検索の目的に合わせて「施設概要検索」「実施事業検索」「共通検索」の3つの検索画面が用意されています。

施設の名称や所在地などの基本的な事項や音楽室、スポーツ施設など施設の有無での検索、あるいは施設ボランティアの制度があるかどうか、機関紙の発行は？といったような検索は最初の「施設概要検索」をご利用ください。

◆施設名称	国立婦人教育会館
◆施設英文名称	
◆愛称	
◆郵便番号	
◆所在地	
◆電話	
◆FAX	
◆利用問い合わせ(電話番号)	
◆E-Mailアドレス	
◆ホームページアドレス(URL)	
◆法人名	
◆代表者役職	
◆館長名	大
◆職員数	44
◆開館年	19
◆施設専有面積(建物)	12
◆所有施設	
◆宿泊施設の有無	
◆開館時間	
◆休館日	
◆利用者数	
◆利用条件	
◆利用申込方法	
◆施設運営組織	
◆保育(託児)室の有無	
◆施設ボランティアの有無	
◆施設ボランティアの活動分野	
◆機関誌(紙)	
◆情報センター(図書資料室)の有無	
◆お茶室の有無	
◆音楽室の有無	
◆スポーツ施設の有無	
◆ホールの有無	
◆機関誌(誌)発行の有無	
◆相談事業の有無	
◆備考	

図1 施設概要データ

◆施設名称	国立婦人教育会館(ヌエック)
◆実施年度	1998年
◆事業名	教師のための男女平等教育セミナー
◆事業分野	女性学等リーダーシップ養成
◆事業対象者	各都道府県指定都市教育委員会の指導主事、教育センターの幼小中等学校(特殊教育諸学校を含む)の教員
◆実施回数	1回
◆延べ参加者数	154人
◆事業のねらい	男女共同参画社会の形成に向け、教師のための生涯学習の一環として、学校教育における男女平等指導の充実、及びジェンダー(社会的文化的につくられた性差)に敏感な視点の定着と深化に資する実践的な研修を行う。(事業の分野:女性学等、リーダーシップ養成)
◆具体的なプログラム・講師名・スケジュールなど	講師「学校教育のなかのジェンダー」村松泰子(東京学芸大学教授) 講師「ジェンダーフリーの教育をめざして」深尾眞子(埼玉短期大学教授) 分科会 「道徳指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 朴木佳緒留(神戸大学教授) 「性に関する指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 高村寿子(自治医科大学看護短期大学助教) 「学級指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 田村毅(東京学芸大学助教) 「進路指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 亀田温子(十文字学園女子大学助教) 「メディアリテラシーをジェンダーの視点で考える」助言者: 諸橋泰樹(向美学園短期大学助教) 意見交換(スピークアウト)
◆とくに工夫した点・苦労した点など	学校教育において、真の平等教育がなされているかを検証し、ジェンダーに敏感な視点の定着がプログラムとした。
◆参加者からの評価など	ジェンダーの存在、教師の価値観や生活態度や無意識な言動が児童生徒に性別役割分業意識を植え付ける要因にもなること 『隠れたカリキュラム』の存在に気づいた。意義は大きい。
◆実施日	

図2 実施事業一覧

◆施設名称	国立婦人教育会館(ヌエック)
◆実施年度	1998年
◆事業名	教師のための男女平等教育セミナー
◆事業分野	女性学等リーダーシップ養成
◆事業対象者	各都道府県指定都市教育委員会の指導主事、教育センターの幼小中等学校(特殊教育諸学校を含む)の教員
◆実施回数	1回
◆延べ参加者数	154人
◆事業のねらい	男女共同参画社会の形成に向け、教師のための生涯学習の一環として、学校教育における男女平等指導の充実、及びジェンダー(社会的文化的につくられた性差)に敏感な視点の定着と深化に資する実践的な研修を行う。(事業の分野:女性学等、リーダーシップ養成)
◆具体的なプログラム・講師名・スケジュールなど	講師「学校教育のなかのジェンダー」村松泰子(東京学芸大学教授) 講師「ジェンダーフリーの教育をめざして」深尾眞子(埼玉短期大学教授) 分科会 「道徳指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 朴木佳緒留(神戸大学教授) 「性に関する指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 高村寿子(自治医科大学看護短期大学助教) 「学級指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 田村毅(東京学芸大学助教) 「進路指導をジェンダーの視点で考える」助言者: 亀田温子(十文字学園女子大学助教) 「メディアリテラシーをジェンダーの視点で考える」助言者: 諸橋泰樹(向美学園短期大学助教) 意見交換(スピークアウト)
◆とくに工夫した点・苦労した点など	学校教育において、真の平等教育がなされているかを検証し、ジェンダーに敏感な視点の定着がプログラムとした。
◆参加者からの評価など	ジェンダーの存在、教師の価値観や生活態度や無意識な言動が児童生徒に性別役割分業意識を植え付ける要因にもなること 『隠れたカリキュラム』の存在に気づいた。意義は大きい。
◆実施日	

図3 実施事業データ

検索結果は、まず一覧になります。この一覧からお好きなものをクリック。すると該当する施設概要データ(図1)が出てきます。

施設名称、住所等、ホームページのアドレス、代表者名、開館年、休館日、利用条件、申込み方法、研修施設、保育室、施設ボランティアの有無など、細かいデータが入っています。

次に「実施事業検索」。

「再就職したいのだが、その準備のためのセミナーはないだろうか?」とか、「女性学についての最新の講演が聞きたい」とか、そういう場合はこの「実施事業検索」を行ってください。事業の分野、実施月も検索できます。また、講師名もフリーワードから検索できます。

これも同様に検索結果一覧から任意のものを選択すると実施事業データ(図3)が出てきます。

この2つのデータには、リンクが張られており(図1、2、3)施設概要データから実施事業一覧、各事業データへと次々にご覧いただくことができます。

最後が「共通検索」。「パソコンの研修を受けたいけれど近くのセンターでないかな」とか、「今度出張するついでに近隣のセンターでおもしろい講演をやっていないかな」など、少々複雑な検索も可能です。

例として、東京近辺で行なわれる女性学関連の事業を検索してみましょう。

まず、検索画面を選びます。所在地と事業が検索条件になるので「共通検索」をクリックします。すると下のフレームが共通検索用(図4)に変わります。そこで、所在地のところから、東京、神奈川県を選びます。ここはOR検索になるので、県名を1つ選んだあと必ず追加ボタンを1回クリックしてください。

次に事業分野の指定から女性学等をクリックします。ここの項目間はAND検索になります。

以上、検索条件を指定したら、検索開始をクリック、結果一覧が表示されます。この中から任意のものを選択してください。

このようにクリックだけでどこでいつどういう事業が行なわれたのかが検索できます。

来年度からはその年に行なわれる事業計画がデータ化される予定です。ぜひ、皆様の研修、活動にお役立てください。

また、女性関連施設のうち、ホームページを持っていない施設にとっては、自身の事業についての情報提供がネット上でできるようになるという利点があります。すでに、ホームページを持っている施設にとっては、このデータベース上なら多様な項目で、しかも3年間のデータを検索できますので、自施設内で別途検索システムを持つ必要がありません。

データ入力も簡単で、Web上での更新、新規入力、メールによるデータ送信が可能となっていますので、年度途中の変更にも臨機応変、スピーディに対応できます。

このデータベースで最新の情報を提供していくためには、女性関連施設の皆様からのデータの提供が必要です。ぜひ、このデータベースを通しての情報の共同発信にご協力ください。

INDEX

Copyright(C) 2000, National Women's Education Centre, Japan. All rights reserved.

(国立婦人教育会館情報交流課専門職員 宮沢 紀美)

国連特別総会「女性2000年会議」 特別展示

国立婦人教育会館では、平成12年6月にニューヨークで開かれた国連特別総会「女性2000年会議」関連資料の特別展示を、同年8月1日～31日に国立婦人教育会館本館2階展示ホールで開催した。また11月7日～13日にも再び展示する予定である。会期を2回に分けたのは、会館主催の交流事業「2000年女性学・ジェンダー研究国際フォーラム」、「ヌエックフェスティバル2000」の開催期間に合わせたためである。

今回の会議は「北京+5」とも呼ばれ、世界女性会議としてではなく国連第23回国連総会特別会期として開催された。そのためNGOフォーラムは行われず、1995年に会館が行った「第4回世界女性会議・NGOフォーラム北京'95特別展示」よりは小規模な展示となった。

本展示は会議に関する資料を幅広く収集・展示しその成果を確認することを目的に、総理府、外務省、国際連合広報センターの後援を得て実施したが、資料収集については他に文部省、福岡国際ミズの会からも協力を得た。また独自にワークショップ等を開催した4団体（国際女性の地位協会、ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク、HKW（Japan global forum）、北京+5グローバル・フェミニスト・シンポジア）そして会議に参加資格のある国内NGO14団体から資料の提供を受けた。その国内NGOの資料についてはリストを以下に掲載した。

今回の会議資料についてはかなりの部分がインターネットにより提供されている（アドレスについては下記の資料説明参照。全て8月20日現在）。また会議そのものもリアルタイムで流されるなど、時代の流れが感じられる会議となった。この特別展示の資料リストと「女性2000会議」関連URL集も会館ホームページ（[http://](http://www.nwec.go.jp/)

www.nwec.go.jp/）から提供している。

実際の展示作業（広報用ポスター・写真パネル・新聞切り抜き記事等展示資料の作成）また会期中の会場受付には情報ボランティアを中心としたヌエックボランティアの協力を得た。

以下に簡単に展示資料について説明する。

ステートメント

「ステートメント」は国連ホームページ上のステートメントリスト（<http://www.un.org/ga/webcast/stat.htm>）209点のうち205点が収集できた。各国の政府代表のものをはじめとして、国際機関及びNGO代表のものも含んでいる。

国連・国連機関・国際機関資料

本会議の成果文書（<http://www.un.org/womenwatch/daw/csw/pd.htm>）やプレスキット（国際連合広報センターによる日本語訳あり）を中心に、国連・国連機関・国際機関、また会期中に行われた様々なSpecial Events資料約100点がここに含まれる。

各国政府関係資料

各国の女性に関する統計や実状が報告されたもので23ヶ国、42点の資料が集まった。



展示風景

海外NGO資料

各国あるいは国際的なNGOの資料26点が収集された。

逐次刊行物（雑誌・新聞類）

会期中に配付・発行されたものが19種集まった。中でも“ The Earth Times ”、“ Flame ”、“ Women Action ” は毎日の会議の様子をよく伝えている。

展示目録に掲載しなかったが展示したもの

- ・ポスター（公式ポスター1点の他に関連のもの17点）
- ・国際婦人年（1975年）記念切手（45ヶ国110枚）
- ・世界女性会議（第1～4回）資料（ナイロビ会議と北京会議のポスター・切手は特別展示会場に、その他の資料は7～9月のテーマ展示として本館1階ロビーの展示ケース内に展示。

リストはp.58 - 60参照。）

- ・関連新聞切り抜き記事（一般紙4紙、女性ニュース、Japan Timesより関連記事を切り抜いたもの。）
- ・本会議、UNIFEMによるSpecial Eventsの様子等を撮影したビデオは会期中毎日放映した。
- ・本会議、NGO集会の写真資料。
- ・「国際女性の美術展」関連資料（女性2000年会議に合わせて開催された美術展の写真パネルと展示目録。）

今後の資料の取り扱いであるが、図書資料については、婦人教育情報センター所蔵資料として受け入れ、WinetCASS上で検索できるよう準備を進めている。なお、「女性2000年会議」関連資料は今後も継続して収集していくので、是非ご協力いただきたい。

日本NGO資料

[日本NGOレポートをつくる会]

- ・日本NGOレポート：女性2000年会議に向けて
- ・Japan NGO alternative report : towards the special session of the UN general assembly “ Women 2000: gender equality development, and peace ”

[日本弁護士連合会]

- 1-1 女性2000年会議のための「北京行動綱領実施状況に関する質問状への日本政府回答」に関する日本弁護士連合会の報告
- 1-2 Report of the Japan Federation of Bar Associations on Japan's 'Response to the Questionnaire to Government on Implementation of the Beijing Platform for Action' in Preparation for the Special Session 'Women 2000'

[国際女性の地位協会]

- 2-1 『やさしく学ぼう「女性差別撤廃条約」』
- 2-2 『Mother tells about "the women's convention"』
- 2-3 JAIWR workshop in NY（レジュメ）（日英併記）
- 2-4 国連女性問題キーワード（英語）の対訳 - NYワークショップ用 -
- 2-5 ニューヨーク女性2000年会議アジアの女性と女性差別撤廃条約に関するアンケート
- 2-6 アンケート調査結果：モンゴルからの回答
- 2-7 『Mother tells about "the women's convention"』 拡大コピー

[福岡国際ミズの会]

- 3-1 国連特別総会「女性2000年会議」報告書 / 徳本サダ子
- 3-2 国連特別総会「女性2000年会議」に出席して / 小森雅子

[ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク]

- 4-1 『女性差別撤廃条約は日本で活かされているか』
- 4-2 What is going on in the Sumitomo Trials and the problems to be solved / Sachiko Harano (6/5ワークショップレジュメ)
- 4-3 Women's rights are human rights when women file A suit
- 4-4 2000年世界女性行進：行進するわたしたちの理由
- 4-5 World march of women in the year 2000 : our reasons to march
- 4-6 WWNニュースレター第19号(2000.4.1)
- 4-7 WWNニュースレター第20号(2000.7.1)
- 4-8 Working women's international network : a message from Japan (March 10,2000 No.8)
- 4-9 住友賃金裁判と日本の男女平等：原告がニューヨークでワークショップ（ちらし小）
- 4-10 Sex discrimination in Japan (Sumitomo Litigation) workshop in New York（ちらし小）
- 4-11 女が裁判をするとき：住友男女差別裁判 / 住友メーカーネットワーク（パンフレット）
- 4-12 Sex discrimination in Japan (Sumitomo Litigation) workshop in New York（ちらし）
- 4-13 子育てに配慮ない日本の企業・裁判所：ケンウッドは子育て女性差別止めろ（ちらし、日英併記）
- 4-14 住友生命ミセス差別裁判原告団（ちらし、日英併記）
- 4-15 For a non-discriminatory tomorrow : lawsuit against sexism of Showa-Shell（ちらし）
- 4-16 Message from Japan <Okaya litigation >（ちらし）
- 4-17 国連女性2000年会議で、住友裁判を訴える（ちらし）
- 4-18 Petition (To: Chief Judge Tetsuo Matsumoto)
- 4-19 ビデオ『住友裁判と日本の男女平等』（英語版）
- 4-20 国連女性2000年会議とWWN：ニューヨーク報告書

[家族計画国際協力財団]

- 5-1 Population, reproductive health and family planning in Japan (a bird's-eye view)
- 5-2 人口問題に関するアンケート調査結果サマリー
- 5-3 人口問題に関するアンケート政党別回答 (全文)
- 5-4 Survey on population issue for Japanese parliamentarians : summary of the findings
- 5-5 Survey on population issue : responses by political parties
- 5-6 国会議員のための人口ファイル1-3
- 5-7 新しいジョイセフを目指して 30 years 1968-1998
- 5-8 Japanese NGO Forum 6/6 AGENDA
- 5-9 United Nations Population Fund (UNFPA) invites you to attend Japanese NGO Forum (ちらし)

[アジア女性会議ネットワーク]

- 6-1 『アジア女性会議ネットワークNEWSLETTER』 No.32-36
- 6-2 NGOオルタナティブレポート作成協力依頼 (ちらし)

[女性と健康ネットワーク]

- 7-1 Voices from Japan 2000 : NGO report on women and health
- 7-2 International and domestic activities on reproductive health and rights 1994 - 1999
- 7-3 Japan's network for women and health
- 7-4 Japan's network for women and health (WHJ) (ちらし)
- 7-5 WOMEN 2000 Gender Equality, Development and Peace for the 21st Century (ビデオ)
- ・女性と健康ネットワーク99ニュースレター 第69号、70号
- ・女性と健康ネットワークニュースレター 第13号~31号

[北京JAC]

- 8-1 北京JAC第5回全国シンポジウム プログラム・資料
- 8-2 同上 (ちらし)

[HKW(Japan Global Forum)]

Japan Global Forum 各ワークショップ資料(9-1から9-14)

- 9-1 HIROSHIMA (ちらし)
- 9-2 MITO WOMEN'S COUNCIL (ちらし)
- 9-3 IRIS NETWORK'91 (ちらし)
- 9-4 Tsuchiura women's Mission 2000 (ちらし)
- 9-5 Etsuko Yonezawa (レジュメ)
- 9-6 Kanae Tanigawa (レジュメ)
- 9-7 Abiko Culture & Talk (ACT) (ちらし)
- 9-8 Winds of Asia (ちらし)
- 9-9 Japan Working Mothers Organization (ちらし)
- 9-10 Niiza Handsome Woman Network (ちらし)
- 9-11 Akiko & Misako (ちらし)
- 9-12 日本ジェンダー学会 (ちらし)
- 9-13 JGF Saga (ちらし)
- 9-14 Planet KYO Onna (ちらし)
- 9-15 Japan Global Forum (パンフレット)
- 9-16 Japan Global Forum (ポスター)

[北京 + 5 グローバルフェミニストシンポジウム]

- 10-1 Beijing plus five global feminist symposia : Feminisms and globalization: Women2000 (キット)
- 10-2 北京 + 5 グローバルフェミニストシンポジウム報告書
- 10-3 私たちの女性2000年会議レポート : ふうおか ニューヨーク 21世紀へ / 北京JACふうおか
- 10-4 北京 + 5 グローバルフェミニストシンポジウム見て・聞いて・歩いて / ちくほう女性会議
- 10-5 ミレニアムを拓く女たちのネットワーク : 北京 ふうおか ニューヨーク : 北京JAC九州・山口・沖縄 第2回シンポジウム
- 10-6 ムーブフェスタ2000ガイドブック
- 10-7 Beijing plus five global feminist symposia : Feminisms and globalization : Women2000 (ポスター)
- ・ Beijing plus five global feminist symposia "Education and training of women" workshop at the cuny grad school (ちらし)

[横浜市女性協会]

- 11-1 フォーラムよこはまライブラリ所蔵女性2000年会議関連資料 (検索リスト)
- ・ YOKOHAMA WOMEN'S FORUM NEWS LETTER No.15 SPRING2000
- ・ フォーラム通信 No.114 2000/6月号
- ・ 女性2000年会議から21世紀に向けて : これからの国際社会とわたしたち (ちらし)

[世界女性会議ネットワーク関西]

- 12-1 世界女性会議ネット関西ニュース No.24
- 12-2 「2000年会議へ向けて」北京からニューヨークへ (ちらし)
- 12-3 国連女性2000年会議北京 + 5 グローバルフェミニストシンポジウム報告会 - ローカルとグローバルを結ぶNGO活動を - (ちらし)

[京都市女性協会]

- ・ 届け! 「世界女性会議」京都レポート : 生きること 働くこと 老いること

[女性労働問題研究会]

- 13-1 女性労働通信 No.2000-3
- 13-2 Alternative report to the chapter "Women and economy" in the Japan's response to the questionnaire to government on implementation of the Beijing platform for action (ちらし)
- ・ 国連世界女性会議に参加するためのガイドブック / UNIFEM/UN-NGLS著 ; 女性労働問題研究会訳

[日本看護協会]

- 14-1 非政府組織会議、ならびに国連特別総会「女性2000年会議」参加報告書 / 山本あい子 (兵庫県立看護大学)

[その他]

- ・ Women's Messages / Noriko Takashima

(国立婦人教育会館情報交流課専門職員 合田 美恵子)

女性・家族関係雑誌記事インデックス

当会館婦人教育情報センター所蔵の和雑誌のうち、2000年前半にデータベース化された記事・論文の中から、女性の学習・研究に役立つものを雑誌名の五十音順に掲載しています。

データベース化の遅れを解消するために、昨年度より新しいものを先に入力し、一部保留して順次遡及で入れていくことにいたしました。そのためこの号ではまだ収録されていないものがありますことを御了承ください。次号で補充する予定です。また1998年のものでページ数の都合により収録しなかったものがあります。

WINET (情報検索サービス) では全データが検索できますので、併せて御利用下さい。

凡例

雑誌名 [巻号] (発行年月日)

特集タイトル

No. 記事タイトル / 執筆者名 (ページ)

あごら [256] (2000.01)

特集：「地の塩」をたたえる

1. <白井博子・地の塩賞>第一回受賞者決定! (p.2-5)
2. 山川菊栄先生のお志を継いで：菅谷直子さん (p.6-17)
3. 「地の塩」をたたえる『八十七歳』制作秘話と市川房枝先生：松浦三知子さん (p.22-31)
4. 「地の塩」をたたえる山川菊栄さんの略歴：市川房枝さんの略歴 (p.52-54)
5. 女性に対する暴力：国連人権委員会第51会期(下) / 前田朗 (p.70-83)

あごら [257] (2000.03)

特集：いま動かなければ沖縄は・・・

6. 沖縄に新しい基地をつくらせない!! / 浦島悦子 (p.4-23)
7. サミットを前に沖縄の女たちは / 安里英子 (p.28-35)

あごら [258] (2000.04)

特集：女が動くとき世界が変わる!

8. 行動すれば核兵器は廃絶できる! : アンジー・ゼルターさんとTP2000 : 市民による核廃絶 : 共同声明 / アンジー・ゼルター, ウラ・ローダー, エレン・モクスレイ; 大庭里美, 豊島耕一訳 (p.2-14)
9. グリーノック裁判所におけるアンジー・ゼルターの弁論(1999年9月27日開廷) / 真鍋毅訳 (p.21-28)

あごら [259] (2000.05)

特集：今どき女性差別ははやらない

10. 構成劇台本：日立で男女差別をたたかう9人の女の物語：「日立の男女差別をなくし、勝利をめざす2000年春のつどい」から (p.4-26)

アジア女性研究 [9] (2000.03)

特集：男女共同参画の世紀を拓く

11. 基調講演(1)：女性2000年会議に向けての日本の取組みについて / 目黒依子 (p.1-6)
12. 基調講演(2)：アジア各国におけるNGOの取組みについて / Tanpuuying Sumalee Chartikavanij (p.7-9)

13. 基調講演(3)：日本のNGOの取組みについて / 中村道子 (p.10-13)

14. 声を上げ始めた女性たち：しかしその声は正しく受けとめられているのか? : インドにおける女性に対する暴力への認識 / Malavika Karlelar ; 室井尚恵, 織田由紀子訳 (p.40-54)

15. 国境を超える子どもの商業的性的搾取：ラテンアメリカの視点から / 勝間靖 (p.55-60)

16. 生活時間の配分から見た日中女性の「労働」 / 周霜 (p.61-68)

17. 開発教育の可能性と課題：子どもの買春(かいしゅん)と「援助交際」をテーマとした事例から / 伊藤かおり, 鈴木一弘 (p.69-73)

18. フィリピン農村女性の海外出稼ぎとジェンダー関係の相関：ケーススタディからの考察 / 小ヶ谷千穂 (p.74-80)

19. モーリシャスの輸出工業化政策と女性労働市場の変容 / 草郷孝好 (p.81-91)

20. マレーシアにおける女性学・ジェンダー研究の動向 / Shanthi Thambiah ; 織田由紀子訳 (p.92-97)

21. サンフランシスコ女性起業家スタディツアー / 織田由紀子 (p.101-116)

22. 台北市：外国人労働者相談センター訪問記 / 池田悦子 (p.117-118)

23. 第44回国連婦人の地位委員会および「女性2000年会議」準備委員会 / 織田由紀子 (p.119-122)

24. タジキスタンの女性団体：女性実業家協会「クージャンド」 / フジャンド女性センター「グルルソール」 (p.123)

新しい家族 [34] (1999.05)

25. 第63回養子と里親を考える会講述録・111：特別養子制度の10年と家庭裁判所：家裁の現場から見た現状と課題 / 星山卓朗 (p.2-16)

26. 第63回養子と里親を考える会講述録・112：特別養子制度の10年と家庭裁判所：審判例から見た特別養子の

- 要件とその問題点 / 中川良延 (p.17-36)
27. 親子関係の心理学(八) / 正司順一 (p.68-71)
28. 第63回養子と里親を考える会講述録・113: 児童相談所の斡旋で養子になった子どもの分析: 児童調査の結果 / 鈴木博人 (p.72-94)

新しい家族 [35] (1999.10)

29. 第63回養子と里親を考える会講述録・114: 児童相談所における里親委託業務: 児童相談所へのアンケート調査の分析 / 岩崎美智子 櫻井奈津子 (p.2-23)
30. 第65回養子と里親を考える会講述録・117: 児童相談所の斡旋で養子になった子どもの分析(その2): 児童福祉の視点 / 大谷まこと (p.24-35)
31. 第65回養子と里親を考える会講述録・115: フィリピンの新しい養子制度 / 平田美智子 (p.60-77)
32. 第65回養子と里親を考える会講述録・116: 英国におけるソーシャルワークの発展: 地方自治体ソーシャルワークとは? / 津崎哲雄 (p.78-100)

新しい家族 [36] (2000.05)

33. 第66回養子と里親を考える会講述録・118: 中絶・妊娠・出産に関する大阪府下の産婦人科医へのアンケート調査結果から / 岩崎美枝子 (p.2-10)
34. 第66回養子と里親を考える会講述録・119: イタリア法における養育委託 / 小谷眞男 (p.11-30)
35. 親子関係の心理学(9) / 庄司順一 (p.31-34)
36. 第67回養子と里親を考える会講述録・121: 里親制度のあり方について 第2部: 里親制度のあり方に関する研究 / 網野武博 (p.57-85)
37. 日米比較・「子の監護・養育」の現在: 「フォスターケア」をめぐる / 矢野篤 (p.86-93)
38. 戸籍の続柄差別記載の撤廃を求める民事訴訟始まる / 菊池緑 (p.94-96)

インパクション [114] (1999.06)

39. 戦争協力は嫌だ! 有事立法と地方自治: 周辺事態法 国会ロビー活動奮戦記 / 赤石千衣子 (p.29-36)
40. アート・アクティヴィズム(25): 記憶を刻んで: 知足院(ともたり)美加子・二風谷プロジェクト / 北原恵 (p.130-144)

インパクション [115] (1999.08)

特集: 小淵145国会

41. 平成版「産めよ殖やせよ」?: 少子化社会対策基本法案 / 芦野由利子 (p.82-85)
42. 沖縄便り(19): オバアは語る、「イクサや、ならん」 / 浦島悦子 (p.92-95)
43. アート・アクティヴィズム(26): 国旗を展示する正しい方法: 星条旗とアート / 北原恵 (p.96-105)
44. 再考・フェミニズムと軍隊 / 加納美紀代 (p.106-120)

インパクション [116] (1999.10)

45. アート・アクティヴィズム(27): アート・アクティヴィズム: 1999年夏 / 北原恵 (p.130-133)
46. 沖縄便り(20): 「県外移設」: あなたへのラブコール / 浦島悦子 (p.140-143)

47. ビルがようやく発売開始: ビル解禁後の課題: 男性の性教育と女性のエンパワーメントを / 太田弘美 (p.172-175)

インパクション [117] (2000.01)

特集: フェミニズムへのバックラッシュ: 『憎まれて愛されて2000年』

48. 20世紀のしっぽからその先のフェミニズムへ / 榊原裕美 (p.38-45)
49. 「相対化」と「私」中心社会のなかで: バックラッシュの構図 / 伊藤公雄 (p.53-61)
50. 西村議員「強かん発言」は男だって許せない / 坂井隆之 (p.62-63)
51. 軍隊とフェミニズム: ヨーロッパの場合 / 近藤和子 (p.98-109)
52. フェミニズムと軍隊内男女平等 / 柳本祐加子 (p.110-116)
53. 戦時・性暴力 過去: 現在にどう立ち向かうか / 徳永理彩 (p.180-182)
54. なぜ今、売春の非犯罪化が必要か: 「セックス+ワーク」報告集 (p.185)
- <わたしとフェミニズムのあいだ>
55. 私にとってフェミニズムとは / 安積遊歩 (p.31-32)
56. 女、とはだれか / イトオ・ターリ (p.33-35)
57. 「個人的なこと」をめぐるポリティクス / 河口和也 (p.35-37)
58. フェミニズム運動の非フェミニズムの要素 / 高橋りりず (p.46-48)
59. 「性」関連の活動 / 研究 / 企画内部で起こっている性差別: フェミニズムの実践をめぐる困難 / 巽有妃 (p.49-52)
60. 「女」というカテゴリー / 田中玲子 (p.64-67)
61. <人権>という家の中の部屋 / 虎井まさ衛 (p.67-69)
62. トランスジェンダーの視点とフェミニズム / 野宮垂紀 (p.70-73)
63. 性別欄を廃止しよう! / 日比野真 (p.73-77)
64. AM I THAT NAME? 「フェミニスト? それが私の名前なの?」 / 松本麻里 (p.88-91)
65. ある売春婦のフェミニズム / 桃河モモコ (p.92-95)
66. 私は「女の資源化」に反対する / 吉田さつき (p.95-97)

インパクション [119] (2000.05)

特集: 沖縄サミット

67. 「国際女性サミット」に向けて: 「子供と女性」の視点からの「安全保障」 / 高里鈴代 (p.68-71)
68. アート・アクティヴィズム(29): <私(歴史)>の決定的瞬間: ヨンスン・ミン / 北原恵 (p.124-135)

女たちの21世紀 [21] (2000.01)

特集: 女性運動: 北京から21世紀へ

<日本の女性運動: 現在と未来>

69. 男女共同参画社会基本法体制への懸念 / 中島通子 (p.12-13)
70. 日本国家これでいいのか: 「慰安婦」制度の責任に対

- するジャッジメント(判断)の回避をどう乗り越えるか/西野瑠美子 (p.14-16)
71. 国家の役割を小さくして社会の役割を大きくすることへの個人的断想/有村順子 (p.17-19)
72. 北京世界会議から5年: 沖縄の女性たち: 今も続く軍隊の暴力との闘い/高里鈴代 (p.20-23)
73. 日本のフェミニズム: アイデンティティとフェミニズム/山下英愛 (p.27-30)
- < 21世紀に向けて私のビジョン >
74. オルタナティブ社会をめざして女性が社会の主人公に/佐方満智子 (p.31)
75. 何への「男女共同参画」か?/萩原弘子 (p.32)
76. ジェンダー化した思想闘争/大越愛子 (p.33)
77. 日の丸・君が代反対: 歴史の主体として生きよう/北村小夜 (p.34)
78. 日本の画家と戦争責任/富山妙子 (p.35)
79. 女性の総力をあげて沖縄差別を解消しよう/斎藤千代 (p.36)
80. ひとりひとりが生き方、暮らし方を見直す/山口泰子 (p.37)
81. 女性が政治を創る時代へ/岩本美砂子 (p.38)
82. フェミニズムの「第三波」と「女性の権利/人権」: 「女」という主体はどこへ?/金井淑子 (p.39-40)
83. 自尊心こそ、変革を実現する基本的な力/道下匡子 (p.41)
- < 若い女性たちが担う21世紀 >
84. 若い女性たちに女性運動への参加を期待したい: 女子学生アンケートをなぜしたのか?/松井やより (p.50-58)
- < 2000年世界女性会議に向けて >
85. 北京プラス5: 2000年世界女性会議(6月ニューヨーク): 21世紀へ向けての男女平等、開発、平和をテーマに/松井やより (p.60-64)
86. アジア太平洋NGOシンポジウム報告書: 北京世界女性会議行動綱領12の重大関心分野概要/北口文訳 (p.65-67)
87. アジアの女性運動の未来: 原理主義と社会的・文化的保守主義の台頭: 女性運動への挑戦/ニガット・サイド・カーン; 伊藤優子訳, 岩田真由訳 (p.68-73)
88. 21世紀、女性は挑戦する: 先住民族女性として/リンダ・バーニー; 中瀬純子訳, 小幡詩子訳 (p.74-77)
- < グローバル化と国家の暴力: アジア各国で >
89. アジア各国女性運動9: タイの経済危機と女性/サニッスダー・エーカチャイ; 佐藤万帆訳 (p.78-81)
90. シニット・シティラックさんを囲んで/山本由, 筒井由紀子 (p.82-84)
91. アジア各国女性運動10: インドネシア: 民主化と女性の人権確立をめざして/イタ・ナディア, 吉岡紀子 (p.85-88)
92. インドネシア華人女性大規模レイプの真実/イタ・ナディア (p.89-90)
93. アフガニスタン: タリバン支配下の買売春/三輪二葉 (p.81-95)
94. 男性との対話(14)国家権力にどう立ち向かうのか: 家庭や地域の権力関係を変える小さな単位の運動が結び合う/太田昌国, 松井やより (p.96-102)
95. 西村真悟衆議院議員の辞職を求める抗議行動/荒井眞理 (p.103-104)
-
- 女たちの21世紀 [22] (2000.04)
- 特集: 教育とジェンダー
- < 教育の現状を総点検する: ジェンダーの視点から >
96. 学校教育における「男女平等」の現在/賀谷恵美子 (p.4-9)
97. 政府・文部省の目指す「教育改革」とは?: 私たちの意見を出そう/橋本紀子 (p.10-12)
98. 学校における男女差別を助長する教育: 男女混合名簿のアンケート調査結果から/浦野美智子 (p.13-14)
99. ある家庭科教師の思い: 男社会の教育現場で/森山華 (p.15-16)
100. 高校の教科書に見る女性差別/篠原洋子 (p.17-20)
101. 性教育の今、そして課題/原田瑠美子 (p.21-23)
102. 教室にジェンダー・フリーの風を!/山内恵子 (p.24-25)
103. 松井やよりの『アジアの働く子供たち』が中学2年の国語教科書に載ったわけ/大内朋子 (p.25)
104. 女性学教育の危機: 研究と運動の乖離: 女性学教育の体制化と女性運動/國信潤子 (p.26-27)
105. 教員養成にジェンダーの視点を!/河上婦志子 (p.28-29)
106. 開発教育にジェンダーの視点をどう入れるか/磯野昌子 (p.30-32)
107. 環境教育はジェンダーに無関心/川村研治 (p.35-36)
108. ジェンダーと人権教育/角田尚子 (p.37-38)
- < 男女平等をみざすさまざまな取り組み >
- ・社会で
109. ジェンダー・センシティブティ・トレーニングを創ろう/丹羽雅代 (p.39-40)
110. 「ジェンダーと開発」をともに考える場作り/本山央子 (p.41-43)
111. 「デートレイプ」を考える参加型ワークショップ/飯田ハナ (p.44-45)
112. 平和教育におけるジェンダーを考える/阿木幸男 (p.46-47)
113. 男性のジェンダー意識変容の可能性: 「男性改造講座」と自主グループ「パスポート」の事例より/山澤和子 (p.48-49)
- ・学校で
114. 「共に生きる」ために: 家庭科教育の試み/柴田栄子 (p.50-51)
115. ジェンダーフリーは、学校を変える/宮山由紀 (p.52-53)
116. 高校国語教育の現場で/角田洋子 (p.54-55)
117. スクールセクシュアル・ハラスメントの防止活動/亀井明子 (p.56-57)
- ・地域で
118. 「日の丸・君が代」と国立市民の運動/遠藤良子 (p.58-59)
- ・民族教育
119. 民族教育をジェンダーの視点で見ると・・・/鄭貴美 (p.60-61)

120. 民族教育とジェンダー / 梁真規 (p.62-63)
121. 制服としてのチマ・チョゴリとジェンダー / 李月順 (p.64-65)
< 海外の教育事情 >
122. 女子教育によるエンパワメント：インドの現状 / 甲斐田万智子 (p.66-68)
123. 両性の平等と性の教育研修ツアー(北欧)に参加して / 東市子 (p.69-71)
124. カナダの留学経験から：女性をエンパワメントする教育 / 秋元由梨 (p.72-73)
125. 資料：女性2000年会議日本NGOレポートより(一部抜粋)：教育 (p.74-75)
126. 統計で見る教育とジェンダー (p.76-79)
127. 男女共同参画社会基本法の問題点 / 中島通子 (p.80-83)
128. 男性との対話(15)：女性のエンパワメントと教育 / 室俊司, 松井やより (p.85-87)
129. 6月5～9日ニューヨークで「女性2000年会議」が開催されます! / 織田由紀子 (p.88)
130. 旧ユーゴ・ベオグラードとザグレブの旅から：民族や国家を超えてバルカンの未来を創る女性たち：戦争の傷あととは深くても / 松井やより (p.93-95)

家族心理学研究 [13-1] (1999.05)

131. 中学2年生の家族のイメージ研究：父、母、子の3者関係イメージ / 大下由美, 亀口憲治 (p.1-13)
132. ソーシャル・サポートとしての家族と支持的面接の効果との関連についての研究 / 日高潤子 (p.15-27)
133. 家族を「ケア」ということ：育児期の女性の感情・意識を中心に / 平山順子 (p.29-47)

家族心理学研究 [13-2] (1999.11)

134. 家族の死に関連して生じるストレス：「二次的ストレス」に関する探索的検討 / 坂口幸弘, 柏木哲夫, 恒藤暁 (p.77-86)
135. 父親の協力的関わりと母親のストレス、子どもの社会性発達および父親の成長 / 尾形和男, 宮下一博 (p.87-102)
136. 乳児の泣き声に対する親の認知と対処行動 / 神谷哲司 (p.103-114)

家庭科教育 [74-1] (2000.01)

137. 若者の生活事象 / 北村悦子 (p.16-20)
138. 学生の個室を考える / 斎藤洋子 (p.32-36)
139. 世紀末のファッション：第二ミレニアムから第三ミレニアムへ：足元のおしゃれ「靴」について / 長塚こずえ (p.37-42)
140. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(1)：コスチュームとデザインのロンドンとその周辺の博物館(その2) / 日下部信幸 (p.43-52)

家庭科教育 [74-2] (2000.02)

141. 家政系の環境学：私見：「人間環境学」講義実践を通して / 諸岡信久 (p.6-10)
142. 現代の母親像と子育てを支える環境システム / 太田光洋 (p.11-15)

143. 次世代を育てるのは誰なのか：少子化と家族のゆくえ / 木脇奈智子 (p.16-21)
144. 母親の他児比較と孤立 / 岩田美香 (p.22-27)
145. 心を育てる保育学習 / 西田寛子 (p.28-34)
146. 母親への褒め方に見られる子どもの男女の差 / 小林俊雄 (p.35-39)
147. 仲間が集まれば始められる園芸療法 / 砂川純子, 石川明美 (p.51-56)
148. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(2)：コスチュームと中世羊毛産業の地、パース・コッツウォルズ地域の博物館(その1) / 日下部信幸 (p.40-45)

家庭科教育 [74-3] (2000.03)

149. 家庭科を教える・学ぶ男性のライフヒストリーとジェンダー(1)：高等学校家庭科男性教師の場合 / 堀内かおる (p.26-30)
150. 中学生期における食生活の変化と健康状況との関わり / 池田順子 (p.48-52)
151. ロールプレイングなどの効果的な活用を探る / 浦上紀子 (p.53-60)
152. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(2)：コスチュームと中世羊毛産業の地、パース・コッツウォルズ地域の博物館(その2) / 日下部信幸 (p.72-78)
153. 家庭科を教える・学ぶ男性のライフヒストリーとジェンダー(1)：高等学校家庭科男性教師の場合 / 堀内かおる (p.26-30)
154. 中学生期における食生活の変化と健康状況との関わり / 池田順子 (p.48-52)
155. ロールプレイングなどの効果的な活用を探る / 浦上紀子 (p.53-60)
156. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(2)：コスチュームと中世羊毛産業の地、パース・コッツウォルズ地域の博物館(その2) / 日下部信幸 (p.72-78)

家庭科教育 [74-4] (2000.04)

157. 家庭科を教える・学ぶ男性のライフヒストリーとジェンダー(2)：家庭科専攻男子学生の場合 / 堀内かおる (p.28-33)
158. 大学の教職課程における被服教育の課題(2)：男女共修を体験した大学生の被服教材への所見 / 石原久代, 横山寿子 (p.39-47)
159. 源氏物語から女性のエンパワメントを探る / 百瀬靖子 (p.57-61)
160. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(3)：レースと羊毛とコスチュームのイングランド南西地域の博物館(1) / 日下部信幸 (p.73-80)
161. 青年海外協力隊員レポート：モロッコで婦人子供服を教える / 魚谷フミ (p.84-87)
162. 男子学生さんが自分を褒めると / 小林俊雄 (p.88-92)
163. 家庭科を教える・学ぶ男性のライフヒストリーとジェンダー(2)：家庭科専攻男子学生の場合 / 堀内かおる (p.28-33)
164. 大学の教職課程における被服教育の課題(2)：男女共

- 修を体験した大学生の被服教材への所見 / 石原久代, 横山寿子 (p.39-47)
165. 源氏物語から女性のエンパワーメントを探る / 百瀬靖子 (p.57-61)
166. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(3) : レースと羊毛とコスチュームのイングランド南西地域の博物館(1) / 日下部信幸 (p.73-80)
167. 青年海外協力隊員レポート : モロッコで婦人子供服を教える / 魚谷フミ (p.84-87)
168. 男子学生さんが自分を褒めると / 小林俊雄 (p.88-92)
-
- 家庭科教育 [74-5] (2000.05)
169. 進むやせと肥満の二極化現象 : 平成十年国民栄養調査成績から / 藤沢良知 (p.6-11)
170. 高等学校における家庭科教育が目指すこと : 体験学習を通して付けたい力(その1) / 高橋眞子 (p.12-16)
171. 高等学校家庭科における生活情報教育の指導方法の検討(1) : 『生活情報の活用』における授業実践の試み / 狭間和恵 (p.18-23)
172. モノの豊かさ子どもの金銭感覚 / 表真美, 宮崎玲伊子 (p.24-29)
173. 被服教育におけるファッションビジネス演習 : インターンシップ導入の試み / 西之園君子 (p.46-51)
174. 衣服の素材感について / 吉野鈴子, 木村恵子, 中尾時枝 (p.52-56)
175. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(3) : レースと羊毛とコスチュームのイングランド南西地域の博物館(2) / 日下部信幸 (p.70-78)
176. 喪服の色 : 古代編 : 白から黒へ / 増田美子 (p.79-85)
177. 進むやせと肥満の二極化現象 : 平成十年国民栄養調査成績から / 藤沢良知 (p.6-11)
178. 高等学校における家庭科教育が目指すこと : 体験学習を通して付けたい力(その1) / 高橋眞子 (p.12-16)
179. 高等学校家庭科における生活情報教育の指導方法の検討(1) : 『生活情報の活用』における授業実践の試み / 狭間和恵 (p.18-23)
180. モノの豊かさ子どもの金銭感覚 / 表真美, 宮崎玲伊子 (p.24-29)
181. 被服教育におけるファッションビジネス演習 : インターンシップ導入の試み / 西之園君子 (p.46-51)
182. 衣服の素材感について / 吉野鈴子, 木村恵子, 中尾時枝 (p.52-56)
183. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(3) : レースと羊毛とコスチュームのイングランド南西地域の博物館(2) / 日下部信幸 (p.70-78)
184. 喪服の色 : 古代編 : 白から黒へ / 増田美子 (p.79-85)
-
- 家庭科教育 [74-6] (2000.06)
185. デンマークにおける男女平等政策と結婚・家族の現状 / 服部範子, 浦野俊美, 富田幸子 (p.11-17)
186. おしゃれを楽しむ意識に見る世代間の違い / 千葉佳子 (p.38-43)
187. 高等学校家庭科における生活情報教育の指導方法の検討(2) : インターネット活用の学習効果と授業実践上の課題 / 狭間和恵 (p.49-54)
188. イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館を訪ねて(3) : レース羊毛とコスチュームのイングランド南西地域の博物館(3) / 日下部信幸 (p.63-68)
189. 男子学生さんに自分自身を褒めてもらう / 小林俊雄 (p.69-73)
-
- かながわ女性ジャーナル [18] (2000.03)
- 特集 : 女性の一步が社会を変える : 政策・方針決定の場合
190. 男女共同参画社会と女性の政治参加 / 国広陽子 (p.5-32)
191. 審議会・協議会への参画を目指そう / 上條茉莉子 (p.33-50)
192. 政策立案集団を目指して / 片岡理智 (p.51-63)
-
- 季刊男も女も : 自立・平等 [81] (1999.10)
- 特集 : 男から男へ : 暴力をふるわない男として生きるために
193. 座談会 : 男から男へ : 「DV防止プロジェクト」の可能性 / 坂井隆之[ほか] (p.6-11)
194. 男から男へ : アメリカにおけるDV加害者対策 : カリフォルニア州にみるバタラズ・プログラム / 中村正 (p.12-15)
195. 男から男へ : 性暴力は男性問題 : 『女性への暴力ホットライン』にかかわって / 平岡靖治 (p.16-17)
196. いま学校で : 小学校 : 性情報を取捨選択する : マンガ・テレビの性について考える / 緒方亮子 (p.18-21)
197. いま学校で : 高等学校 : ディカプリオで考える家族 : 生徒とともに探るジェンダーフリー / 田辺瑞枝 (p.22-25)
198. メディアの現場から(7) : 計器が壊れている? / 竹信三恵子 (p.26-27)
199. は・た・ら・く : 「派遣」という働き方 : コマーシャルとは大違い!! : 岸川あきよさん(仮名)に聞く / 高橋淳子 (p.28-30)
200. ワークショップが心を癒す : 相談室・ヒューマンサービスセンター・深澤純子さんにきく / 松永るみ子 (p.31-34)
201. 「ジェンダー」誤用による性差別の隠蔽 : 差別の現実から目をそらす役割? / 三宅義子 (p.35)
202. 「一生に二度もヒバクしたくない」 : もはや自分を守る方法を一人一人が考える時 / 大庭里美 (p.36)
203. 自分を相対化した「わくわく団」の活動 : 「男女平等をすすめる教育全国ネットワーク」学習交流会より / 森零 (p.37)
204. パートナースHIP(7) : 絶えず創造的に生きる : 「どこまで自由に生きられるか」に挑戦 / 原田瑠美子, 石井和彦, 古庄弘枝 (p.44-48)
205. 歴史をジェンダーで読む(6) : 柴山恵美子さんに聞く戦後の女性労働運動(下) : 忍従と沈黙からたちあがった女性たち : 先輩女性リーダー群像から多くを学ぶ / 中島圭子 (p.44-48)
206. 写真を読む(11) : 日本軍の女性スパイ / 岩尾光代 (p.49)
207. インタビュー 『男の曼荼羅』(7) : 自分の言い分が通らないとガンと殴るんです : 暴力を克服した男性の言

- 葉 / 豊田正義 (p.50-52)
208. ラディカ・クマラスワミ(国連女性に対する暴力とその原因および結果に関する特別報告者)による：ドメスティック・バイオレンス特別報告書：第二付属文書ドメスティック・バイオレンスに関する法律モデルのためのフレームワーク (p.59-61)

季刊女も男も：自立・平等 [82] (2000.01)

209. 思い込みの「強姦本能」「母性本能」 / 安川寿之輔 (p.2-3)

特集：少子化・女の本音

210. ジェンダー政策としての家族支援政策：EUにみる理念ととりくみ / 岩上真珠 (p.13-15)
211. 「不妊フィルター」を通して見た少子化対策：めざすべきは性別役割分業観の払拭 / 鈴木良子 (p.16-17)
212. 男だって本音：乳幼児からの子育てにとりくむ男たち：グループ“父親を生きる”のメンバー山崎孝之さんに聞く / 山崎孝之, 神崎恭子 (p.18-19)
213. いま学校で：中学校：人生を前向きに思考する「生き方学習」：他人との関わりのなかで自己像をつかむ / 安間知恵子 (p.20-23)
214. いま学校で：中学校：共学体育への不安ととまどい：「隠れたカリキュラム」へのとりくみ / 大久保則夫, 足立佳代 (p.24-27)
215. メディアの現場から 8：「エリートだから」なのか / 竹信三恵子 (p.28-29)
216. はたらく 8：介護保険スタートを前に：どう変わる？「仕事」としての介護：保健婦野村まゆみさんに聞く / 野村まゆみ, 高橋淳子 (p.30-32)
217. 写真を読む 12：最新式婦人髪化粧 / 岩尾光代 (p.33)
218. ムーブメント：地域の介護福祉をネットワークする：草の根介護ショップ「ファミリー」吉川和子さんの歩み / 吉川和子, 松永み子 (p.34-37)
219. ムーブメント：際立った日本人のセクシュアリティに関する擁護の貧しさ：アジア初の国際閉経学会報告 / 宮淑子 (p.38-39)
220. パートナーシップ 8：「言葉の人」と「気動きの人」の程よいまじりあい：自分のスタイルを変えないでかつ支えあう関係を求めて：早川幸子さん、金子雅臣さん / 早川幸子, 金子雅臣, 古庄弘枝 (p.42-43)
221. 女性解放思想史講座 第69回：チリの女性作家イサベル・アジェンデ：人々がもっと愛しあえるほうに私は書く / 山陰昭子 (p.46-49)
222. インタビュー『男の曼茶羅』 8：ぼくは男だから我慢しなきゃいけない、女のわがママをきかなくちゃいけない / 豊田正義 (p.50-52)
223. 動き始めた？「男女共同参画社会」形成への取り組み (p.60-63)

季刊女も男も：自立・平等 [83] (2000.04)

224. 「娘の18歳」と「私の18歳」 / コリーヌ・ブレ (p.2)

特集：「平和の思想」とジェンダー

225. 「平和の思想」と「男らしさ」：暴力の行使と戦争の魅

力をいかに解体するか / 伊藤公雄 (p.14-17)

226. 「女と国家」：マイノリティとしてのフェミニズムを / 加納美紀代 (p.18-21)

<いま学校で：小学校>

227. 学校におけるセクシュアル・ハラスメント防止に向けて：アンケートにもとづいた授業実践 / 金子恵子 (p.22-25)

<いま学校で：高等学校>

228. 私自身へのメッセージ“熱光”をつづる：『初めての父ちゃん日記』その後 / 横山新太郎 (p.26-28)

229. メディアの現場から (9)：バックラッシュより怖いもの(上) / 竹信三恵子 (p.30-31)

230. はたらく：パソコンは女性にとって福音：働く女性のためのパソコン・ネットワークを組織：奥山睦さんに聞く / 田村のりこ (p.32-34)

231. 食品業界の放射能汚染を監視する：アメリカの原発防災ガイドブックを翻訳・出版した市民グループ / 松永み子 (p.35-38)

232. 教育を変えることで日本を変えることができる？：報告・日教組49次教育研究全国集会 / 添田悦子 (p.39-40)

233. 暴力・遺棄・性虐待に関する全国調査を実施：『子どもと家族の心と健康』調査報告書発行 / 島崎継雄 (p.40-41)

234. ビルマにおける「慰安婦」制度を現地調査：ビデオ『ビルマに消えた「慰安婦」たち』発売中 / 森川万智子 (p.41)

235. 「女性が幸せに生きていける社会」が基準：連合・国際女性デー中央集会報告 (p.42)

236. パートナーシップ (9)：山は価値観を変えてくれた：いちばん達成感のある趣味の一つが登山：田部井淳子さん・田部井政伸 / 古庄弘枝 (p.43-46)

237. 歴史をジェンダーで読む (6)：市川先生から婦人運動家として徹底的に育てられましたね：紀平倭子さんに聞く婦人参政権運動 / 原田瑠美子 (p.47-51)

238. 法律ガイド (9)：年を重ねる / 中野麻美 (p.52-53)

239. インタビュー『男の曼茶羅』 (9)：僕が拳をあげるだけで、彼女は恐怖でおとなしくなるので、楽にはなりました。 / 豊田正義 (p.56-58)

240. 資料解説：平成11年版働く女性の実状 / 田村のりこ (p.61-63)

教育と医学 [48-3] (2000.03)

特集：ジェンダーと現代社会

241. 現代社会とジェンダー / 高島克子 (p.4-12)

242. ジェンダーの形成過程：「性」は社会的に作られる / 笹原恵 (p.14-21)

243. 仕事とジェンダー / 小笠原祐子 (p.22-29)

244. ジェンダーの国際比較：中国、シンガポール、日本 / 田村慶子 (p.30-36)

245. 青年期のジェンダー / 伊藤裕子 (p.37-43)

246. 中高年の心の危機とジェンダー / 岡本祐子 (p.44-49)

247. 脳の性差と性同一性 / 貴邑富久子 (p.50-57)

248. コミュニケーションとジェンダー / 窪田由紀 (p.58-65)

249. 夫婦間のジェンダー：家庭裁判所から見たジェンダ

- ー / 吉田則子 (p.66-74)
250. **パイアグラとビルと性** / 馬場園明 (p.75-82)
-
- 京都婦研連だより [63] (2000.06)
251. **研究業績と研究者のライフコース** / 鶴沢由美子 (p.1-10)
252. **女性研究者の素養をいかに作れるか：外国文学研究者の場合** / 木下由紀子 (p.11-16)
253. **女性の就労と社会保障?：国民年金第三号保険者問題から** / 武田公子 (p.16-18)
-
- くらしと教育をつなぐWe [8-9] (2000.01)
特集：「男らしさ」の再定義
254. **非暴力的な男らしさの可能性：米国のDV加害者対策に学ぶ** / 坂井隆之 (p.16-29)
255. **家事神話 第7回：女性の貧困のかけにあるもの 7** / 竹信三恵子 (p.40-43)
-
- くらしと教育をつなぐWe [8-10] (2000.02)
特集：フェミニズム2000
256. **講演記録：ブラック・フェミニズムの主張：「違い」を認めながら連帯すること** / テレサ・ウィリアムズ、稲邑恭子 (p.2-10)
257. **なぜいまブラック・フェミニズムなのか：オードリー・ロードとベル・フックス** / 稲邑恭子、堀田碧碧 (p.11-18)
258. **私自身の内奥へ：『私という旅』から始った私自身との対話** / 森純玉 (p.19-22)
259. **新しいセクスイメージをつくる** / 北原みのり (p.23-32)
260. **家事神話：女性の貧困のかけにあるもの8：家事の政治学(下)** / 竹信三恵子 (p.38-41)
-
- くらしと教育をつなぐWe [9-1] (2000.04)
特集：違いとつきあう
261. **インタビュー：異文化を理解するということ**：角田尚子さん / 稲邑恭子 (p.2-9)
262. **授業報告：「性のゆらぎ」を確かめる試み** / 木下禮子 (p.13-18)
263. **家庭科・風がかわる匂いもかわる：スウェーデンの高齢者福祉サービスの現状に学ぶ**：ストックホルム市・リンシェーピン市を訪ねて / 立山ちづ子 (p.19-22)
264. **家事神話：女性の貧困のかけにあるもの 9：家事労働の輸出** / 竹信三恵子 (p.40-43)
265. **ひげのおばさん子育て日記 1：お母さんも心配ない** / 中畝常雄 (p.46-47)
266. **セックスをめぐる超! わがままなりれーえっせい 8：「レイプAV」を許さない!!** / 多岐川恵理 (p.48-49)
-
- くらしと教育をつなぐWe [9-2] (2000.05)
特集：「国旗・国歌」考
267. **権利という名を持つ忠誠義務：鄭暎恵さん** (p.2-13)
268. **夫婦別姓の落とし穴** / 吉原令子 (p.14-17)
269. **フェミニズムのバックラッシュ?!：「男女共同参画」**

と「日の丸」フェミニズムとの危うい関係 / 堀田碧 (p.18-22)

270. **家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(10)：搾取の転嫁** / 竹信三恵子 (p.49-52)
271. **ひげのおばさん子育て日記(2)：カッコいい、カッコわるい** / 中畝常雄 (p.56-57)
-
- くらしと教育をつなぐWe [9-3] (2000.06)
特集：ジェンダーの視点から「働くこと」を考える
272. **インタビュー：派遣労働の現状と課題について**：中野麻美さん / 吉楽美奈子 (p.2-8)
273. **女性が生き生きと働くには?** / 吉楽美奈子 (p.9-16)
274. **家事神話：女性の貧困のかけにあるもの(11)：不機嫌な装置(上)** / 竹信三恵子 (p.17-20)
275. **女性の働き方をめぐる状況：雇用形態の多様化の落とし穴** / 稲邑恭子 (p.21-29)
276. **「ジェンダー」の授業** / 川崎貴子 (p.30-35)
277. **新米議員のジェンダー議事録：私が議員を志した理由** / 木村民子 (p.48-49)
278. **ひげのおばさん子育て日記：子ども自慢** / 中畝常雄 (p.52-53)

月刊家庭科研究 [173] (1999.05)
279. **高校実践：職業労働と家庭の経済** / 石引公美 (p.56-63)

- 月刊家庭科研究 [174] (1999.06)
特集：ジェンダーと家庭科
280. **ジェンダー・エクイティ(性の平等)教育と家庭科** / 望月一枝 (p.4-9)
281. **学習指導要領に色濃くあるジェンダーロール(性役割)** / 斉藤弘子 (p.10-15)
282. **子ども虐待・早期教育からジェンダーを考える授業** / 天野稔子 (p.16-21)
283. **女らしさ・男らしさを考える：ジェンダーの視点を取り入れて** / 近江眞理 (p.22-29)
284. **家庭生活の中のジェンダー：ロールプレイによる「気づき」**の授業 / 田中京子 (p.30-37)
285. **次の時代の社会と文化を育む家庭科実践：3つの実践を読んで** / 望月一枝 (p.38-41)

月刊家庭科研究 [175] (1999.07)
特集：新学習指導要領で家庭科はどうなる：高校
286. **現行学習指導要領と大きく異なる高校家庭科、その問題点と背景を探る** / 斉藤弘子 (p.10-15)
287. **3科目の内容を検討する** / 大塚須美子 (p.16-21)
288. **資料 現行家庭一般と3科目との比較：新学習指導要領：高校家庭科の比較** (p.22-25)

月刊家庭科研究 [177] (1999.09)
特集：少子化問題を考える
289. **少子化問題をどう考えるか** / 牧野カツ子 (p.6-13)
290. **少子・高齢化がらみの数字のトリックで国民に高負担のおしつけ**：資料 少子化の原因他 (p.12-21)
291. **子育ての不安と少子化** / 園田とき (p.22-26)

292. 少子化に関するデンマークの現状 / 宮下智美 (p.27-31)

月刊家庭科研究 [178] (1999.10)

特集：国際高齢者年と家庭科

293. 国際高齢者年と家庭科教育の課題 / 井上英夫 (p.4-15)

294. 高校実践(2)：人の発達を生涯にわたって見る：思春期・青年前期、人間の自立と共生 / 齋藤美保子 (p.52-59)

295. 大学実践：新入生と向かいあう授業(4) / 田中恒子 (p.60-67)

月刊家庭科研究 [179] (1999.11)

296. 基礎講座(4)：ジェンダーを乗り越える家庭科教育 / 鶴田敦子, 冨田道子 (p.31-34)

月刊家庭科研究 [183] (2000.03)

297. 家庭科教師の一日の生活時間 (p.32-37)

298. 高校実践：こんなまちで暮らしたい：「まちづくりまっぷ」作りを通して考える男女共同参画社会への土台 / 齋藤美保子 (p.45-54)

月刊家庭科研究 [184] (2000.04)

特集：子どもを育てるのは誰？

299. 子どもを育てるのは誰か？：<育児困難時代>を克服する社会づくりを / 汐見稔幸 (p.4-9)

300. 子どもたちのたしかな居場所：住民の協力で実現を / 岩橋能二 (p.10-14)

301. 学童保育で育つ子どもたち：仲間の中での親と子の育ちあい / 前大俊子 (p.15-19)

302. 育児休暇を通して考えたこと：望まれるのは実際に行動すること / 中村俊明 (p.27-31)

303. 特集資料：フィンランド・ノルウェーに学ぶ男女がともにつくる社会：世界の動きと先進国の今 (p.32-35)

304. 小学校実践(5年生)：食物の栄養について：ダイエットを考える：1999年度教育研究全国集会レポートより / 瀬谷勝 (p.36-44)

月刊家庭科研究 [185] (2000.05)

特集：2000年、女性たちはいま：21世紀を男女平等の世紀に

305. 女性2000年会議にむけて：政府報告に対するシャドー・レポート作成のとりのくみ / 白井雅子 (p.23-26)

306. 新しい扉ひらくたたかいは：丸子警報器28人の女性臨時者のたたかい / 塩之入安男 (p.27-31)

307. セクハラ知事をノックアウトさせた女性たちの力 / 砂湖和子 (p.32-33)

308. 2000年世界女性行進スタート! (3月8日) (p.37)

309. 薬害エイズ・なぜ責任者を追及しつづけるのか：川田龍平の母 / 川田悦子 (p.68-69)

月刊家庭科研究 [186] (2000.06)

310. 買春を考える / 佐藤昭子 (p.66-67)

月刊公民館 [504] (1999.05)

311. 行政だより：子どもの体験学習等に関するアンケート

調査について (p.43-46)

月刊公民館 [505] (1999.06)

312. 高校生と公民館：参考データ：1 高校生の生活と意識 2 青少年世代の世代意識 3 青少年の友人関係 (p.21-25)

月刊公民館 [506] (1999.07)

特集：子育て支援

313. 子育て支援で大切なのは母親の自分育てをサポートすることである / 広岡守穂 (p.4-8)

314. 実践事例 1：「あたたかな育ち会場の場」になることを願って：「水沢市子育てひろば」の取り組み：岩手県水沢市常盤公民館 / 昆恵美子 (p.9-13)

315. 実践事例 2：出雲市における家庭教育を支援する地域づくり：家庭教育支援センターとボランティアの活動：島根県出雲市教育委員会 / 大野啓司 (p.14-19)

316. 子育て支援：参考データ：1 子どもと家族に関する国際比較調査 2 家庭や地域の教育力についての認識 3 世帯構造 4 子どもの日ごろの生活で気になること 5 子育ての環境整備のための方策に関する意識 6 妻が理想の数の子どもを持つとしない理由 7 専業主婦の母親に大きい育児不安 8 保育園児を持つ家庭における子育ての役割分担 (p.21-24)

月刊公民館 [507] (1999.08)

特集：全国子どもプラン

317. 家庭教育への支援 / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課 (p.41)

318. 行政だより：男女共同参画社会基本法について / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課 (p.47-49)

月刊公民館 [508] (1999.09)

319. 公民館企画Q and A(17)：現代的課題編・メンズリブ / 原善彦 (p.28-31)

月刊公民館 [512] (2000.01)

320. 男女共同参画社会に向けた学習 / 鈴木優子 (p.42-43)

月刊公民館 [513] (2000.02)

特集：公民館報の充実

321. 実践事例：めざせ情報発信基地・市民の手による公民館報づくり：北海道旭川市神楽公民館 / 今井雅之 (p.9-13)

322. 参考データ：1 情報提供の方法 2 学習情報の入手方法と期待する方法 3 市町村が行う学習情報の提供方法 4 公民館報の実態 (p.15-19)

323. 行政だより：全国ボランティア情報提供・相談窓口の開設について / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課 (p.43-44)

月刊公民館 [514] (2000.03)

324. 公民館新機軸：青少年事業・ボランティア事業：教育力の向上をめざす家庭教育学級の取り組み(1)：福岡

- 県行橋市中央公民館 / 塚内與四美 (p.24-28)
325. 行政だより：「子どもの体験活動等に関する国際比較調査」の実施結果について / 文部省生涯学習局青少年教育課 (p.44-46)

月刊公民館 [515] (2000.04)

326. 公民館新機軸：青少年事業・ボランティア事業：「お母ちゃん」楽しく学習：幼稚園中央家庭教育学級(その3)：岐阜県海津町公民館 / 伊藤國博 (p.41-45)

月刊公民館 [516] (2000.05)

特集：国際ボランティア年

327. 参考データ：ボランティア活動の経験と意識：国際比較：市町村のボランティア養成事業 (p.20-23)

328. 公民館奮闘記(その1)：中高年男性とにかく集まれ！：男の友・遊・学教室：千葉県四街道市千代田公民館 / 小島淳一 (p.30-35)

月刊社会教育 [43-5] (1999.05)

特集：介護を支える学び

329. 介護と介護家族を考える：要介護者としての痴呆性高齢者を抱える家族の問題から / 下垣光 (p.12-18)
330. 要介護者と暮らす家族の葛藤と出会い / 佐藤和美 (p.19-25)
331. 介護を要する人の権利と援助職者の権利：介護システムづくりの基本的視点 / 山本いま子 (p.33-38)
332. 公民館の学びから介護支援活動・NPOへ：サポートハウス年輪の五年 / 安岡厚子 (p.39-44)
333. 海外情報：アメリカにおけるCR実践の展望：学習方法としての可能性を中心として / 森谷育代 (p.78-83)

月刊社会教育 [43-6] (1999.06)

334. シリーズ私の実践：ののむらけいこの社会教育私史：東京・練馬での37年(1)：社会教育一筋に生きてきた私 / 野々村恵子 (p.94-97)

月刊社会教育 [43-7] (1999.07)

335. シリーズ私の実践：ののむらけいこの社会教育私史：東京・練馬での37年(2)：学習権保障という考え方に出あって / 野々村恵子 (p.94-97)

月刊社会教育 [43-8] (1999.08)

特集：アジアと日本：戦争を若者にどう伝えるか

336. 子どもたちにどう戦争を伝えるか：公民館活動を通して / 白根厚子 (p.52-58)
337. 「慰安婦」問題の立法による解決を！ / 高橋喜久江 (p.60-67)

月刊社会教育 [43-9] (1999.09)

338. シリーズ私の実践：ののむらけいこの社会教育私史：東京・練馬での37年(3)：婦人学級で地域の女性たちと考えつづけたこと / 野々村恵子 (p.94-97)

月刊社会教育 [43-10] (1999.10)

339. 新戸婦人学級の展開と久保田浩子の役割 / 太田節子

(p.78-89)

340. シリーズ私の実践 ののむらけいこの社会教育私史：東京・練馬での37年(4)：親の教育権実現を願って：家庭教育学級の実践 / 野々村恵子 (p.94-97)

月刊社会教育 [44-1] (2000.01)

特集：社会教育の未来図：ゆるぎない路線を求めて

341. 第一部=社会教育の未来図：地域と福祉が会って：松本市における地区福祉ひろばの取り組み / 白戸洋 (p.16-23)
342. 第一部=社会教育の未来図：社会教育と市民活動・NPOはどうかかわるべきか：社会教育行政が問われるもの / 市民活動サービスコーナー職員会 (p.32-38)
343. インタビュー 市民参加のまちづくりをどう実現するか：上原公子・東京都国立市長に聞く / 上原公子, 朝岡幸彦 (p.56-70)

344. NPOと社会教育 9：NPOと行政の「いい関係」づくり / 手塚英男 (p.88-89)

月刊社会教育 [44-2] (2000.02)

特集：子どもの育ちと自然体験

345. 児童館におけるエコクラブの活動 / 山本まゆみ (p.28-33)

月刊社会教育 [44-3] (2000.03)

特集：男性の居場所さがし

346. 急増 中高年男性の自殺：その現状分析と予防策 / 佐藤陽 (p.6-12)
347. 男性対象のジェンダー講座の可能性 / 伊藤公雄 (p.13-19)
348. いま、振り返る「男塾」：辻堂公民館・鶴沼公民館共催事業 / 横田淳一, 寒河江清人 (p.20-25)
349. 学校を基地にお父さんのまちづくり：学校が地域のたまり場だ / 岸祐司 (p.26-32)
350. 市民として、おやじとして、今、何ができるか：地域で自分を表現『おやじサミットin川崎』 / 大下勝巳 (p.33-39)
351. ドメスティックバイオレンスに見る男性問題 / 中田慶子 (p.40-45)

352. <資料>次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するための地域企業の協力について：教育現場の荒廃や多発する少年事件に憂えて(要約) / 東京商工会議所 (p.74-79)

月刊社会教育 [44-6] (2000.06)

特集：現代のサークル力

353. 公民館サークル活動と公民館：福岡市主婦卓球愛好会の活動を通して / 田中理恵子 (p.13-20)
354. ひとびとの力が生きるサポートをめざして：ボランティア・コーディネーターの役割と課題 / 唐木理恵子 (p.28-33)

月刊女性&運動 [200] (1999.05)

355. 人間らしく働き続けたい：全国はたらく女性の110番：実施の概要と特徴 (p.31-33)

- 月刊女性&運動 [201] (1999.06)
 <ドキュメント：5・7女性大集会>
 356. よびかけ・賛同人の発言 / 榎田ふき[ほか] (p.10-13)
 357. 集会決議：賛同者139氏 (p.22-23)
358. 人間らしく働き続けたい!! 第三回：アカデミック・ハラスメントを告発! 奈良県立医科大学アカハラ訴訟原告K・O (p.40-41)

- 月刊女性&運動 [202] (1999.07)
359. インタビュー：高橋喜久江さん(売買取手ととりくむ会事務局長)：女性解放は一代でならず / 高橋喜久江 (p.4-7)
360. 草の根の女たちのあゆみ 第1回：日本初の女性結社の誕生：福田英子と岡山女子懇親会 / 折井美耶子 (p.8-10)
361. 新婦人しんぶんカメラ記者北村玲子が語る“新婦人”：第19回全国大会へ：平和が原点の新婦人が好き! / 北村玲子 (p.30-35)
362. 人間らしく働き続けたい!! 4：男女共通時間外労働年間150時間協定を結んで!：船橋信用金庫労働組合 (p.40-41)
363. 世界の女性情報 (28)：フィリピンの米軍協力法 / 平野恵美子 (p.42-43)

- 月刊女性&運動 [203] (1999.08)
 特集：日本の「食」を考える
364. 産直10周年へ：産直運動の新しい発展を考える / 高田公子 (p.16-19)
365. 草の根の女たちのあゆみ(2)：日本最初のストライキ：雨宮製糸工場のストライキ / 折井美耶子 (p.24-26)
366. 真に男女平等を実現するために実効ある「基本法」制定をもとめる要請書 / 新日本婦人の会 (p.46-47)
367. 女性・データ：男女共同参画の現状 (p.58-56)

- 月刊女性&運動 [204] (1999.09)
368. インタビュー：歴史から学ぶ平和への思い：女性史研究者古庄ゆき子さん (p.4-7)
- 特集：新婦人ドイツ視察レポート
369. ダイオキシンのゴミ問題：ドイツ最新事情と日本の課題 / 笠井貴美代 (p.8-23)
370. 核兵器をなくそう女性のつどい '99 よびかけ人・216氏(8月7日現在/50音順) (p.36-37)
371. 日本国憲法の理念にそった「男女共同参画社会基本法」を：1999年5月20日参議院総務委員会質疑応答(大要)答弁(野中官房長官、佐藤内閣総理大臣官房審議官) (p.41-43)
372. 草の根の女たちのあゆみ(3)：100年に及ぶ公害反対をたたかった女たち：足尾鉾毒事件(栃木県) / 折井美耶子 (p.48-50)

- 月刊女性&運動 [205] (1999.10)
 特集：新婦人の魅力満載
373. 中華全国婦女連合会と新婦人との交流会報告：21世紀

へ新たな歴史のページをひらく / 井上美代 (p.17-23)

374. 草の根の女たちのあゆみ(4)：学問の閉ざされた門を開いた女たち：東北帝大に初の女子大学生 / 折井美耶子 (p.44-46)

- 月刊女性&運動 [209] (2000.01)
 特集：「女性2000年会議」に向けて
375. 二一世紀に「平等・開発・平和」の実現めざし、女性の共同を：ESCAP会議に参加して / 平野恵美子 (p.16-18)
376. 女子差別撤廃条約の選択議定書：国際連合広報センター(非公式訳文) (p.19-21)
377. 派遣労働の実態アンケート結果 / 新日本婦人の会 (p.22-31)

378. 草の根の女たちのあゆみ (7)：新婦人協会広島支部女教師たちのたたかい / 折井美耶子 (p.46-48)

- 月刊女性&運動 [210] (2000.02)
379. 女性2000年会議に期待するもの / 国際民主婦人連盟会長シルビー・ジャン; 片岡文子訳 (p.36-37)
380. 2000年国際婦人デーの成功を：平和・平等・くらし、いのち輝く21世紀を / 笠井貴美代 (p.38-41)
381. 草の根の女たちのあゆみ(8)：民族の魂『アイヌ神謡集』を著わした知里幸恵 / 折井美耶子 (p.42-44)

- 月刊女性&運動 [211] (2000.03)
382. インタビュー：「お酒は文化」にこだわって：きき酒師大越智華子さん (p.4-7)

- 特集：女性2000年会議にむけて 2：女性の人権とセクハラ
383. 被害女性の勇気と、セクハラ・ノー世論と運動の勝利：大阪府知事辞職へのたたかい / 石田法子 (p.8-11)
384. セクハラ知事をノックアウト(大阪)：砂湖和子 (p.12-13)
385. 日本の異常セクハラ事情 / 杉井静子 (p.14-17)
386. こんなにあるセクハラ一覧(一部) (p.18-19)
387. 女性の人権に関する歴史(略年表) (p.20-21)
388. 「国連の『北京行動綱領実施状況に関する質問状』に対する回答(日本政府)」への意見(2000年2月15日) / 新日本婦人の会 (p.22-23)
389. “2000年世界女性行進”に参加しましょう：貧困と暴力に反対し、希望、平等、平和、民主主義を求めて / 一番ヶ瀬泰子[ほか] (p.34-35)

390. 草の根の女たちのあゆみ 9：福岡県婦人水平社の活躍 / 折井美耶子 (p.44-46)

- 月刊女性&運動 [212] (2000.04)
391. インタビュー：そこに“らいてう”がいるような映画に：羽田澄子さん(記録映画作家) (p.4-7)

- 特集：共同の子育てを語る
392. 新しいタイプの言葉遅れの子どもたち：テレビ・ビデオの長時間視聴の影響 / 片岡直樹 (p.26-29)

393. 解説：幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂とこれからの乳幼児教育・保育 / 吉葉研司 (p.30-33)

394. 資料：日本の教育政策と新婦人の運動の20年(1980年～2000年) (p.34-38)

395. 草の根の女たちのあゆみ(10)：木崎村小作争議を支えた女性たち(新潟県) / 折井美耶子 (p.46-48)

月刊女性&運動 [213] (2000.05)

特集：女性の願いと憲法

396. 日本国憲法の値打ち徹底解明する場に：憲法調査会とは：参議院憲法調査会委員吉川春子さんに聞く (p.11-15)

397. 日本国憲法と女性の権利 / 藤野美都子 (p.16-19)

398. 21世紀へ輝く憲法第九条と平和主義 / 高橋和枝 (p.20-23)

399. 草の根の女たちのあゆみ(11)：東京下町、無産者託児所の保母たち / 折井美耶子 (p.35-37)

400. 2000年世界女性行進へ：家族に殺される女性たち：女性の権利意識の高まりとたたかい(パキスタン) / ビーナ・サルワル；平野恵美子訳 (p.41-43)

月刊女性&運動 [214] (2000.06)

401. 資料：どうかわる私の年金 (p.10-11)

402. 女性の政策決定過程への参画についての意見(2000年4月26日)：参議院共生社会に関する調査会公聴会：公述人 笠井貴美代 (p.44-47)

403. 草の根の女たちのあゆみ(12)：秋田の和崎ハル：婦選運動から国会議員へ / 折井美耶子 (p.50-52)

月刊婦人展望 [505] (1999.06)

特集：第14回統一地方選挙特集 5

404. 女性候補の選挙結果：後半戦を中心に：解説・第14回統一地方選と女性 (p.5-7)

405. 総括座談会：女性議員進出の背景と今後 / 五十嵐暁郎 [ほか] (p.8-13)

406. 地方議会女性議員3000人台へ (p.14)

407. IPUピントット・レポート4：「女性の政治進出には何が有効か1975～98」から (p.15)

月刊婦人展望 [506] (1999.07)

408. もう一つの拠点づくり “ジェンダーステーション” (p.1)

409. 2000年に向けて 国連に政府レポート提出、NGOの動きも活発化：「北京行動綱領実施状況に関する質問状」への回答：NGOレポート準備状況：中村道子さんに聞く (p.10-15)

410. 低用量ピル承認とこれからの課題 / 芦野由利子 (p.16-17)

月刊婦人展望 [507] (1999.08)

411. 提訴から18年：富士見産婦人科事件に地裁判決 / 津和慶子 (p.5)

412. インタビュー：ウズベキスタン大使 中山恭子さん (p.6-7)

413. 新人参院議員座談会：第145通常国会終盤を語る / 佐々木知子[ほか] (p.8-13)

414. 国連人口開発特別総会に参加して / 房野桂 (p.14-15)

415. 女性の政治参画に関するフランスの憲法改正 / 梶本玲子 (p.16-17)

月刊婦人展望 [508] (1999.09)

416. 座談会：NGOレポートをまとめて：2000年に向けて NGOは今 / 橋本ヒロ子[ほか] (p.4-10)

417. 対談：東京都男女平等参画基本条例制定を提言：特色と課題 / 樋口恵子, 山口みつ子 (p.11-13)

418. 男女共同参画社会に向けて(1)：地域最大の市民組織生協の行動課題 / 立川百恵 (p.15-16)

419. 活動の拠点：女性会館の現状とこれから(33)：千葉県女性センター / 高司実 (p.17)

現代思想 [27-5] (1999.05)

特集：市民とは誰か

420. ボランティア動員型市民社会論の陥穽 / 中野敏男 (p.72-93)

421. <参加>への封じ込め：ネオリベラリズムと主体化する権力 / 渋谷望 (p.94-105)

422. 構成的ホームレス：三つのノート / 平井玄 (p.180-188)

423. ナショナリズムをどうするか?：エチエンヌ・バリバールのアイデンティティ / 暴力論 / 萱野三平 (p.234-253)

現代思想 [27-7] (1999.06)

424. ビル幻想：飲むのか、それとも飲まされるのか / 豊田正弘 (p.24-45)

425. 「従軍慰安婦」問題における暴力のエコノミー / 早尾貴紀 (p.72-106)

426. 大学改革：メディア研究、パブリックな知をめぐる覚え書き / 吉見俊哉 (p.222-229)

現代思想 [27-9] (1999.08)

427. 甦るギリシャ：伝承・神話・空想社会における奴隷制度と《女たちによる支配》 / Pierre Vidal-Naquet；金澤良樹訳 (p.228-246)

現代思想 [27-10] (1999.09)

特集：感覚の論理

428. どこにいても安全ではない：トッド・ヘイズによる健康とリスクの視覚文化 / Roddey Reid；河村一郎訳 (p.161-177)

現代思想 [28-1] (2000.01)

429. 確率化する社会：人々を作り上げる / Ian Hacking；隠岐さや香訳 (p.114-129)

430. 確率化する社会：エイズにおけるリスクの構築：ゲイ男性のアイデンティティと性行為 / 風間孝 (p.210-221)

現代思想 [28-2] (2000.02)

特集：ジェンダー

431. セクシュアル・ハラスメントの権力作用 / 江原由美子, 栗原彬 (p.40-54)

432. キャンパス・セクシュアル・ハラスメント：その問題化の背景 / 上野千鶴子 (p.56-70)
433. 日本企業におけるセクシュアル・ハラスメント問題：女性のセクシュアル・ハラスメント対応を中心に / Jessica Ram (p.71-83)
434. ボルノグラフィは、理論 / Frances Ferguson ; 石井香江, 小ヶ谷千穂訳 (p.84-107)
435. なぜ法なのか? / Drucilla Corneli ; 長尾洋子訳 (p.108-117)
436. 女たちによる交通：性の「政治経済学」についてのノート / Gayle Rubin ; 長原豊訳 (p.118-159)
437. 暴力・ことば・世界について / 岡野八代 (p.160-175)
438. (無)意味と暴力 / 浅野千恵 (p.176-185)
439. アンティゴネにおける転位とミメシス / 後藤浩子 (p.186-202)
440. 政治と文学、あるいは表象の不・可能性 / 佐藤泉 (p.203-215)
441. わたしは作文を引き裂いた：『ヴィレット』と語る女性の私的領域 / 村山敏勝 (p.216-225)
442. 科学を「書く」女：エミリー・デュ・シャトレと『物理学教程』の誕生 / 川嶋慶子 (p.226-241)
443. 専業主婦という表象：「わたしであること」への呼びかけとしての / 鈴木由加里 (p.242-253)

現代思想 [28-3] (2000.02)

特集：現代思想のキーワード

444. 公共圏：歴史修正主義 / 大越愛子 (p.22-25)
445. カルチュラル・スタディーズ：ポジショナリティ / 岡真理 (p.48-51)
446. フェミニズム / 江原由美子 (p.98-103)
447. フェミニズム：レスビアン/ゲイ・スタディーズ / 河口和也 (p.104-107)
448. フェミニズム：本質主義 / 長原豊 (p.108-111)
449. フェミニズム：構成主義 / 千田有紀 (p.112-115)
450. フェミニズム：ミソジニー / クレア・マリイ (p.116-119)
451. フェミニズム：戦時性暴力 / 鈴木裕子 (p.120-123)
452. フェミニズム：自己決定 / 飯田祐子 (p.124-127)
453. フェミニズム：労働 / 中野麻美 (p.128-131)
454. 科学論/生命論：フェミニズム科学論 / 高橋さきの (p.188-191)
455. 科学論/生命論：優生学 / 松原洋子 (p.196-199)

現代思想 [28-4] (2000.03)

456. キャンパス・セクシュアル・ハラスメントその後 / 上野千鶴子 (p.52-53)

特集：介護：福祉国家のゆくえ

457. 魂の労働：介護の可視化 / 労働の不可視化 / 渋谷望 (p.80-89)
458. 「マイノリティ」の闘争と欲望の政治 / Maurizio Lazzarato ; 稲葉奈々子訳 (p.104-112)
459. ケアの社会化をめぐる / 市野川安孝 (p.114-125)
460. 高齢化事業体再考 / Carrol L. Estes ; 入江公康訳 (p.126-139)
461. 日本型福祉体制の特質と変容 / 新川敏光 (p.140-154)

462. 遠離・遭遇：介助について(1) / 立石真也 (p.155-179)
463. 福祉国家と女性：イオカステは何処に? / Alisa Del Re ; 松本麻里訳 (p.180-189)
464. 介護保険と家族介護の社会的評価 / 本沢巳代子 (p.209-213)

現代思想 [28-5] (2000.04)

465. 介護：遠離・遭遇：介助について(2) / 立岩真也 (p.28-38)

特集：心理学への招待

466. 生、そして夢：多元決定されたもの：「生命科学の哲学」に対するフロイトの先駆的功績 / Elmar Holenstein ; 村井則夫訳 (p.190-201)

現代思想 [28-6] (2000.05)

特集：スペクタクル社会

467. 「ひきこもり」は、犯罪か? / 丸川哲史, ジョニー渡辺 (p.160-167)
468. 無関心と無視のなかで、しかもなお人間関係に苦しんでいるというわけだ / 矢部史郎, 山の手緑 (p.168-173)

469. 介護：遠離・遭遇：介助について(3) / 立岩真也 (p.231-243)

現代思想 [28-7] (2000.06)

470. 介護：遠離・遭遇：介助について(4) / 立岩真也 (p.252-277)

現代性教育研究月報 [17-5] (1999.05)

471. 自作教材による実践：障害児と性教育：盲及び知的障害をふまえて / 南正子 (p.1-7)
472. 伏見憲明が聞く/現代「性の倫理学」5：まず「色」ありき：「恋愛」が人間を不自由にした / 佐伯順子, 伏見憲明 (p.8-12)
473. 性教育の授業法 10：“性教育開き”の授業 / 疋田哲也 (p.14-15)

現代性教育月報 [17-6] (1999.06)

474. ティームティーチングを取り入れたAIDS教育の試み / 阿部真理子 (p.1-7)
475. 伏見憲明が聞く/現代「性の倫理学」6：バイオエシックスの視点から 男か女か…性別「保留」制度の推進を / 星野一正, 伏見憲明 (p.8-11)
476. 性教育の授業法 11 [「性自認のための調べ学習」：Identification Program / 疋田哲也 (p.14-15)

現代性教育月報 [17-7] (1999.07)

477. ビル認可後の思春期の子どもたちの性的自己決定 / 早乙女智子 (p.1-4)
478. 伏見憲明が聞く/現代「性の倫理学」7：無出産社会の到来で、性別は解体する / 橋爪大三郎, 伏見憲明 (p.6-11)
479. 性教育の授業法 12：つきあう前の自己分析：Self-Presentation Program / 疋田哲也 (p.12-14)

現代性教育研究月報 [17-8] (1999.08)

480. 第36回日本=性研究会議報告：JASE学術研究補助金対象研究の成果発表 / 野坂祐子[ほか] (p.1-5)
481. 伏見憲明が聞く / 現代「性の倫理学」8：まじなセックスを知っていれば“援交”なんてやてられない! / 上野千鶴子, 伏見憲明 (p.6-11)
482. 文部省指導資料「性教育の考え方・進め方」の活用 / 石川哲也 (p.12-14)

現代性教育研究月報 [17-9] (1999.09)

483. 全性連・第29回全国性教育研究大会報告：特別講演(概要)：思考の崩壊：規範と逸脱 / 千石保 (p.4-7)
484. 伏見憲明が聞く：現代「性の倫理学」9：家族制度は人を孤独から守る：結婚を前提にしないセックスはしようと思わない / 小谷野敦, 伏見憲明 (p.14-19)

現代性教育研究月報 [17-10] (1999.10)

485. 第14回世界性科学会議報告：性の権利(セクシュアル・ライツ)宣言の採択 / 東優子 (p.1-6)
486. 家庭科教師の性教育実践(1)：化学教師からの方向転換：40歳を過ぎて家庭科教師に感ったわけ / 福田祥子 (p.8-11)
487. 伏見憲明が聞く：現代「性の倫理学」10：真つ当な関係という思い込み：法律婚は虚構と拘束の上に立つ / 角田由紀子, 伏見憲明 (p.12-17)

現代性教育研究月報 [18-1] (2000.01)

488. 実践報告 自分も人も大切に子：いのちとこころの学習を通して / 船山徹 (p.1-5)
489. シンポジウム報告1：第37回 日本=性研究会議：こども以上おとな未満：青少年の性をめぐって / 渋谷知美[ほか] (p.6-10)
490. シンポジウム報告2：性的虐待を考える：[子どもと家庭の心と健康] 調査より / 島崎継雄 (p.11-12)

現代性教育研究月報 [18-2] (2000.02)

491. データから見た若者の性行動：性の健康を守る「保健行動」の“起こしにくさ” / 徐淑子 (p.1-7)
492. 家庭科教師の性教育実践 5：家族について / 福田祥子 (p.12-14)

現代性教育研究月報 [18-3] (2000.03)

493. 10代の性をめぐる世界の動向 / 日本性教育協会(p.1-5)
494. 家庭科教師の性教育実践 6：自立について / 福田祥子 (p.12-14)

現代性教育研究月報 [18-4] (2000.04)

495. 実践報告：教え子に学ぶ性教育：生命誕生 / 辻野朋子 (p.1-5)
496. インタビュー：インターセックスの治療指針をめぐって / 田苗綾子 (p.6-10)
497. 家庭科教師の性教育実践(7)：福祉：障害のある人や高齢者について：初めての調理実習? 目隠し体験 / 福田祥子 (p.12-13)

現代性教育研究月報 [18-5] (2000.05)

498. 「生まれること」「生きること」「死ぬこと」について：「葉っぱのフレディ」から学ぶもの / 岡本高一

(p.1-5)

499. 思春期と性感染症：STDは若い世代に広まっている / 石川英二 (p.6-9)
500. 岡山秀：出前性教育講座の試み(1)こうして始まった：市場尚文 (p.10)
501. 家庭科教師の性教育実践 (8)：人はなぜ衣服を着るのだろう / 福田祥子 (p.12-13)

現代性教育研究月報 [18-6] (2000.06)

502. 座談会：21世紀のセクシュアリティを考える<第1回> / 赤川学[ほか] (p.1-7)
503. ニューヨークで学ぶ性教育指導者養成プログラム / 鍛冶良実 (p.8-12)
504. 家庭科教師の性教育実践 (9)：ゲームを入れて...関係性を作る / 福田祥子 (p.14-15)
505. 岡山秀：出前性教育講座の試み(2)：何を伝えるか：性に向き合う力をつける / 市場尚文 (p.16)

現代のエスプリ [382] (1999.05)

- 特集：フォーカシング
506. 新しい発展の時代を迎えたフォーカシング / 村山正治 (p.5-10)
507. フォーカシングの基礎理論：フォーカシングの訓練 / 近田輝行 (p.61-68)

現代のエスプリ [383] (1999.06)

- 特集：ファミリー・バイオレンス：家庭内の虐待と暴力
508. 概説：ファミリー・バイオレンス：家庭内の虐待と暴力 / 岡堂哲雄 (p.5-16)
509. 夫婦間暴力への社会的視点 / 関井友子 (p.17-26)
510. 家庭心理学からみた夫婦間暴力 / 岡堂哲雄 (p.27-40)
511. 夫婦間暴力の深層心理 / 滝口俊子 (p.41-51)
512. ドメスティック・バイオレンスについての最近の状況 / 服部範子 (p.51-63)
513. 被害者への対応・社会的支援の現状と課題 / 原田恵理子 (p.64-76)
514. シェルター・サポートの現場から / 近藤恵子 (p.77-90)
515. 加害者対策の可能性 / 豊田正義 (p.91-100)
516. 子どもの虐待と心理学的観点 / 西澤哲 (p.101-113)
517. 児童相談所における児童虐待への対応 / 甲能迪 (p.114-126)
518. 幼児虐待の実態と支援ネットワーク / 三橋順子 (p.127-138)
519. 性的虐待の実態と被害者支援の現状 / 須藤八千代 (p.139-150)
520. 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA)の活動 / 石川洋明 (p.151-162)
521. 老人虐待の実状と支援の視点 / 杉井潤子 (p.163-173)
522. 高齢者虐待を防止するために / 杉岡直人 (p.174-185)
523. 呆け老人を抱える家族への支援 / 安田美弥子 (p.186-195)

現代のエスプリ [384] (1999.07)

- 特集：偏見とステレオタイプの心理学
524. ステレオタイプ, 偏見, 差別の心理学 / 岡隆 (p.5-14)

525. カテゴリー化とステレオタイプ・偏見 / 久保田健市 (p.15-23)
526. 幻相関とステレオタイプ / 杉森伸吉 (p.24-36)
527. 帰属とステレオタイプ: カテゴリー帰属と集団対応バイアス / 横井俊, 岡隆 (p.37-43)
528. 外集団均質化効果とステレオタイプ / 唐沢穰 (p.44-52)
529. ステレオタイプの形成と変化の認知過程 / 佐久間勲, 岡隆 (p.53-63)
530. ステレオタイプの判断の自動的過程と統制された過程 / 森津太子 (p.64-72)
531. ステレオタイプ・偏見の抑制によるリバウンド効果 / 大江朋子, 岡隆 (p.73-79)
532. ステレオタイプの伝播と言語 / 田鍋佳子, 岡隆 (p.80-86)
533. 日本人の人種・民族ステレオタイプと偏見 / 中村真 (p.87-98)
534. 性ステレオタイプ: 社会心理学的基礎課程とその機能様態 / 潮村公弘 (p.99-108)
535. エイジズム: 高齢者へのステレオタイプ / 奥山正司 (p.109-118)
536. 地位・職業ステレオタイプ / 山本真理子 (p.119-129)
537. 学歴ステレオタイプ / 池上知子 (p.130-142)
538. 外見ステレオタイプ / 笹山郁生 (p.143-151)
539. ステレオタイプとしての血液型性格判断 / 佐藤達哉 (p.152-161)
540. 集団間葛藤を引き起こす心理諸過程に関する一考察: 社会的アイデンティティと集団間葛藤 / 柿本敏克 (p.172-184)
541. いじめのしろうと理論 インタビュー・データの内容分析 / 大野俊和, 永田素彦 (p.185-194)
542. 偏見・ステレオタイプの解消のメカニズム / 上瀬由美子 (p.195-204)
543. 対人接触による障害者に対する偏見解消 / 山内隆久 (p.205-215)

現代のエスプリ [385] (1999.08)

特集: グループ・アプローチ

544. 企業におけるグループ・アプローチ / 新田泰生 (p.108-116)
545. 不登校児の親のためのグループ・アプローチ / 小野修 (p.117-125)
546. 不妊に悩む女性のためのグループ・アプローチ / 伊藤弥生 (p.126-135)
547. アダルト・チルドレンの集団精神療法 / 藤井憲 (p.136-143)
548. 性的虐待を受けた人たちのためのセルフ・ヘルプ・グループ / 高松里 (p.144-151)
549. エンカウンター・グループの現代的意義 / 小柳晴生 (p.187-195)
550. 平和とグループ・アプローチ: 心の平和と世界の平和をつなぐもの / 巖岩秀章 (p.196-204)

現代のエスプリ [386] (1999.09)

特集: コラージュ療法

551. コラージュ療法の実践と芸術性: コラージュ療法の実際 / 森谷真之 (p.29-32)

現代のエスプリ [390] (2000.01)

特集: 心の病の治療と描画法

552. 描画法を用いた事例-統合型HTP: 児童精神科の事例 / 小林真理子, 村山典子 (p.69-80)
553. 描画法を用いた事例-統合型HTP: 非行少年の理解と援助の手がかり / 平川義親 (p.81-90)
554. 描画法を用いた事例-統合型HTP: 夫婦関係の事例: 問題解決に役立てられている描画テスト / 桑原尚佐, 森永利英 (p.91-102)
555. 描画法を用いた事例-統合型HTP: 精神科領域の事例 / 菊池道子 (p.103-112)

現代のエスプリ [391] (2000.02)

特集: 日記コミュニケーション

556. 日記とは: 自己メディアとしての日記: 近代日記の成立 / 小林多寿子 (p.73-83)
557. 日記の心理: 青年の心理: 日記 / 依田新 (p.98-113)
558. 日記の心理: 青年の日記行動: 『青年の心理・日記』の解題 / 依田明 (p.114-115)
559. 日記の心理: 発達過程からみた日記 / 無藤隆 (p.116-128)
560. 日記の心理: 自己との対話: 日記における自己フォーカスの効果 / 押見輝男 (p.129-141)
561. 日記の心理: 心理治療と日記 / 永井徹 (p.142-152)
562. 日記と自己表現: 日記リテラシー / 杉本卓 (p.153-165)
563. 日記と自己表現: WEB日記は、日記であって日記でない / 山下清美 (p.166-180)
564. 日記と自己表現: サイバースペースと日記コミュニティ / 黒岩雅彦 (p.181-195)

現代のエスプリ [392] (2000.03)

特集: 認知行動アプローチ: 臨床心理学のニューウェーブ

565. 摂食障害の臨床における認知行動アプローチ / 前田基成 (p.201-210)
566. 小児自閉症: 自閉症と心の理論 / 大六一志 (p.211-221)

現代のエスプリ [393] (2000.04)

特集: 臨床社会学の展開

567. 家族問題への社会的カウンセリングという方法 / 畠中宗一 (p.119-126)
568. メンタル・ヘルスと家族臨床 / 木村汎 (p.136-145)
569. 今日の学校臨床の展望: 不可欠な社会的視点 / 尾木直樹 (p.157-165)
570. 福祉: 「老いる」ことをみつめて / 松尾隆義 (p.166-177)

現代のエスプリ [394] (2000.05)

特集: 生と死から学ぶいのちの教育

571. 高校における取り組み: 卵を用いた子育てシミュレーション: いのちと暮らしを守る家庭科での取り組み / 山口由美子 (p.127-136)

現代のエスプリ [395] (2000.06)

特集: スーパービジョン・コンサルテーション実践のすすめ

572. スーパービジョンとは：人とかかわる職業の基本 / 深澤道子 (p.5-16)
573. 「児童相談」におけるスーパービジョン / 甘楽昌子 (p.93-102)
574. 「子育て支援」のスーパービジョン / 三沢直子 (p.103-111)
575. 犯罪被害者支援におけるスーパービジョン / 三木善彦 (p.139-149)
576. ボランティア活動に関するスーパービジョン / 山崎美貴子 (p.170-178)
577. 「思春期」と思春期の問題にかかわる人のために / 江幡玲子 (p.188-200)
-
- 現代のエスプリ別冊．現代のストレスシリーズ 2．ストレスの臨床(1999.05.10)
578. ストレスと健康の臨床：養育育児とストレス / 村山隆志 (p.79-88)
579. ストレスと健康の臨床：女性の健康保持とストレス：とくに神経内分泌学の進歩をふまえて / 玉田太郎 (p.109-121)
580. ストレス関連性健康障害の臨床(総論)：ストレス診断・評価：臨床編 / 夏目誠 (p.132-143)
581. ストレス関連性健康障害の臨床(総論)：家族ストレスの臨床 / 北村夏実, 東豊 (p.176-184)
582. ストレス関連性健康障害の臨床(総論)：学校ストレスの臨床 / 山口剛 (p.185-197)
583. 代表的ストレス関連性疾患の臨床(各論)：摂食障害の臨床 / 山岡昌之 (p.237-245)
-
- 現代のエスプリ別冊．現代のストレスシリーズ 3．現代のストレスの課題と対応(1999.06.10)
584. 心療内科臨床の窓からみる現代社会のストレス / 鷺山健一郎, 野添新一 (p.60-68)
585. 科学技術革新ストレス / 福西勇夫 (p.102-112)
586. 性とストレス / 金子和子 (p.113-122)
587. 養育とストレス / 近喰ふじ子 (p.123-134)
588. 家族生活とストレス / 長谷川浩 (p.135-144)
589. 情報とストレス / 河野友信 (p.167-174)
590. いじめストレスの構造と克服へのシナリオ / 宗像恒次 (p.175-186)
591. 受験・勉強とストレス / 山口剛 (p.186-199)
592. 少子・高齢社会とストレス / 横倉聡 (p.200-210)
593. 現代人のストレスと不安・うつ / 久保木富房 (p.238-248)
594. ストレス社会と「生命倫理」 / 赤林朗, 深津宜子 (p.249-260)
-
- 現代のエスプリ別冊．現代のストレスシリーズ 4．ストレス研究と臨床の軌跡と展望(1999.07.10)
595. ストレス研究の古典解説：ホームズとレイ(T.H. Holmes & R.H. Rahe) / 夏目誠 (p.91-99)
-
- 現代のエスプリ別冊．臨床心理士によるスクールカウンセラー実際と展望(2000.04.20)
596. 臨床心理士によるスクールカウンセラーの展開 / 村山正治 (p.9-22)
597. 臨床心理士のために：臨床心理士とスクールカウンセラー：その養成と現状 / 大塚義孝 (p.60-70)
598. 教育の再生：スクールカウンセリング活動の可能性の模索 / 藤岡孝志 (p.80-88)
599. 学校におけるスクールカウンセラーの実際：市町村教育委員会のネットワークアプローチ / 塚越克也 (p.133-140)
600. 学校におけるスクールカウンセラーの実際：保護者との関わり(小学校) / 石川順子 (p.141-148)
601. 学校におけるスクールカウンセラーの実際：ピア・サポート活動(中学校) / 森川澄男 (p.149-161)
602. 学校におけるスクールカウンセラーの実際：スクールカウンセラーの不登校児への取り組み / 山下一夫 (p.170-173)
603. 学校におけるスクールカウンセラーの実際：教育委員会に籍をおくスクールカウンセラー / 阿部順子 (p.176-183)
604. スクールカウンセラーと多様なアプローチ：家族療法とスクールカウンセラー / 亀口憲治 (p.269-277)
605. スクールカウンセラーと多様なアプローチ：スクールカウンセラーとPTSD：カウンセラーの「きづき」としてのPTSD / 久留一郎 (p.285-297)
606. 各県のコーディネーター活動の実際：専門性を発揮できるために：沖縄県臨床心理士会 / 金城孝次 (p.314-318)
607. 各県のコーディネーター活動の実際：長崎方式からの出発：長崎県臨床心理士会 / 前田和明 (p.319-325)
608. 各県のコーディネーター活動の実際：スクールカウンセラー活用事業の新しい展開をめざして：佐賀県臨床心理士会 / 古賀靖之 (p.326-331)
609. 各県のコーディネーター活動の実際：より適切な学校支援のあり方を求めて：岡山県臨床心理士会 / 平松清志 (p.332-327)
610. 各県のコーディネーター活動の実際：生徒の心をつなぐ：滋賀県臨床心理士会 / 林昭仁 (p.338-342)
611. 各県のコーディネーター活動の実際：県の事業にも関わりながら：新潟県臨床心理士会 / 藤田悠紀子 (p.343-349)
612. 各県のコーディネーター活動の実際：地域別継続研修会とスーパーバイザー制度の確立：千葉県臨床心理士会 / 田中純夫 (p.350-355)
613. 各県のコーディネーター活動の実際：定着を目指して：埼玉県臨床心理士会 / 星野公夫 (p.356-361)
614. 各県のコーディネーター活動の実際：北国のスクールカウンセリング活動：青森県臨床心理士会 / 安田勉 (p.362-367)
615. スクールカウンセラー活動の評価：カウンセラー事業評価の必要性 / 山本和郎 (p.368-373)
616. スクールカウンセラー活動の評価：リサーチから見えてきたもの / 伊藤美奈子 (p.374-384)
-
- 現代のエスプリ別冊．生活文化シリーズ 1．消費としてのライフスタイル(2000.05.10)
617. 顕示的消費の理論と現代 / 高哲男 (p.53-61)
618. 主婦は消費者から生活創造者になることができるか / 長原紀子 (p.95-104)
619. 生産的消費とは何か / 安部雍子 (p.105-117)

620. 新しい消費のかたち / 油谷遵 (p.156-166)
 621. 「若さ」を消費する：「団塊世代」論・序説 / 稲増龍夫 (p.211-220)
 622. キャラクターを消費する / 藤竹暁 (p.228-237)
 623. 消費される熱中と忘却：子ども向けメディアをめぐる記憶 / 石田佐恵子 (p.238-246)
 624. 消費される有名人：<妄想>族の動向から / 島村麻里 (p.247-257)

現代のエスプリ別冊・生活文化シリーズ 2. 流行 / ファッション(2000.06.10)

- < 流行を作る >
 625. ファッションと流行 / 柳洋子 (p.97-106)
 < 流行を担う人たち >
 626. 若者と流行：運命づけられた交替の交錯 / 藤村正之 (p.107-117)
 627. おやじと流行 / 竹内政明 (p.118-125)
 628. 主婦と流行：祥日の自己組織化を生む敏感な生活者感覚の作用 / 平林千春 (p.126-136)
 629. コギャルと流行 / 荷宮和子 (p.137-146)
 < 流行と生活の諸相 >
 630. 子ども文化に見られる流行 / 畠山兆子 (p.210-223)
 631. 性風俗に赴くこころの来歴 / 大月隆寛 (p.224-231)

現代のエスプリ別冊・ヒューマン・ケア心理学シリーズ・患者の心理(2000.05.10)

632. 病気の子どもの心理と行動 / 菅佐和子 (p.143-152)
 633. 難病の子どものもつ家族の心理 / 白崎けい子 (p.153-165)
 634. 臨死の子どもと家族ケア / 小笠原昭彦 (p.166-177)

現代のエスプリ別冊・ヒューマン・ケア心理学シリーズ・病気と痛みの心理(2000.06.10)

- < 痛みの心理とヒューマン・ケア >
 635. 肥満という痛み / 今田純雄 (p.126-134)
 636. 性障害と夫婦の痛み / 大川玲子 (p.146-157)

子ども家庭福祉情報 [15] (1999.12)

- 特集：子どもと“居場所”
 637. 子ども部屋とコミュニケーション / 高山英男(p.17-20)
 638. 被虐待児童の処遇及び対応に関する総合的研究：初年度の報告 / 庄司順一 (p.64-65)
 639. 児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律(平成11年11月1日施行) / 前橋信和 (p.70-72)
 640. わが国初、子どもの性的虐待全国調査発表 / 島崎継雄 (p.73-76)
 641. 「保育所保育指針」の改訂(平成12年4月施行) / 西村重稀 (p.77-80)
 642. 虐待を受けた子ども達への心理的援助が充実：児童養護施設などにセラピストの配置 / 森望 (p.85-88)
 643. 少子化対策推進基本方針(平成11年12月17日)：少子化対策推進関係閣僚会議 (p.91-103)
 644. 重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について(平成11年12月19日)：大蔵・文部・厚生・労働・

建設・自治6大臣合意 (p.104-109)

645. 平成12年度児童福祉関係予算(案)の概要 / 厚生省児童家庭局 (p.110-114)

こども未来 [332] (1999.05)

646. 「こども未来賞」に浜田さん(茨城県)：入賞の七作品決まる / 木村治美, 浜田和代, 中本美江 (p.6-11)

こども未来 [333] (1999.06)

- 特集：男女の役割分業を見直す
 647. 男らしさ・女らしさの意識の形成：ジェンダーは、まだ自分の性別を知らない乳児の時期から両親によって教え込まれる / 小倉千加子 (p.6-8)
 648. 女性社員をめぐる日本の企業環境：環境整備は進んだが、男女の固定的な役割分業意識は根強く残っている / 小笠原祐子 (p.9-11)
 649. インタビュー：役割分業の意識改善：職場編：女性が働き続けるためには、企業の意識変革と多様性のあるシステムが必要 / 藪野祐三 (p.12-13)
 650. インタビュー：役割分業の意識改善：家庭編：日本の家庭は役割意識で縛られ過ぎているのではないか / 瀬春樹 (p.14-15)

651. エンゼルプラン西東(山形県)：より実地的な施策を目指し、全県的なテーマに位置づけ (p.24-25)

652. 地方からの報告(佐賀県)：育児サポーター普及推進事業：子育て支援社会の「世話役」を養成 (p.26-27)

こども未来 [334] (1999.07)

653. エンゼルプラン西東(香川県高松市)：「子どもの幸せ」を施策づくりの原点に国の補助受けず独自性うち出す (p.24-25)
 654. 地方からの報告(福岡県久留米市)：聖マリア病院母子総合医療センター育児療養科：病院内の診療科を核に広がる地域の子育て支援 (p.26-27)
 655. 入所児童の六割近くが三歳児未満：「事業所内保育施設現況調査」結果より (p.28)

こども未来 [335] (1999.08)

- 特集：地域の「子育て力」をどう高めるか
 656. 子育て支援ネットワークの役割と課題：個々の子育て支援活動をより充実させるにはネットワークの多面的な展開が望まれる / 松原康雄 (p.6-9)
 657. 児童館と地域が一体となり、世代を越えた新たな交流を目指す：東京都足立区千住児童館老人館 (p.12-13)
 658. 兵庫県が導入した新たな子育て支援策はインターネットを使った子育て情報の提供：兵庫県中央子どもセンター / 田中隆志 (p.14-15)
 659. ホッ!とインタビュー：フリーアナウンサー 永麻里さん / 山谷えり子 (p.31-33)

こども未来 [336] (1999.09)

- 特集：非婚・晩婚化くずしの妙手を探る
 660. 対談：現代の日本の親子関係と結婚促進へのシナリオを語る / 宮本みち子, 山田昌弘, 岩淵勝好 (p.6-11)
 661. 男たちの意識改革が非婚に歯止めをかける / 門脇厚司

(p.12-13)

662. 男女の非婚・晩婚化は企業風土が原因か：少子化対策は保育所の拡充と柔軟な雇用管理で / 福岡道生 (p.14-15)

こども未来 [337] (1999.10)

特集：子育ての楽しさを伝える

663. 子どもをもつことを躊躇する既婚・未婚の男女の意識：経済的負担の重さと価値観の多様化が要因 / 新谷由里子 (p.6-9)
664. 子育てを苦痛と感じる意識はどこからくるか：受け身にならない、させない環境で、楽しい子育てを / ミュリエル・ジョリヴェ (p.10-11)
665. 楽しい子育てインタビュー / 太田裕美、鈴木まもる、片山いく子 (p.12-14)

666. 地方からの報告(岐阜市)：元気子育てサロン事業：就学前の児童と保護者を対象に市内全保育所を“子育てサロン”化 (p.26-27)
667. 全国母親クラブ連絡協議会が初の「メディア・チェック」報告書：有害メディアの8割はテレビ結果公表で提供者の自主規制促す (p.28-29)
668. ホッ!とインタビュー：4人の男の子の子育てでできたえられ、明るく開放的な性格になりました / 塩森恵子、山谷えり子 (p.31-33)

こども未来 [340] (2000.01)

669. エンゼルプラン東西(兵庫県姫路市)：計画期間を前・後の2期に：後期には相談用無料テレカ配布というユニークな事業も (p.24-25)
670. 地方からの報告(秋田県)：漫画で啓発する子育て支援の取り組み：5人家族の絆を描く『いちたすいちち5』 (p.26-27)
671. ホッ!とインタビュー：アナウンサー笠井信輔さん / 笠井信輔、山谷えり子 (p.31-33)

こども未来 [341] (2000.02)

特集：育児不安とその対応

672. 育児不安の要因と解消のための方策：子育てする女性の心と体を支えるために / 佐藤紀子 (p.7-9)
673. こども未来財団助成先における取り組み：1 身近で、気軽に、敷居の低い電話相談を目指す(札幌市・児童養護施設羊ヶ丘養護園)：2 子育て支援の拠点として、地域に「情報」と「場」を提供(東京都立川市・児童養護施設至誠学園) (p.10-11)
674. 育児不安解消のためのサポート事例 1：区が養成した子育てアドバイザーが若い親子に言葉掛け / 大山光子 (p.12)
675. 育児不安解消のためのサポート事例 2：社協の特性を生かして母親同士の交流の場をつくる / 後藤静子 (p.13)
676. 育児不安解消のためのサポート事例 3：保育園の整った資源を地域全体のために役立てたい / 中野敬士 (p.14)
677. 育児不安解消のためのサポート事例 4：母子保健の専門家による年中無休の女性健康支援センター / 岡本喜

代子 (p.15)

678. エンゼルプラン東西(那覇市)：「子どもの街宣言」を発表し、市民、行政一体の運動を目指す (p.24-25)
679. 地方からの報告(福井県鯖江市)：「こども課」の設置で児童関連の業務を一括化 (p.26-27)

こども未来 [342] (2000.03)

680. 子どもの遊び学：子どもの基本的権利としての「遊育権」 / 門脇厚司 (p.23)
681. エンゼルプラン西東(高知県)：子どもに「文化」と「夢」を：少子化のなかで現実的な育成施策 (p.24-25)
682. 地方からの報告(東京都調布市)：乳幼児健康支援一時預かり事業：病気中や回復期の子どもを預かり、仕事をもつ保護者をサポート (p.26-27)

こども未来 [343] (2000.04)

683. 12年度厚生省児童家庭局予算と新エンゼルプランの概要 / 厚生省児童家庭局企画課 (p.11-15)
684. ストップ! 児童虐待：早期発見と予防のための課題と対応 / 前橋信和 (p.20-21)
685. 駅型保育施行助成事業：立地以外にも充実したサービスで親子をサポート(チャイルドタイム・エンゼルホーム(東京都八王子市)) (p.25)

こども未来 [344] (2000.05)

686. 「こども未来賞」入賞作決まる / 遠藤多佳子、柚原君子 (p.6-9)
687. ストップ! 児童虐待：早期発見と予防のための課題と対応 / 松井一郎 (p.20-21)
688. 地方からの報告(川崎市)：ふれあいサポート事業：子育て支援センターを拠点に住民同士が会員制で子育てを応援 (p.26-27)

こども未来 [345] (2000.06)

特集：男の育児休業：そのとき家族は?職場は?

689. 男性の育児休業取得を考える：男女が共に利用してこそ生きてくる育児支援策 / 武石恵美子 (p.7-8)
690. 男の育児休業事例1~7 / 久下格[ほか] (p.9-15)
691. ストップ! 児童虐待：早期発見と予防のための課題と対応 / 徳永雅子 (p.20-21)

思想 [904] (1999.10)

692. あなたを忘れない(上)：性の制度の「脱・再生産」 / 竹村和子 (p.109-133)

思想 [907] (2000.01)

特集：アイデンティティの政治学：身体・他者・公共圏

693. インタビュー：表象の政治：非決定の存在を救い出す / 栗原彬、市野川容孝 (p.5-17)
694. 障害・文化・アイデンティティ：感情管理社会の感情言説：作為的でも自然でもないもの / 石川准(p.41-61)
695. 隠蔽・忘却からのサバイバル：ブラジルのアパルトヘイト(上)：ストリート・チルドレンの都市空間での居場所を求める闘い / Nancy Schepers-Hughes, Daniel

- Hoffman; アンジェロ・イシ訳 (p.70-90)
696. 隠蔽・忘却からのサバイバル: 「痛み」と「暴力」の関係学試論: 性風俗産業をめぐる言説の権力分析 / 浅野千恵 (p.106-124)
697. 眼差しの政治: 足のディスコース: 纏足・天足・国恥 / 坂元ひろ子 (p.145-161)

思想 [908] (2000.02)

特集: 生命圏の政治学: 生命・身体・社会圏

698. 自己決定権と内発的義務: <生命圏の政治学>の手前で / 川本隆史 (p.15-33)
699. 社会的なものの概念と生命: 福祉国家と優生学 / 市野川容孝 (p.34-64)
700. 生殖のバイオポリティクス / 金森修 (p.154-180)
生殖技術と女性の身体のあいだ / 柘植あづみ (p.181-198)
701. ブラジルのアパルトヘイト(下): ストリート・チルドレンの都市空間での居場所を求める闘い / Nancy Scheper-Hughes, Daniel Hoffman; Angelo Ishi訳 (p.219-236)

思想 [909] (2000.03)

702. 転移と憑依: 歴史のヘテロロジーのために(6) / 上村忠男 (p.99-121)

思想 [910] (2000.04)

703. 「神は男性を助けるべき者を定めた」: ホップズ、家父長制そして婚姻の権利 / Carole Pateman; 中村敏子訳 (p.85-108)

児童心理 [53-7] (1999.05)

704. アドラー心理学に学ぶ: 自分を好きといえる子に育てる20の知恵 5: 失敗したときに、どう勇気づけるか / 星一郎 (p.119-125)

児童心理 [53-8] (1999.06)

特集: 引っ込み思案をなおす

705. 引っ込み思案が変わるとき: 発達段階でのメタモルフォーゼ / 塩崎尚美 (p.17-22)
706. 子どもを引っ込み思案にしない家庭: 積極的な子どもに育つ親子関係 / 市毛恵子 (p.81-85)
707. 子どもを引っ込み思案にしない家庭: 引っ込み思案のよさにも気づく親 / 荻原はるみ (p.86-90)
708. アドラー心理学に学ぶ: 自分を好きといえる子に育てる20の知恵 6: “やればできる”をどう育てるか / 星一郎 (p.119-125)

児童心理 [53-9] (1999.06.05)

6月号臨時増刊: 「いじめ」対策ハンドブック

709. 学級崩壊といじめに共通するメカニズム / 正高信男 (p.28-35)
710. 教師と保護者のいじめ対応体制づくり / 海野千細 (p.151-155)

児童心理 [53-10] (1999.07)

特集: がまんのできない子

711. 衝動をコントロールできない子どもたち: 「空虚な自己の時代」と「超のび太症候群」 / 影山任佐 (p.31-35)
712. がまんでできない子を生む背景を探る: 社会環境から: がまんしなくていい時代の子どもたち / 菊地栄治 (p.36-40)
713. がまんでできない子を生む背景を探る: 親子関係から / 菅原ますみ (p.41-46)
714. がまんでできる子を育てる幼児教育: 金崎芙美子 (p.97-101)
715. 子どもの成長を「待てる親・待てない親」 / 増井武士 (p.102-106)
716. 「ケイタイ」「ポケベル」と高校生の生活(上): コミュニケーション・メディアは自立の象徴? / 千葉勝吾 (p.113-118)
717. アドラー心理学に学ぶ 自分を好きといえる子に育てる20の知恵 7: 「よい子」を演じる子どもたち / 星一郎 (p.120-126)

児童心理 [53-11] (1999.08)

特集: 自信のない親

718. なぜ迷う, 親たち: 子育ての難しい時代 / 大日向雅美 (p.1-9)
719. 親が自信をなくすとき: その心理と行動 / 菅野泰蔵 (p.10-15)
720. ともに育つ親と子: 戸惑いと悩みのなかで / 繁多進 (p.17-22)
721. 自信のありすぎる親・なさすぎる親 / 村本邦子 (p.23-28)
722. 母親の子育てストレスと問題点: ワーキングマザー、高学歴の親、ひとり親にみる / 熟田恵美子 (p.29-34)
723. 父親を子育てにひきこむコツ / 広岡守穂 (p.40-44)
724. 子育てに自信がもてない親へのアドバイス: 子離れできない自分をどうするか: 家族心理学からの援助法 / 長谷川啓三 (p.51-55)
725. 子育てに自信がもてない親へのアドバイス: 社会から取り残されたと感じる / 杉山由美子 (p.56-61)
726. 子育てに自信がもてない親へのアドバイス: わが子を好きになれない / 丹羽洋子 (p.62-66)
727. 子育てに自信がもてない親へのアドバイス: 子育て情報に振り回されてしまう / 中村孝太郎 (p.67-71)

728. 「ケイタイ」「ポケベル」と高校生の生活(下): 消費社会に浮遊する高校生たち: アルバイト, お小遣いの実態 / 千葉勝吾 (p.113-119)
729. アドラー心理学に学ぶ 自分を好きといえる子に育てる20の知恵(7): 「自分好き」なお母さんになろう / 星一郎 (p.120-126)

児童心理 [53-12] (1999.08.05)

8月号臨時増刊: 叱るコツ ほめるコツ

730. 上手に叱るコツ: 基本と実践を学ぶ: 上手にほめるコツ: 基本と実際を学ぶ / 小林芳郎[ほか] (p.2-183)

児童心理 [53-13] (1999.09)

特集: 人の気持ちがわかる子

731. 子どもをわかったつもりの親・教師 / 玉瀬耕治 (p.17-22)
732. ポケモン世代の共感能力 / 富田英典 (p.37-42)
733. 思いやりのある子に育てる学校教育：「金子みすゞ」を読む：小学生の授業にどう生かすか / 藤本哲城 (p.75-79)
734. 思いやりのある子を育てる家庭：幼児期に育てたい思いやりの心 / 中川香子 (p.92-96)
735. 思いやりのある子に育てる家庭：夫婦関係がモデルになる：子どもは親の気持ちを見ている / 園田雅代 (p.97-102)
736. 母親は自立しているか：30代のライフコースを検証する(1)：30代母親のライフコースをたどる / 岩上真珠 (p.110-117)
737. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵(9)：挫折をとおして自分のよさがわかる / 星一郎 (p.118-124)

児童心理 [53-14] (1999.10)

特集：失敗にめげない子

738. 同じ失敗をくり返さないために：忘れ物から人間関係まで / 三宮真智子 (p.10-15)
739. 失敗を許せない親・教師 / 山田暁生 (p.23-29)
740. 落ち込んでいる子にどう対応するか：傷ついた心を癒す親、かき乱す親 / 野口桂子 (p.40-44)

741. 母親は自立しているか：30代のライフコースを検証する(2)：自立できない母親たち：「親依存型娘」の実態 / 岩上真珠 (p.112-119)

742. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵(10)：感情を上手にコントロールする / 星一郎, p.120-126)

児童心理 [53-15] (1999.10.05)

10月号臨時増刊：3歳から15歳までの子をもつ母親の悩みとあせり

743. 母親はなぜ悩み、あせるのか：現代の子育てと育児不安をめぐって / 東山弘子 (p.2-11)
744. 母親のあせりは子どもに何をもたらすか / 細井啓子 (p.12-19)
745. 子育てに求められる母親の役割：「待つ」ことの大切さ / 滝口俊子 (p.20-25)
746. 高学歴・少子時代の母親のアイデンティティ / 馬居政幸 (p.26-34)
747. あせる妻を支えられる夫 / 斎藤浩子 (p.35-42)
748. 母親の生き方が変わった：専業主婦だからできること：あせりからの脱出法 / 永久ひさ子 (p.43-49)
749. 母親の生き方が変わった：働く女性たちの子育て術：あせらないですむ子育て観 / 川喜田好恵 (p.50-56)
750. 母親の生き方が変わった：多様化する家族と女性 / 河野貴代美 (p.57-62)
751. 祖父母は孫の教育にどうかかわるか / 藤井チズ子 (p.164-171)

児童心理 [54-1] (2000.01)

特集：自立する親と子

752. 親と子の自立を考える / 福島章 (p.1-10)
753. 自立とは何か：身辺自立、経済的自立、精神的自立、そして「社会的自立」 / 深谷和子 (p.11-16)
754. 親子関係はどう「発達」するか：依存と自立の絡み合う様相 / 鯨岡峻 (p.17-22)
755. 母親の社会進出は子どもの自立を促すか / 橘由子 (p.23-27)
756. 強すぎる母：娘関係に生じる問題 / 八幡洋 (p.28-33)
757. 「共生時代」に求められる自立とは / 藤田秀典 (p.35-39)
758. 親の自立を考える：親に甘える「親」 / 山下景子 (p.40-44)
759. 親の自立を考える：夫婦のよい依存・わるい依存 / 瀬藤和寛 (p.45-49)
760. 親の自立を考える：放任と溺愛：子どもと適切な距離をとれない親 / 妙木浩之 (p.50-54)
761. 思春期をのりこえる：巣立ちのときの親子の作業 / 東牧子 (p.56-59)
762. 思春期をのりこえる：「プチ家出」現象と親子葛藤 / 占部慎一 (p.60-65)
763. 思春期をのりこえる：自立の病としての摂食障害：発達心理学の視点より / 向井隆代 (p.66-69)
764. カウンセラー・パパの子育て論 1：無理しないで! お父さん / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-2] (2000.02)

特集：キレイな子に育てる

765. 「キレイからだ」の遠近法 / 竹内敏晴 (p.1-10)
766. 「ムカツク」と「キレイ」のメカニズム / 齋藤孝 (p.11-17)
767. キレやすい子とキレイにくい子はどこが違う / 長谷川博一 (p.18-23)
768. 「ムカツク」社会と子どもたち / 越知康詞 (p.24-29)
769. 成長に必要なストレス・無用なストレス / 嶋田洋徳 (p.30-36)
770. キレル子どもの心の背景：聞こえなかったSOS / 前川あさ美 (p.38-42)
771. 子どもがムカツク、キレイ、親・教師の言動 / 椎名薫 (p.43-47)
772. 怒りをアサーティブに表現するには / 土沼雅子 (p.48-52)
773. 「ふつうの子がキレイ」は本当か / 亀澤信一 (p.53-58)
774. バランスのとれた子に育てる家庭：情緒の安定した子に育てる：幼児期・児童期・思春期 / 川合貞子 (p.87-91)
775. バランスのとれた子に育てる家庭：わが子がキレイなとき、どう対応するか：「父親による金属バット殺害事件」の教訓 / 原田正文 (p.92-96)
776. バランスのとれた子に育てる家庭：キレイな親にならないために / 宮本まき子 (p.97-101)
777. 特別寄稿：「体の働き」が「心の働き」を支える：「生きる力」を身につけるために / 生田香明 (p.102-107)

778. カウンセラー・パパの子育て論 2：病気の子とも1日デート / 諸富祥彦 (p.119-125)

児童心理 [54-3] (2000.02.05)

- 2月号臨時増刊：友だちをつくれな子 子 子 子
779. なぜ、友だちづくりが苦手になったのか / 榎本博明 (p.2-11)
780. ふれあう、響きあう友だち関係を育てる / 押谷由夫 (p.12-19)
781. 親子関係は友だちづくりの基礎 / 氏家達夫 (p.20-28)
782. 「友だちなんかいない」と言う子 / 馬殿禮子 (p.29-36)
783. 人間関係を必要としない子ども社会 / 住田正樹 (p.37-43)
784. 子どもが友だちとのかかわりにつまづいたとき / 杉浦京子 (p.44-50)
785. 発達段階別：友だち関係をつくれな子にどうかかわるか：幼稚園児にこう援助する / 木下さとみ (p.51-56)
786. 発達段階別：友だち関係をつくれな子にどうかかわるか：小学生にこう援助する：低・中・高学年別・かかわり方のポイント / 清水井一 (p.57-62)
787. ソーシャルスキルをどうやって見につけるか / 小林正幸 (p.63-68)
788. ピア・サポート：お互いの心の成長をめざして / 酒井徹 (p.69-74)
789. 対人関係ゲーム：教師と学級を育てるあそび / 大澤靖彦 (p.75-81)
790. アサーション・グループワーク：自分も相手も大切にすやりとり / 中釜洋子 (p.82-88)
791. 子どものモデルになれる親の人間関係づくり / 山崎雅保 (p.127-130)
792. 友だち関係のトラブルへの対応 / 沢宮容子 (p.131-134)
793. ボランティア活動：人間関係に基づく「学びの世界」 / 長沼豊 (p.135-140)
794. 異年齢交流の場から：ローカルホームステイを実施して / 小倉久吾 (p.141-146)
795. スポーツ社会での仲間づくりの可能性 / 山本清洋 (p.147-152)

児童心理 [54-4] (2000.03)

- 特集：生き生きした子・疲れている子
796. 子どもの疲れた心を探る / 犬塚峰子 (p.17-23)

797. カウンセラー・パパの子育て論 3：上手なほめ方・叱り方? / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-5] (2000.04)

- 特集：協力できる子に育てる
798. 協力する力を育てる：その理論と実践：上手に自己主張する / 藤川章 (p.36-40)
799. 家庭で育てる協力の心：親子・きょうだい間で協力を学ぶ / 小野けい子 (p.97-101)
800. 家庭で育てる協力の心：親子で守れるルールづくり / 片倉暎子 (p.102-106)
801. カウンセラー・パパの子育て論 4：盆と正月の帰省

は、人間関係能力向上のチャンス! / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-6] (2000.04.05)

- 4月号臨時増刊：「学級の荒れ」の予防と対策
802. 保護者・地域は何ができるか：クラスが荒れているときに親にできること：自分の子どもの成果をみつめて / 河崎睦 (p.134-139)
803. 保護者・地域は何ができるか：学校・家庭・地域社会で奏でる心の教育 / 広瀬仁郎 (p.140-145)

児童心理 [54-7] (2000.05)

- 特集：自分のことは自分でできる
804. 自分でできる力を育てる / 内田伸子 (p.1-9)
805. いつ、何を育てたいか：発達別しつけの目標 / 岩立京子 (p.23-28)
806. 自分で決められない子へのかかわり方 / 山本紀久子 (p.29-33)
807. 手をかけすぎる親の心理 / 高石浩一 (p.46-51)
808. すずんで動ける子を育てる家庭：自主性を育てるほめ方・叱り方 / 首藤敏元 (p.97-101)
809. すずんで動ける子を育てる家庭：自分のことが自分でできる父親・できない父親 / 後藤晶子 (p.102-106)

810. カウンセラー・パパの子育て論 5：可愛い娘には、旅をさせよ! / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-8] (2000.06)

- 特集：いま、思いやりを学ぶ
811. 思いやり能力の発達：親子関係、仲間とのあそび、友だち関係 / 堂野恵子 (p.29-34)
812. 思いやりの心を育てる親・教師：直接体験のできる環境づくり：手、足、体を使って人とかかわる / 谷田貝公昭 (p.36-40)
813. 思いやり行動を支援する技法：ロールプレイの活用 / 藤枝静暁 (p.53-58)
814. 親だからできる相手を思いやる心づくり：親がおこなうカウンセリング的な対応：毎日の暮らしの中で生かすカウンセリングのエスプリ / 巽葉子 (p.95-99)
815. 親だからできる相手を思いやる心づくり：親子でするボランティア活動 / 長沼豊 (p.100-104)
816. 子どもに「いのち」を教える(2)：自殺を防ぐために：危険を示すサインを読みとる / 高橋祥友 (p.113-119)

817. カウンセラー・パパの子育て論(6)：育児ストレスに悩むお母さんの話 / 諸富祥彦 (p.120-126)

児童心理 [54-9] (2000.06.05)

- 6月号臨時増刊：親子関係がもっとよくなる本
818. 「よい親子関係」とは：理想的な親子関係はあるのか / 亀口憲治 (p.2-11)
819. 子どもとの関係を変えていける親：誕生から思春期までの発達にそって / 桜井茂男 (p.12-19)
820. 親子関係はどう変わってきたか：70年代から90年代を中心に / 久田邦明 (p.20-27)

821. いま、求められる親の成熟 / 増山均 (p.28-36)
 822. 過保護・過干渉・過教育は「新たな児童虐待」か：ドメイン拡張と家族システム / 加藤隆雄 (p.128-135)

社会教育 [634] (1999.04)

特集：これからの生涯学習事業のヒント

823. 山形県ミズ・アカデミー10年を顧みて / 岡崎喜久 (p.22-24)

824. 『21世紀人口現象社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える第4回：これからのライフプラン・キャリアプランの考え方：21世紀に生きる人の人生観・職業観 / 河野真理子 (p.46-48)

社会教育 [635] (1999.05)

特集：完全学校週5日制と「子どもプラン」

825. アメリカ式PTAの薦め：先生の負担にならず、子どもを人質にとられることもないパワフル集団 / 野口桂子 (p.16-18)
 826. 子育てNPO「ぶりまべーら」はネットワークで子育て支援：子育て情報紙全国サミット「マミサミ in 関東 '99」も / 三沢昌子 (p.38-40)
 827. 自助グループ支援を受けて：「密室育児」の場合(横浜) / 横浜女性フォーラム (p.41-43)

828. 『21世紀人口現象社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える第5回：多様化するライフコース・キャリアコース：バラエティに富んだこれからのライフコース・ライフスタイル / 河野真理子 (p.104-106)

社会教育 [636] (1999.06)

829. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における個の自立を考える第6回：多様化するライフコース・キャリアコース：年齢と共に押し寄せる“ライフ上の課題”を考える / 河野真理子 (p.50-52)

社会教育 [637] (1999.07)

特集：ボランティアと未来

830. 学習成果の活用支援ネットワークの形成へ向けて：人材バンクの活用方策：プログラムバンクの提案 / 廣瀬隆人 (p.30-33)
 831. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における個の自立を考える第7回：多様化するライフコース・キャリアコース：いろいろ選べるキャリアコース・ワーキングスタイル：その1 / 河野真理子 (p.45-47)

社会教育 [638] (1999.08)

832. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における個の自立を考える第8回：多様化するライフコース・キャリアコース：いろいろ選べるキャリアコース・ワーキングスタイル：その2 / 河野真理子 (p.43-45)

社会教育 [639] (1999.09)

特集：男女共同参画社会基本法

833. どうつくる男女共同参画社会への学習：『男女』共同参画社会に向けた学習ガイド』作成の取組から / 秋本美代子 (p.8-12)
 834. 男女共同参画学習を考える / 高井正 (p.14-16)
 835. 青年男女の共同参画セミナー：「彼と彼女のエポリュシオン～男と女のカイゾウ計画～」の成果と課題 / 原義彦 (p.18-21)
 836. 本音で語る「居酒屋」講座：男のフェスティバル / 竹之内真知子 (p.22-25)
 837. 江の島からのNEW WAVE [江の島塾BENTEN / 片岡理智 (p.26-29)
 838. 『一寸(ちょっと)ちゃんがゆく』：教材を作る楽しさ / 奥山和弘 (p.30-32)
 839. 資料：男女共同参画社会基本法 (p.33-35)
 840. 男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり(答申) (p.36-39)
 841. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える第9回：多様化するライフコース・キャリアコース：年齢を重ねるごとに変化する『キャリア上の課題』を考える / 河野真理子 (p.45-47)

社会教育 [640] (1999.10)

842. 『21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方』少子・高齢日本における、個の自立を考える第10回：少子高齢社会における、企業の在り方、人事・人材育成活用の考え方(その1) [日本型・企業と社員の新しい関係 / 河野真理子 (p.96-98)

社会教育 [643] (2000.01)

特集：これからの生涯学習政策

843. 文部省のボランティア関連施策 / 有松育子 (p.20-21)
 844. 生涯学習プログラムの研究 第89回：安八町(岐阜県)の学習ボランティア“百貨店化作戦”：中学生も「読み聞かせボランティア」として活躍中のまち / 岡本包治 (p.48-51)

社会教育 [645] (2000.03)

845. 生涯学習プログラムの研究 第91回：秋田県内婦人会の青少年育成事業の研究：各地で「地域の生活文化ふれあい」活動の実施 / 岡本包治 (p.46-49)
 846. 「全国ボランティア情報提供・相談窓口」の設置について / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課 (p.66-67)

社会教育 [646] (2000.04)

847. 子どもの体験活動等に関する国際比較調査の実施について / 結城光夫 (p.28-31)
 848. 平成11年度NWEC(国立婦人教育会館)国際フォーラム：エンパワーメントは21世紀への合言葉：新たな共生をめざして / 三澤昌子 (p.31-36)
 849. 生涯学習社会をつくるNPO1：NPOとは何か / 田中敬文 (p.42-45)

社会教育 [647] (2000.05)

特集：生涯活躍

850. 21世紀へ向けたキャリア開発：生きる力の源、存在価値の追求とライフ&キャリアビジョン / 河野真理子 (p.24-31)

851. 余暇を活かして生涯活躍 / 瀬沼克彰 (p.32-35)

852. 生涯学習プログラムの研究 第93回：今立町(福井県)の「お父さん先生」の活躍：小学校PTA主催『GOGOガッコウ・親子でトライ!』事業の研究 / 岡本包治 (p.78-81)

社会教育 [648] (2000.06)

853. 女性のためのエンパワーメント講座：「ワークショッ
プに挑戦」の取り組み / 北川亘 (p.60-61)

ジュリスト [1164] (1999.10.01)

854. 民法研究会(177)：非配偶者間人工授精子(AID子)と嫡出推定 / 本山敦 (p.136-139)

ジュリスト [1165] (1999.10.15)

特集：第145回国会主要成立法律(2)

855. 男女共同参画基本法について / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.29-30)

ジュリスト [1170] (2000.01.15)

856. 憲法訴訟研究会 第99回：教師による生徒へのセクシュアル・ハラスメントと学校区の責任 / 青柳幸一 (p.269-272)

ジュリスト [1171] (2000.02.01)

857. 海外法律情報：アメリカ：ヘイトクライムと性的偏見に基づく犯罪 / 清水隆雄 (p.4)

858. 交通事故による逸失利益の算定方式についての共同提言(平成11年11月22日) / 井上繁規, 中路義彦, 北澤章功 (p.124-116)

859. アメリカ新判例を読む(1)：日本法へのインプリケーション：セクシュアル・ハラスメントと学校の責任 / 樋口範雄 (p.127-125)

ジュリスト [1172] (2000.02.15)

860. 海外法律情報：スウェーデン：機会均等法をめぐる動き / 木下淑恵 (p.77)

861. 内縁を立法化するべきか：フランスのPACS法について / Philippe Jestaz, 野村豊弘訳, 本山敦訳 (p.98-103)

862. 労働判例研究第九二一回：終業後に職場外でなされたセクシュアル・ハラスメントと使用者の責任：大阪セクシュアル・ハラスメント(S運送会社)事件 / 山川隆一 (p.133-135)

863. 少額訴訟利用のすすめ：少額訴訟利用者アンケート分析をもとに / 原克也, 竹内康人 (p.156-140)

ジュリスト [1173] (2000.03.01)

特集：労働市場の変化と改正派遣法・職安法

864. 人材ビジネスの現状と可能性 / 鈴木敦雄 (p.48-55)

865. アウトソーシングと人材ビジネス / 安西愈 (p.56-65)

866. ドイツ連邦憲法裁判「児童扶養控除」違憲決定の波紋 / 手塚和彰 (p.111-115)

867. 海外法律情報：アメリカ：犯罪被害者の権利保護のための憲法改正案 / 清水隆雄 (p.129)

ジュリスト [1174] (2000.03.15)

868. 刑事判例研究第三六回：同一の事業活動に関し複数の外国人に不法就労活動をさせた場合における出入国管理及び難民認定法七三条の二第一項一号の罪の罪数 / 吉田宣之 (p.110-114)

869. 労働判例研究第九二三回：ボランティアの善管注意義務とその紹介をめぐる法律関係：社会福祉法人文京区社会福祉協議会事件 / 黒田有志弥 (p.115-117)

ジュリスト [1175] (2000.04.01)

870. 涉外判例研究第四七六回：日本人夫及びフィリピン人妻の夫婦と妻の実子との養子縁組 / 駒田泰士 (p.97-99)

ジュリスト [1176] (2000.04.15)

特集：犯罪被害者の保護

871. 法制審議会における審議の経緯及び要綱骨子の概要 / 村越一浩 (p.39-47)

872. 要綱骨子における民事的事項について / 伊藤眞 (p.48-53)

873. 資料1 刑事手続きにおける犯罪被害者保護のための法整備に関する要綱骨子：資料2 要綱骨子事務局参考試験案3(諮問事項9)：資料3 修正案1-3 (p.54-57)

874. 女子差別撤廃条約洗濯議定書：個人通報手続きと調査手続きの導入 / 西立野園子 (p.74-81)

875. 海外法律情報：ドイツ：女性兵士に関する欧州裁判所判決 / 齋藤純子 (p.83)

876. 憲法訴訟研究会第102回：国外で生まれた婚外子の国籍についての母系優先主義の合憲性 / 毛利透 (p.97-101)

ジュリスト [1177] (2000.05.01+15)

877. アメリカの新判例を読む(4)：日本法へのインプリケーション：同性結婚の拒否と州憲法上の平等原則 / 高井裕之 (p.223-221)

ジュリスト [1178] (2000.06.01)

878. 民法研究会第184回：非嫡出子相続分差別規定の現在 / 本山敦 (p.89-92)

ジュリスト [1179] (2000.06.10)

特集：平成11年度重要判例解説

879. 行政法(5)：非嫡出子住民票続柄記載事件 / 角松生史 (p.40-52)

880. 労働法(1)：男性と同じ職種に変更後の賃金格差と男女同一賃金原則：塩野義製菓事件 / 神尾真知子 (p.206-208)

881. 労働法(2)：アナウンサー勤務の女性職員に対する他職種配転の効力：九州朝日放送事件 / 和田肇 (p.209-210)

助産婦 [53-2] (1999.05)

882. 子育て支援事業活動報告 第1回：子育て支援事業開始 / 岡本喜代子 (p.27-29)
883. 母乳と環境問題を考える / 池上しか子 (p.30-35)

助産婦 [53-3] (1999.08)

884. ケアの受け手の責任：視覚障害をもつ母親の立場から / 森愛子 (p.12-15)
885. ケアの受け手の責任：専門家と産む人が一体になるための「責任」 / 河合蘭 (p.16-18)
886. ケアの受け手の責任：「産む側」というマイノリティの視点から / 阿部真理子 (p.19-22)
887. 女性のインフォームド・チョイスを支えるために / 野口真貴子 (p.27-30)
888. 助産婦の現場から：助産婦とエイズ予防啓発活動(私の場合) / 岡崎基子 (p.47-52)

助産婦 [54-1] (2000.02)

特集：助産婦としてのこれから

889. 2000年を迎えて：明るい未来を担う助産婦 / 矢島床子 (p.22-25)
890. 助産婦個々の意識・実践と、団体の結集・結束が鍵 / 新野由子 (p.27-29)
891. 子育て支援事業活動報告 第4回：滋賀県支部の取り組み / 淵元純子, 大槻知子 (p.30-33)
892. 日本不妊看護ネットワーク(Japan Infertility Nursing Network)入会のご案内 (p.47)

助産婦 [54-2] (2000.05)

特集：リスク・マネジメント

893. 助産所事故を防止するために / 岡本喜代子 (p.6-7)
894. インタビュー：死産に至ったある産婦さんの体験から (p.8-16)
895. 「夫婦だけのお産」の落とし穴：危険な育児セミナーにはまる女性の気持ち / 塚田真紀子 (p.17-25)
896. 助産所分娩の安全性を確保するために / 正木かよ (p.32-36)
897. 海外情報ピックアップ：カンボジアのお産と伝統助産婦たち / 佐藤真理 (p.50-52)

女子教育 [22] (1999.04)

特集：家庭のしつけを考える

898. 愛は平等・教育は個別的：与謝野晶子の家庭教育 / 香内信子 (p.44-47)
899. 衣服から見た家庭のしつけ / 大枝近子 (p.53-56)
900. 家庭のしつけを考える / 片桐一平 (p.61-66)
901. 民俗からみた「しつけ」 / 渡部修 (p.67-71)
902. 中国の家庭教育事情：「一人っ子」家庭をめぐる過保護型教育について / 張燕 (p.81-85)
903. シンポジウム 1：子どもの非行：家庭と学校への提言 / 中嶋正明[ほか] (p.88-114)
904. シンポジウム 2：変わりつつある父母の役割：父親存在の意味を問う / 渡辺秀樹[ほか] (p.115-141)
905. 民族荒廃化を促進する日本の社会構造：キレる子供、

わが子を虐待する親を輩出させる日本の歪んだ社会構造 / 林俊郎 (p.9-31)

女性学 [7] (1999.12)

特集：20世紀の女性表現

906. 近代化と女性表現の軌跡 / 水田宗子 (p.8-22)
907. 女性アーティストのふり返られ方：展覧会がつくりだす女性観、芸術観 / 萩原弘子 (p.23-42)
908. <性の政治>と二〇世紀女性短歌 / 阿木津英 (p.43-61)
909. 二〇・二一世紀を繋ぐ女性表現：アジア系アメリカ女性作家の自伝的作品を巡って / 小林富久子 (p.62-78)

特集：女性雇用の危機

910. 危機にたつ女性の雇用：グローバル化と労働ビッグバンのなかで / 中野麻美 (p.80-93)
911. 就業形態の多様化と女性の雇用不安 / 小松満貴子 (p.94-111)
912. 危機を好機とするために / 田中かず子 (p.112-130)
913. 日米の女性兵士をめぐるジェンダー・イデオロギーの変遷：防衛/軍事組織の人事政策を中心に / 佐藤文香 (p.132-152)
914. アジア女性メールオーダー・プライド論考：ジェンダー、エスニシティ、他者性 / 河原崎やす子 (p.153-174)
915. グリゼルダ・ポロック『視線と差異』萩原弘子訳：「美」の普遍性に奉仕することから、視線の政治性を問うことへ / 堀ひかり (p.175-178)
916. 記録 日本女性学会 第二の十年：その歩みと問題点 / 秋山洋子 (p.179-185)

女性学研究所年報 [10] (2000.03)

特集：女性学研究所個人研究の成果から

917. 若い父親の社会参加と子育て意識についての研究 / 矢澤澄子 (p.6-8)
918. 第14回「女性史青山なを賞」受賞記念公開講演：近世女性の出産と身体観 / 沢山美果子 (p.4-5)

女性学年報 [20] (1999)

<物語・言葉・女>

919. もう一度干刈あがたを読む / 藤田久美 (p.22-34)
920. テレビドラマ「北の国から」の女性像：雪子と螢を中心に / 横川寿美子 (p.1-21)
921. ドラキュラと女たち：汚穢、そして「場」と「媒体」 / 細川祐子 (p.35-55)
922. 乃南アサはフェミニストを試す：「忘れ物」の言語実験 / 山口美知代 (p.56-63)

<エッセイ>

923. わたしの「問い」から / 山元敦子 (p.64-71)
924. からだ自分知 / 上田美恵子 (p.72-76)
925. 血縁家族という幻想：養子里親の体験から / 竹井恵美子 (p.77-87)

<フェミニスト再考>

926. 山川菊栄研究にみるジェンダーバイアス / 林葉子 (p.88-102)

927. 九〇年代フェミニズムと「私」の問題 [田嶋陽子と吉澤夏子の主張をめぐって / 村瀬ひろみ (p103-118)]

< 創作 >

928. 私 私 / 林のりす (p119-131)
 929. 凍身 / 山野想 (p132-136)
 930. 弁護士への手紙 / 高橋りりす (p137-150)

< 身体とその表現をめぐって >

931. 健康の知、素人妊婦の知 [きわめて身体的な抵抗と快楽の実践 / 柄本三代子 (p151-167)]
 932. < ボルノグラフィ > 批判とボルノグラフィを消費する経験との間で / 守如子 (p168-182)
 933. < 女の > ファッションと < 女の > 身体 : 美術館におけるファッションの展示について / 森理恵 (p183-201)

934. 海外報告 : 第7回国際学際女性会議「ウイメンズ・ワールド '99」の報告 / 渡辺和子 (p202-207)

女性学評論 [14] (2000.03)

特集 : 病むこととすこやかさ

935. 健やかさを求めて : 学生のライフスタイルと健康・体力の実態に関する調査を通して / 谷祝子, 内藤純子 (p.1-20)
 936. しあわせとは何か : 成人女性を対象としたインタビュー調査から / 吉村典子 [ほか] (p.21-41)
 937. 癒されるべき企業社会の [病] ・女性差別 : 90年代アメリカのグローバリゼーション戦略を背景に / 石川康宏 (p.43-76)
 938. 「病い」と「恋愛」のディスコース : < 不可能を、(より多く) 生きる > ために / 上西妙子 (p.77-100)
 939. 生殖をめぐる構造的権力の重層的関係と言説の変容 : 人口政策からリプロダクティブ・ヘルス/ライツへ / 土佐弘之 (p.101-137)
 940. カリブ海の老女たち / 風呂本惇子 (p.139-155)
 941. 賢治と女性(3) : 文語詩に見る < 女たち > への眼差し / 浜下昌宏 (p.157-182)
 942. 文献紹介 : 『新しき明日の来るを信ず』を書き終えて / 岩尾光代 (p.183-192)
 943. Mother/Girl : 母なる少女 : 『美少女戦士セーラームーン』にみる通過儀礼 / 古田明子 (p.201-224)

女性行政情報 [11-1] (1999.04)

< 国の動き >

944. 男女共同参画推進本部関係 : 男女共同参画社会基本法案の概要 (p.12-14)
 945. 男女共同参画推進本部関係 : 平成11年度男女共同参画推進関係予算額の概要 (p.12-14)
 946. 男女共同参画推進本部省庁関係 : 時代の変化に対応した風営適正化法の改正 (p.15-16)
 947. 事業予定 : 平成11年度男女共同参画宣言都市奨励事業実施要綱 (p.34)

< 地方公共団体の動き >

948. 高知県・こうち女性総合センター(愛称 [ソーレ]) 設置 (p.44)

女性行政情報 [11-3] (1999.08)

< 国の動き >

949. 男女共同参画審議会委員名簿 / 総理府 (p.2)
 950. 国の審議会等における女性委員の参画状況調べ / 総理府 (p.4-10)
 951. 女性の政策決定参画状況調べ / 総理府 (p.11-12)
 952. 男女共同参画推進本部省庁関係 : 児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律 / 警察庁, 法務省, 厚生省 (p.13-18)
 953. 「在宅就労問題研究会」中間報告(概要) : 在宅就労の環境整備、ガイドラインの策定を / 労働省 (p.22-27)
 954. 「平成10年度女性雇用管理基本調査」結果概要 : 女性の管理職への登用はおおむね横ばい : 総合職を「男女とも採用」した企業は4割を超える / 労働省 (p.28-50)

女性行政情報 [11-6] (2000.02)

< 国の動き >

955. 「男女間における暴力に関する調査」(概要版抜粋) / 総理府男女共同参画室 (p.1-6)
 956. 男女共同参画ヤングリーダー会議開催要領 / 総理府 (p.7-8)
 957. 少子化対策推進基本方針(要旨) / 内閣官房 (p.9-12)
 958. 女性・子どもを守る施策実施要綱の制定について / 警察庁 (p.13-16)
 959. 平成11年度学校基本調査(高等教育機関)卒業後の状況調査 : 調査結果の概要(平成11年5月1日現在) / 文部省 (p.17-22)
 960. 全国ボランティア情報提供・相談窓口事業について / 文部省 (p.23)
 961. 全国男女共同参画宣言都市サミット開催要項(八代市) / 総理府 (p.25-27)
 962. 平成11年度男女共同参加宣言都市奨励事業実施要領 : 榊町・延岡市・大須賀町 / 総理府 (p.28-37)

女性行政情報 [12-1] (2000.04)

< 国の動き >

963. 女性に対する暴力に関する基本的方策についての中間取りまとめについて / 総理府 (p.1-19)
 964. 女性に対する暴力をなくす運動について / 総理府 (p.20-21)
 965. 平成12年度業務予定の概要 / 総理府 (p.22-23)
 966. 平成12年度男女共同参画推進関係予算額の概要 / 総理府 (p.24-28)
 967. 雇用均等政策研究会報告書の概要 : 変革期における企業の人材活用と個人の働き方の調和を目指して / 労働省 (p.39-42)
 968. 報酬額、納期等の文書明示等についてのガイドラインの策定、周知・啓発を : 在宅就労問題研究会報告 / 労働省 (p.43-52)
 969. 平成12年度男女共同参画担当行政ブロック会議開催要領 / 総理府 (p.53-54)
 970. 第44回国連婦人の地位委員会及び「女性2000年会議」準備委員会報告 / 総理府 (p.64-65)

女性教養 [558] (1999.04)

971. 絵本『おおきな木』を通して見た母親像：日本とスウェーデンの比較調査から / 植田都 (p.3-6)
972. 活動報告 1：子育てへのサポートと子育てを生きがいにしない生き方を求めて：「里の家」の取組 / 茂木美知子 (p.8-9)
973. 活動報告 2：あいちの子育てネットワークづくりを目指して：「ふりあん」の活動より / 宮崎敏子 (p.10-11)
974. このひと：東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合理事長 大沢靖子さん / 大沢靖子 (p.13)

女性教養 [559] (1999.05)

975. ハーグフォーラム報告：カイロ国際人口開発会議から5年目を迎えて / 石井澄江 (p.2-6)
976. 活動報告 1：「10年連用女性健康手帳」についての取組 / 飯田美代子 (p.8-9)
977. 活動報告 2：「ゼロ歳」でタネが蒔かれる子どもの“荒廃”：ニュー・マザリングシステム研究会 / 田中喜美子 (p.10-11)
978. このひと：「自覚安全術・ラカス」インストラクター 内川由子さん / 内川由子 (p.13)

女性教養 [560] (1999.06)

979. ジェンダーの視点からの家庭教育セミナー〔映像に学ぶ家族女性学〕を実施して / 福家なおみ (p.3-6)
980. シネマ女性学：『第七官界彷徨-尾崎翠を探して』 / 松本侑壬子 (p.7)
981. 現代子育てグループ事情-公民館子育てグループとの10年から / 木崎いづみ (p.8-9)
982. 活動情報：秋田県内における女性施設の機能充実に向けて《エンパワくらぶ》の活動から / 稲場みち子 (p.10-11)
983. このひと：社会福祉法人家庭養護促進協会大阪事務所 長岩崎美枝子さん / 岩崎美枝子 (p.13)

女性教養 [561] (1999.07)

984. 研究レポート：経済のグローバル化とジェンダー / 織田由紀子 (p.3-6)
985. 活動情報 1：アジアに生き、共に未来をつくる人権センターを目指して：アジアに生きる会・ふくおか / 黒木敬子 (p.8-9)
986. 活動情報 2：外国人児童と家族のために「ほっとできる居場所」と「多文化共生の地域社会」を目指して：「ナラ・ファミリー&フレンド」の活動から / 江東好恵 (p.10-11)
987. このひと：上武やす子さん：「アイヌ文化を学び継承する女性の会」代表 (p.13)

女性教養 [562] (1999.08)

988. 研究レポート：“女の老い”今昔 / 今関敏子 (p.3-6)
989. 活動情報 1：女性ならではの感性を活かし、よりよい高齢社会を目指して：高齢社会を考える女性起業家の会 / 三井康栄 (p.8-9)
990. 活動情報 2：年齢を超えた仲間づくりを提案する「ケボの会」 / 小西加葉子 (p.10-11)
991. このひと：豊後レイコさん：「エルダー・ホステル協会」

会長 (p.13)

女性教養 [563] (1999.09)

992. 研究レポート：「ジェンダーの視点」からみた社会教育実践の現状と課題 / 渡邊洋子 (p.3-6)
993. 活動情報 1：“ジェンダーの木”の根っこは何か：ブレンストーミングで差別を探る参加型学習 / 次田葉子 (p.8-9)
994. 活動情報 2：第3回アジア女性フォーラムに参加して / 堀琴美 (p.10-11)
995. このひと：高野孝子さん(冒険家・エコクラブ主宰) (p.13)

女性教養 [567] (2000.01)

996. 実践レポート：2000年女性会議についてのミニNGOフォーラムへの取組 / 渡辺晴子 (p.3-6)
997. 活動情報 1：女性の政治参加・地方での活動：「とやま女性政策研究会」 / 大津典子 (p.8-9)
998. 活動情報 2：介護の社会化へ歩み続けて17年：活力ある高齢社会の創造を目指す「なら女性フォーラム」 / 江東好恵 (p.10-11)
999. このひと：メールマガジン「らすかるつうしん」発行人：塚越加枝さん (p.13)

女性教養 [568] (2000.02)

1000. ホームヘルパー就労実態調査からみた在宅介護労働の現状と課題 / 小松満貴子 (p.3-6)
1001. 活動報告 1：県内の個人託老所「あんき」の取組 / 岡和子 (p.8-9)
1002. 活動報告 2：「もっと気軽に外出できたら」をサポートする：高齢者外出介助の会 / 三井康栄 (p.10-11)
1003. このひと：グループホーム「ばれぼれ奈良公園」代表 酒井澄子さん / 酒井澄子 (p.13)

女性教養 [569] (2000.03)

1004. 「女性2000」に向けてのNGOの取組 / 関口悦子 (p.3-6)
1005. 活動報告 1：生きることの原点：「渥美どろんこ村」は食と農、そして人と人を結びやすらぎ空間 / 緒方ゆきえ (p.8-9)
1006. 活動報告 2：子どもの人権、命の重みを考える活動に取り組んで：子どもの食事を考える会 / 青柳清子 (p.10-11)
1007. このひと：冠婚葬祭コーディネーター 薦谷晃子 (p.13)

女性教養 [570] (2000.04)

1008. 改正均等法と新聞求人広告：表向きの変化に対応していない求人実態 / 田中和子[ほか] (p.3-6)
1009. 活動情報 1：“埋もれた歴史”に取り組んで：道南女性史研究会24年の歩み / 酒井嘉子 (p.8-9)
1010. 活動情報 2：“聞き上手さん(傾聴力)養成講座”：ファイナルステージを考える / 黒木敬子 (p.10-11)
1011. このひと：生活評論家吉沢久子さん (p.13)

女性教養 [571] (2000.05)

1012. 婦人・女性施設の役割と課題：その系譜から考える /

志熊敦子 (p.3-6)

1013. 活動情報 1: 14歳が語った! ジェンダー・フリーフォーラム: 市民グループが、公立中学に出張授業も / 清水正江 (p.8-9)
1014. 活動情報 2: 絵本で楽しくジェンダー・フリー / 和田千鶴子 (p.10-11)
1015. このひと: 村本邦子さん(女性ライフサイクル研究所 所長・臨床心理士) (p.13)

女性教養 [572] (2000.06)

1016. ドメスティックバイオレンスという社会問題 / 梶山寿子 (p.3-6)
1017. 実践レポート 1: 女性に対する暴力: その援助者に求められるもの: 女性の安全と健康のための支援教育センターの取組 / 原田恵理子 (p.8-9)
1018. 実践レポート 2: 男のための非暴力グループワークの取組 / 中村正 (p.10-11)
1019. このひと: 加藤洋子さん(米国マサチューセッツ州ノースウエスタン地区検事局DV Task Force 理事) (p.13)

女性空間 = Espace des Femmes [16] (1999.03)

特集: 買われる性: 女性と子ども

1020. フランスにおける児童ポルノ・児童売春の刑事的規制 / 上野芳久 (p.6-21)
1021. 日本の「買売春」問題を考える / 堀口悦子 (p.22-32)
1022. 封印された記憶: デュラスの「内なる闇」 / 佐藤浩子 (p.33-34)
1023. 売春のアンビヴァレントな歴史に関する一試論 / 相原征代 (p.44-60)
1024. パリテ、フランスの場合: 女性不在のデモクラシーから男女共生デモクラシーへ / 石田久仁子 (p.61-73)
1025. フランスの女性研究の動向: モダンからポストモダンへ / Fran・oise Collin; 新井文子, 加藤康子訳 (p.74-95)
1026. 解説: フランソワーズ・コランについて / 中嶋公子 (p.96-97)
1027. エッセイ 1: 『性差別的表現をなくすためのガイドライン』制定は急務: 今、メディア界に求められるもの / 伊藤恭子 (p.98-101)
1028. 講演: 日本女性の静かな革命 / Anne Garrigue; 伊吹弘子訳 (p.131-142)

女性空間 = Espace des Femmes [17] (2000.03)

特集: 子どもと教育

1029. フランスの学校教育における男女平等 / 井上たか子 (p.21-33)
1030. バルダイヤン: 失われた楽園: 二つの子供時代 / 佐藤浩子 (p.46-54)

特集: 『第二の性』出版50周年シンポジウム

1031. 1999年1月パリ『第二の性』出版50周年シンポジウムに参加して / 榎沢直子 (p.77-86)
1032. 『第二の性』の翻訳と受容について: 発表要旨、および関連報告 / 井上たか子 (p.87-92)
1033. 『第二の性』: フランスではどのように読まれたか /

杉藤雅子 (p.95-102)

1034. イタリア・古都シエナの女性活動紹介 / 山口順子 (p.103-107)
1035. 乳幼児の託児から保育へ: フランスの女性勤労者の一般化 / オルガ・ボドロ; 星三和子訳 (p.121-130)
1036. 情報: 女性関係年表: 世界(1998年5月~1999年5月) / 加藤敦子 (p.131-135)
1037. 情報: 女性関係年表: 日本(1998年11月~1999年10月) / 米山眞梨子 (p.136-137)

女性史・女性学ノート [7] (2000.03)

1038. 人名小考(一): 古代における名問いと命名を中心として / 野村知子 (p.1-7)
1039. 『女と男の時空』の残された問題点(4) / 河野信子 (p.8-12)
1040. アメリカの絵本出版に関わった女性たち / 村上百合子 (p.13-26)
1041. 消費者相談員からみたジェンダー / 野口博子 (p.27-39)
1042. 1967年度国立大学薬学部入学規制に女子卒業生はなぜ抗議したか / 安永哲子 (p.40-54)

女性施設ジャーナル [5] (1999.05)

特集: 女性政策の新時代

1043. 新ステージの女性政策: 期待される女性センター / 桜井陽子 (p.6-29)
1044. 東アジアの中の日本: ナショナル・マシーナリー比較 / 橋本ヒロ子 (p.30-36)
1045. 男女共同参画社会基本法について / 古橋源六郎 (p.37-51)
1046. 自治体の女性政策・現状と展望 / 江橋崇 (p.52-59)
1047. かがしま女性政策研究会の活動 / たもつゆかり (p.60-65)
1048. 女性政策の主流化をめざして / 米田禮子 (p.66-75)
1049. 上野千鶴子のズバリインタビュー: 男女共同参画社会基本法のめざすもの: 策定までのウラオモテ / 大沢真理, 上野千鶴子 (p.76-123)
1050. 地域の女性施設から、発信!(北海道): 広大なエリアと女性たちのニーズの多様性 / 服部洋子 (p.124-134)
1051. メンズフェスティバル'98in東京(男性問題講座分科会): 男性問題講座の大事な視点とは? / 青木勇児 (p.135-141)
1052. 座談会: 女性施設の100年史(最終回): 公設民営を経てこれからの女性施設の課題: 公設民営 / 北九州市立女性センター・ムーブの事例 / 志熊敦子 [ほか] (p.144-167)
1053. 県と市で設立、こうち女性総合センター開館 / 吉井眞智 (p.168-169)

女性・戦争・人権 [2] (1999.05)

特集: 戦争と性暴力

1054. シンポジウム報告: 戦争と性暴力 / 細見和之 [ほか] (p.5-37)
1055. 秋季特別シンポジウム: <慰安婦問題>からみたハンナ・アーレント / 高橋哲哉 [ほか] (p.52-77)
1056. 調査研究ノート: 天津の日本軍「慰安婦」供出システ

- ム：偽「天津特別市政府」警察局の公文資料から / 林伯耀 (p.78-115)
1057. 冷戦体制形成期の米軍と性暴力 / 藤目ゆき (p.116-138)
1058. 日露戦争下のおんなたち：諷刺雑誌『滑稽新聞』を中心に / 茶園敏美 (p.140-165)
1059. 中国華北の戦場における日本軍の性暴力の構造：山西省の現地調査から見えてくるもの / 石田米子 (p.166-189)
1060. 調査研究ノート：ビルマで調査したこと / 林よし子 (p.190-198)

女性展望 [511] (2000.01)

1061. 平和運動で世界を駆けまわるWILPFノタ会長に聞く / ブルーナ・ノタ (p.4-5)
1062. 新春座談会：新ミレニアムの女性を展望する：情報・経済のグローバル化の中 / 猪口邦子[ほか] (p.6-12)
1063. [女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人]の連載にあたって / 縫田暉子, 山口みつ子 (p.13)
1064. 世界女性国会議員比率ランキング：日本は衆院126位、参院22位 (p.14-15)

女性展望 [512] (2000.02)

1065. 第11回統一地方選挙の実態：(財)明るい選挙推進協会が調査 (p.11)
1066. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人1：ナショナル・マシナリーの幕開き：植木光教元総務庁長官に聞く / 植木光教, 縫田暉子 (p.12-15)
1067. 女性と仕事の未来館オープン (p.16)
1068. 中華婦女連・張静さん、北京会議後の中国を語る / 張静, 山口みつ子 (p.17)

女性展望 [513] (2000.03)

1069. 全国初の女性知事、大阪に誕生 / 森屋裕子 (p.4)
1070. 平成12年度 国の女性関係予算案：総理府・厚生省・労働省・文部省・農林水産省 / 大西珠枝[ほか] (p.5-12)
1071. 第五回国連総会報告会：女子差別撤廃条約の選択議定書採択 (p.13)
1072. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人 2：久保田真苗初代婦人問題担当室長に聞く / 久保田真苗, 縫田暉子 (p.14-17)

女性展望 [514] (2000.04)

1073. 政治参画へのエンパワーメント：女性と政治・選挙 / ジョイス・ゲルブ (p.5-7)
1074. 男女共同参画社会に向けて(4)：地域から男女平等をめざす青年団 / 坂野直子 (p.8-9)
1075. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人 3：国際婦人年連絡会の役割：中村紀伊、山口みつ子両氏に聞く / 縫田暉子 (p.10-14)
1076. 全国家庭動向調査：家事・育児への夫の参加はまだ / 厚生省 (p.15)
1077. 男女間における暴力に関する調査：総理府が初めて実施 (p.16-17)

女性展望 [515] (2000.05)

1078. 続々誕生する男女共同参画条例 (p.2)
1079. 二人目の女性知事、熊本県に / 清田幸子 (p.5)
1080. 国連特別総会「女性2000年会議」に際してのメッセージ / アンジェラ・キング (p.6)
1081. 対談：「女性2000年会議」に向けて：第44回国連婦人の地位委員会での準備状況を語る / 大西珠枝 / 房野桂 (p.7-11)
1082. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人(4)：女子差別撤廃条約署名を実現：柴田知子婦人問題担当室長に聞く / 縫田暉子 (p.12-15)
1083. 憲法調査会委員の女性議員に聞く会 (p.16)
1084. 地方議会女性議員6.1%に (p.17)

女性展望 [516] (2000.06)

1085. 第42回総選挙シリーズ(1)：7党女性局長インタビュー：女性候補・女性有権者対策など / 大森礼子[ほか] (p.5-8)
1086. 女性行政推進機構の軌跡：あのと、この人(5)：80年代前後の各省女性行政：志熊敦子、高橋淳、松本康子元課長に聞く / 縫田暉子 (p.9-14)
1087. 労働省平成11年版働く女性の実情 (p.15)
1088. 就任して1年の上原公子国立市長 (p.16-17)

女性と仕事ジャーナル [7] (1999.03)

- <均等法改正と男女共同参画社会基本法>
1089. 企業倫理とセクハラを考える / 大倉伸 (p.11-13)
1090. いまごろのスウェーデン：全ての人の「自立」への実現が女性施策の推進力 / 川村潤子 (p.14-15)
1091. 改正均等法とポジティブ・アクションについての意見 / 女性と仕事研究所 (p.20-23)

<カナダの教育・雇用>

1092. 「自己主張トレーニング」による自己発見・自己形成 / 吉村恵 (p.31-33)
1093. カナダのエンパワーメントプログラム / 稲邑恭子 (p.34-36)
1094. カナダ「労働省人材開発局」の女性関連施策について / 荒金雅子 (p.39-41)
1095. 女性の職業教育スタディツアー in Canada / 金谷千恵子 (p.42-49)

<アジアとヨーロッパの結節地点>

1096. マレーシアの女性たち from Malaysia / 石渡清仁 (p.51-54)
1097. イスラムの国を訪問して：チャドルとスカーフにみる現代イスラムの女性 / 佐々木真紀 (p.55-60)
1098. イスタンブールみたまま：トプカプ宮殿のハーレム / 金谷千恵子 (p.61-64)

<アクション ニュース>

1099. 専業主婦からの妻能開発：実体験15年で見たもの / 空閑貞子 (p.72-73)
1100. 働く女性のための保育支援制度 / 尾本晶子 (p.74-75)

女性と仕事ジャーナル [8] (2000.04)

1101. 女性のリーダーシップ / 山崎武也 (p.4-5)

1102. ウィメンズ・イニシャティブ：女性の躍進支援：ウィメンズ・イニシャティブ設立に際して：活動計画：WI設立に寄せて：応援します／金谷千恵子[ほか] (p.9-22)
1103. カタリスト協会：2000年カタリストAWARD受賞パーティに招かれて：カタリストとは：アメリカのビジネスにおける女性の実情：受賞企業レポート／金谷千恵子[ほか] (p.23-50)
1104. 職業アドバイザー：ジェンダーの視点をもったアドバイザーとは：職業アドバイザー養成講座基礎講座の報告：職業アドバイザー養成講座を実施して：女性の創業意欲を高める初期起業支援のために／藤木美奈子、金谷千恵子 (p.51-58)

女性と労働21 [8-29] (1999.07)

特集：99年年金改革

1105. 女性の年金についての改革諸提案 / 石川昭子 (p.6-21)

特集：派遣労働法・職安法の改正：派遣・職業紹介事業が自由化へ

1106. 職業安定法改正に関する意見 / フォーラム・「女性と労働」(p.23-29)
1107. 「職業紹介事業等に関する法制度の在り方」(民需小委員会報告)への連合の評価と今後の取組み / 日本労働組合総連合会 (p.30-33)
1108. 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律等の一部を改正する法律案に対する修正(要綱) / 衆議院労働委員会 (p.34-38)
1109. 職業安定法等の一部を改正する法律案要綱 / 労働省 (p.39-43)
1110. 職業紹介事業等に関する法制度の整備について[建議] / 中央職業安定審議会 (p.44-58)

特集：労働基準法等改正に関連する改正法制度

1111. 事業主が講ずべき短時間労働者の雇用管理の改善等のための措置に関する指針の一部を改正する案新旧対照表 (p.59-68)
1112. 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律案要綱：深夜業に従事する労働者及び化学物質等による労働者の健康管理等 (p.69-71)
1113. 雇用保険法施行規則の一部を改正する省令(案)要綱(答申) 介護休業給付制度(平成11年4月1日施行)の規定の整備 / 中央職業安定審議会 (p.72-75)
1114. 男女共同参画社会基本法案を修正可決・成立(p.76-82)
1115. 平成10年版 働く女性の実情<概要> / 労働省 (p.90-110)

女性と労働21 [8-31] (2000.01)

特集：改正労働派遣法

1116. 労働者派遣法の改正とこれからの課題 / 中野麻美 (p.6-14)
1117. 女子差別撤廃条約実施状況第四回政府報告についての意見 (p.15-22)
1118. 「確定拠出型年金制度」と「確定拠出型年金制度に係る税制改正要望」について：男女共同参画社会基本法にもとづく苦情の申立 (p.23-34)

1119. 労働者派遣法(概要)・政令・指針・通達：労働者派遣事業関係業務取扱要領(抜粋) / 労働省職業安定局 (p.35-146)

女性と労働21 [8-32] (2000.03)

特集：21世紀の雇用・労働：労働省・日経連・連合

1120. 今後の労働市場・働き方の展望と対策の方向：第9次雇用対策基本計画 / 労働省 (p.6-30)
1121. 「人間の顔をした市場経済を」めざして：平成12年版日経連労働問題研究会報告(平成12年1月) (p.31-52)
1122. 二一世紀の新しいワークルールの構築に向けて / 日本労働組合連合会 (p.53-61)
1123. 「平成10年度女性雇用管理基本調査」結果概要：女性の管理職への登用はおおむね横ばい：改正均等法施行直前の女性雇用管理の状況 / 労働省女性局 (p.73-89)
1124. 少子化社会対策基本法案要綱(1999年12月10日衆議院提出) / 中山太郎[ほか] (p.90-93)
1125. 国連総会採択・99・10：「女子差別撤廃条約」選択議定書(非公式訳文) (p.94-97)

女性労働研究 [36] (1999.07)

1126. 国際高齢者年と日本の課題 / 松村祥子 (p.4-9)

特集：家族・介護・地域と女性の労働

1127. 介護労働はいかにあるべきか：ペイドワークとアンペイドワークの狭間で / 堀越栄子 (p.10-15)
1128. 家族介護から地域介護へ：「くらしすけあいの会」の実践から / 和気まどか (p.16-20)
1129. 「たすけあいワーカーズ」の現場から：「NPOアピリティクラブたすけあい」の実践 / 山口文江 (p.21-25)
1130. 介護保険制度のジェンダー問題 / 伊藤周平 (p.26-31)
1131. シングル女性のリタイア生活：「シングルだから」を乗り越えて / 五十嵐美耶子 (p.32-37)

特集：人事考課のジェンダー差別とどうたかろうか

1132. 成果主義賃金と人事考課 / 遠藤公嗣 (p.38-43)
1133. 人事考課のジェンダー差別への挑戦：裁判で人事考課表の開示を求める / 宮地光子 (p.44-49)
1134. 女性農業者に関する研究の国際的動向：21世紀に向けた新しい視点 / 粕谷美砂子 (p.50-56)
1135. 理論と実践にブリッジを架ける試み：アメリカ合衆国のペイ・エクイティ運動を推進する組織 / 居城舜子 (p.57-59)
1136. 均等法、派遣法、職安法の改定と女性労働 / 山口悦子 (p.60-62)
1137. 海外文献紹介：ドイツ連邦及び各州における男女同権のための法律 / 鶴木泰子 (p.63-65)
1138. 職場レポート：富国生命の職業病責任を追及する / 望月すみ江 (p.66-68)
1139. 昇進・賃金差別是正を労働委員会に申し立て / 飯田文子 (p.69-71)
1140. ウィメンズ・ネットワーク：東京パートネットワーク / 伊藤悦子 (p.75)
1141. ウィメンズ・ネットワーク：秋田セクシュアルハラス

- メント裁判/牧田真由美 (p.76)
1142. ウィメンズ・ネットワーク：働く女性のオンライン・ネットワーク：レディース・フォーラム/立松栄 (p.77)
1143. グリム童話とジェンダー/浅野富美枝 (p.78-79)
1144. 年表・戦後女性労働運動(その1)：(1945～49年)/女性労働問題研究会 (p.92-87)

女性労働研究 [37] (2000.01)

1145. 年功制・能力主義の改編と今日の女性労働/木下武男 (p.4-9)

特集：「女性2000年会議」に向けて：自治体女性政策の展開と課題

1146. 女性二〇〇〇年会議と日本の課題/橋本ヒロ子 (p.28-33)
1147. 自治体女性政策の到達点と課題/渋谷敦司 (p.34-39)
1148. 阪神間自治体の女性政策の展開/朴木佳緒留 (p.40-44)
1149. 農山村自治体にみる女性政策：福島県の事例/千葉悦子 (p.45-49)
1150. 小規模自治体の女性政策：埼玉県吉川市の事例/浅野富美枝 (p.50-54)

1151. スウェーデンから学ぶもの：個人単位政策によって男女平等を達成した福祉国家/伊田広行 (p.55-61)

1152. 家族介護と介護の社会化：日本型ジェンダー構造からの離脱をめざして/中井紀代子 (p.62-68)

1153. キャンパス・セクシュアル・ハラスメント、ガイドラインを検証する/田中和子 (p.69-71)
- < 職場レポート >

1154. シオノギ製薬 賃金差別裁判で勝訴：原告 中寿美さんにインタビュー/山下由記 (p.76-78)

1155. 金融ビッグバン：今、証券業界の女性たちは/沖和子 (p.79-81)

1156. 「地方財政危機」をめぐる自治体の女性労働/渡辺泰子 (p.82-84)

< ウィメンズ・ネットワーク >

1157. 研究会「職場の人権」スタートする/伊田広行 (p.85)

1158. サイバーNPOによる女性のためのメディア作り/隅田英子 (p.86)

人口問題研究 [55-2] (1999.06)

特集：日本人の結婚と出産 (その2)

1159. 少子化の要因：就業環境が価値観の変化か：既婚者の就業形態選択と出産時期の選択/長瀬伸子 (p.1-18)

1160. 1990年代における女子のパートナーシップ変容：婚姻同居型から非婚非同居型へ/岩澤美帆 (p.19-38)

1161. 晩婚化と未婚者のライフスタイル/岩間暁子 (p.39-58)

性と生の教育 [22] (1999.05)

特集：教師のためのセクシュアリティ講座

1162. セクシュアリティの自分史：同僚、そして生徒への私の「レズビアン宣言」/池田久美子 (p.18-22)

1163. 検証・セクハラ事件：スクール・セクハラとの闘いから見た：教師という名の恫喝の加害者/山中教子 (p.24-27)

1164. 検証・セクハラ事件：キャンパス・セクハラの被害者から見た：教師の権力とセクシュアリティ/峰路佳子 (p.28-31)

1165. こんな教師からの性教育はごめん!/金子由美子 (p.36-39)

1166. 女性学と性教育：女性学へのいざない：生徒の顔を見て性を語れますか?/佐藤弘道 (p.44-47)

1167. 考察：教科書検定でどんなセクシュアリティが不合格にされているか/丹藤弘子 (p.48-51)

1168. ようやく動き出したキャンパス・セクハラ防止の取り組み/浅井春夫 (p.52-55)

1169. 学習実践：小学校：すてきなセックス、最高のふれあい/珠久けい子 (p.56-59)

1170. 学習実践：中学校：男女逆転の仮想体験で見えてくるもの/小島佐知子 (p.60-64)

1171. 学習実践：高校：セクシュアリティの多様さを学ぶ/金子真知子 (p.65-69)

1172. 学習実践：障害児教育：すてきなタッチ、不快なタッチ/谷森櫻子 (p.70-73)

1173. 緊急報告：ビル解禁! ポジティブ・アプローチに向けて/芦田みどり (p.77-74)

1174. 新薬登場・男には勃起促進剤! 女には避妊剤! : いよいよ大切な両性の「性的自立と共生」/山本直英 (p.78-79)

1175. 戦争と女性：20世紀の記憶 2：レイプ被害は不名誉か/西野瑠美子 (p.96-97)

1176. 性のグラデーション 3：私が私らしく生きられなかったワケ/橋本秀雄 (p.107-106)

1177. 性の文化・教育：ほかの国では 18：デンマーク：ポルノ解禁までのプロセス/松澤伸 (p.110-111)

性と生の教育 [23] (1999.07)

特集：障害児・者の 性の自立と共生

1178. 手記：障害者の出産・子育て：私の子どもの、障害があってあつたりまえ!/安積遊歩 (p.18-21)

1179. 生命を選別する出生前診断に『NO!』の声を/堤愛子 (p.22-25)

1180. 障害者の結婚・子育て支援：タブーから支援の社会システムを求めて/松友了 (p.36-39)

1181. 障害者カップルの「性と生」を考えるセクシュアリティ講座/加東田博 (p.48-51)

1182. 要所要所の「セクシュアリティ」にくさびを：文部省の二つの提起を見て/山本直英 (p.98-99)

1183. 戦争と女性-20世紀の記録(3)：加害者のトラウマと不処罰 1/西野瑠美子 (p.100-101)

1184. 病む人々のセクシュアリティ(11)：子宮を失うより怖いこと/宮子あずさ (p.106-107)

1185. 性のグラデーション(最終回)：『あるがままの自分』を愛しなさい!!/橋本秀雄 (p.109-108)

1186. 性の文化・教育-ほかの国では(19)：【デンマーク-その2】なぜ性の先進国になったのか/松澤伸 (p.112-

113)

性と生の教育 [24] (1999.09)

特集：最新・性感染症とエイズの学習

1187. わたしたちの生活に日常的に入り込む性感染症：ビル認可のいまこそ検診システムの確立を / 熊本悦明 (p.16-21)
1188. AIDS無関心症候群を本当に克服する道筋 / 宗像恒次 (p.26-31)
1189. 薬害エイズは終わったのか!? : いのちと人権が国家や組織より大事にされる日まで / 川田悦子 (p.36-39)
1190. ゲイ・コミュニティが拓く同性愛者の性と生 / 南定四郎 (p.41-40)
1191. 21世紀に役立つのか? 文部省『性教育の考え方・進め方』：ジェンダーフリーと同性愛の欠落のまま / 山本直英 (p.82-84)
1192. 性の神話の物語：変革は自分のことを口に出すことから / 安積遊歩 (p.98-99)
1193. 戦争と女性：20世紀の記憶(4)：加害者のトラウマと不処罰(2) / 西野留美子 (p.102-103)
1194. 病む人々のセクシュアリティ(最終回)：「男らしさ」にこだわる不幸 / 宮子あずさ (p.108-109)
1195. エイズ学習のススメ：最新エイズ情報(21)：米国都市部高校生のHIV関連性行動調査 / 桜井賢樹 (p.112-113)

性と生の教育 [27] (2000.03)

特集：「総合学習」としての《性》

1196. 性教協が「総合学習」のカリキュラムに挑めば：学年別課題・目標・留意点(中学校)：大人の想像力を越えた活動力を引き出す / 金子由美子 (p.57-61)
1197. 性教協が「総合学習」のカリキュラムに挑めば：学年別課題・目標・留意点(高校)：トピック方式でピピッドに / 鈴木正弘 (p.68-75)
1198. 人間にとって《性》とは何か：二一世紀に向かって：第三回日中性健康教育学術交流会・日本代表講演 / 山本直英 (p.96-98)
1199. 生涯恋愛の経済学 第4回：非婚化バブルの発生と崩壊 / 森永卓郎 (p.104-105)
1200. 戦争と女性：20世紀の記憶7：姿を現した台湾の「慰安婦」 / 西野留美子 (p.106-107)

性と生の教育 [28] (2000.05)

特集：「性交」から学べる教育を!

1201. 性教育でなぜ「性交」を学習するのか：あなたは文部省を乗り越えられますか / 山本直英 (p.14-17)
1202. 性教育への期待：社会的な目で問題を根っこに迫る力を育てる / 戒能民江 (p.18-21)
1203. 性教育の実践、研究、運動でいま問われていること / 浅井春夫 (p.22-26)
1204. 調査：性教育で取り組みたいテーマ《ベスト5》 / 谷森正之、金子由美子、鈴木正弘 (p.46-47)
1205. どんなセックスしてみたい? : 大人たちのためのワークショップ / 木全和巳 (p.50-53)

1206. 学習実践：性を楽しむために低用量ピルをゲットしよう：小田洋美 (p.70-75)

1207. 産婦人科の窓から(4)：性犯罪被害者の気持ちを汲めない警察官たち / 河野美代子 (p.98-99)
1208. 生涯恋愛の経済学(5)：再び、性の社会保障を考える / 森永卓郎 (p.102-103)
1209. 戦争と女性：20世紀の記憶：慰安婦とDV / 西野留美子 (p.104-105)

世界と人口 [312] (2000.03)

1210. ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現：日本の成果 / 川橋幸子 (p.8-15)
1211. インターネットでみる海外の人口事情(13)：イタリア人口の最近の動向 / 大友篤 (p.28-36)
1212. トピックス：第四回「松本賞」小林、佐藤、丹野の三氏に：受賞者のプロフィール / 小林拓郎、佐藤恒治、丹野かほる (p.41)

世界の児童と母性 [46] (1999.04)

特集：子どもの権利擁護

1213. 子どもの権利擁護と子育て支援策 / 松原康雄 (p.10-13)
1214. これからの子どもの権利擁護：家庭児童相談室の現場から / 山野則子 (p.14-17)
1215. これからの子どもの権利擁護：児童相談所・都道府県児童福祉審議会の現場から / 津崎哲郎 (p.18-21)
1216. 外国の子どもの権利擁護の実際：アメリカの子どもの権利擁護 / 桐野由美子 (p.46-49)
1217. 外国の子どもの権利擁護の実際：カナダ・オンタリオ州のアドボカシー機関 / 許斐有 (p.50-53)
1218. 外国の子どもの権利擁護の実際：フランスに見る子供の権利擁護 / 丸山茂 (p.54-57)
1219. 外国の子どもの権利擁護の実際：英国における子どもの権利擁護の動向 / 津崎哲郎 (p.58-61)

世界の児童と母性 [48] (2000.04)

特集：90年代の子ども家庭福祉を振り返る

1220. 90年代の子ども家庭福祉の理論動向：政策制度実践：イギリスを中心に / 松原康雄 (p.6-9)
1221. 90年代における制度改革とその評価：子どもの権利条約の10年と制度改革：地域における子どもの権利保障のために / 喜多明人 (p.10-13)
1222. 90年代における制度改革とその評価：子育て支援施策 / 栃尾勲 (p.14-17)
1223. 90年代における制度改革とその評価：エンゼルプラン、児童育成計画(地方版エンゼルプラン)の意義と実態 / 山本真実 (p.18-21)
1224. 90年代における子ども家庭福祉実践とその評価：90年代の非行動向とその対策 / 末永清 (p.34-36)
1225. 90年代における子ども家庭福祉実践とその評価：児童虐待対策 / 小林美智子 (p.43-45)
1226. 90年代における子ども家庭福祉実践とその評価：ひとり親家族福祉の現状と展望：90年代を中心として / 湯澤直美 (p.49-51)
1227. 90年代における子ども家庭福祉実践とその評価：外国

- 籍・無国籍児の実態と課題 / 花崎みさを (p.52-54)
 1228. 90年代の子ども家庭福祉を振り返る: 資料編: 90年代を振り返る / 村田典子 (p.62-64)

総合女性史研究 [17] (2000.03)

1229. 国際ミニシンポジウム: 講演: 身体、習慣、空間 / Vera Mackie; 早川紀代訳 (p.2-11)
 1230. 日本近現代女性史研究の今日的課題 / 米田佐代子 (p.15-17)
 1231. 古墳時代における男女の「坐」の系譜 / 塚田良道 (p.21-38)
 1232. 近世における女性の関所通行(その二): 主として箱根山之内村々の女性の関所通行 / 小暮紀久子 (p.39-55)
 1233. アイヌ史におけるジェンダー / 児島恭子 (p.56-64)
 1234. 堀保子小論 / 河原彩 (p.65-73)

賃金と社会保障 [1247] (1999.04.10)

1235. 「男女混合職化」に関する研究 3: 男女混合職化のケース・スタディ その2: 製造・建設業種(1) / 首藤若菜, 高木郁朗 (p.60-68)

賃金と社会保障 [1248] (1999.04.25)

1236. 「賃金制度の転換」なるものと賃金の考え方: “人事制度改革攻撃” に負けない開放的で明解な賃金論を持つために / 木下武男 (p.15-38)
 1237. 年功賃金カーブのフラット化が進む: 国民生活研究会(経企庁総合計画局)の中間とりまとめ(国民生活の将来像の推計(1988年12月17日)より (p.40-44)
 1238. 「男女混合職化」に関する研究 3: 男女混合職化のケース・スタディその2: 製造・建設業種(2) / 首藤若菜, 高木郁朗 (p.46-53)

賃金と社会保障 [1250+1251] (1999.06.10)

- 特集: 福祉制度改革と介護保険のゆくえ
 1239. 調査研究: 「ホームヘルプ」という仕事: ホームヘルパーの健康と労働負担に関する研究 / 重田博正 (p.88-114)

賃金と社会保障 [1252] (1999.06.25)

1240. 社会保障・社会福祉110番(24): 障害年金を受給するには: 26歳で慢性関節リュウマチになったA子さんのケース / 青木久馬 (p.45-52)

賃金と社会保障 [1255] (1999.08.10)

- 特集: 介護保険は日本の福祉を変えるか
 1241. 資料: 高齢社会と家族: 労働力再生産システムの転換と新たなサービス / 瀬地山角 (p.26-33)

賃金と社会保障 [1258] (1999.09.25)

1242. 資料で読む: 「福祉(介護)の市場」とは(上): 東京都商工指導所・調査研究報告書『福祉ビジネスの事業化戦略』より平成11年3月(公刊平成11年9月) (p.14-30)
 1243. 資料: 指定居宅介護支援事業者・東京版: 9月1日現在、23区25市1郡1町で466法人を指定 (p.31-46)

賃金と社会保障 [1264] (1999.12.25)

1244. 最近の雇用・失業情勢: 総務庁「労働力調査特別調査」

(平成11年8月)結果 / 総務庁統計局 (p.27-43)

1245. 判例解説: ああ無念: (株)エコープランニング厚生年金保険事件・大阪地裁判決(平11・7・13) / 板垣善雄 (p.44-53)

賃金と社会保障 [1265+1266] (2000.01.25)

1246. 少子化問題: そのアジェンダ化の軌跡: 数値の発表と国家の政策 / 堀江孝司 (p.50-69)
 1247. 生活スタイルの変化で生まれる新しい楽しさ: 『こうすれば日本の生活は楽しくなる』(経済企画庁物価局報告書第6章)より / 経済企画庁物価局事務局 (p.88-101)

賃金と社会保障 [1267] (2000.02.10)

- 特集: 新自由主義改革と2000年春闘
 1248. 雇用壊し・賃金壊し: 市場原理主義者の論理とその問題点 / 小越洋之助 (p.42-54)

賃金と社会保障 [1268] (2000.02.25)

- 特集: 新自由主義改革と2000年春闘: 春闘ハンドブック後編
 1249. 日本の勤労者の賃金および所得の状態 / 労働経済研究所 (p.11-25)
 1250. 高失業状況と雇用の流動化問題: その見方 / 労働経済研究所 (p.30-37)
 1251. 家計の状況と教育費・住宅費の圧力 / 労働経済研究所 (p.38-43)

賃金と社会保障 [1269] (2000.03.10)

1252. ゼンセン同盟: 日本介護クラフトユニオンを立ち上げる (p.44-45)
 1253. 翻訳資料: 「二〇〇〇年に向けての高齢化に関する世界目標・実施戦略»: 国連事務総長報告(下) / 井上英夫監訳, 宇野正昭訳 (p.46-51)
 1254. 判例解説: 公立保育所の保育料金の法的性格を争う: 長岡京市保育料訴訟と京都地裁(平11.6.18)判決の問題点 / 安保千秋 (p.52-55)
 1255. 社会保障・社会福祉判例: 長岡京市保育料変更決定処分取消請求事件・京都地裁判決(平11.6.18) (p.56-64)

賃金と社会保障 [1272] (2000.03.25)

1256. 介護保険のスタートを機に保健・福祉を担う人たちへ / 篠崎次男 (p.4-13)

賃金と社会保障 [1273] (2000.04.10)

1257. 賃金論の再考: ジェンダーの視点にたつて / 中川スミ (p.34-44)

賃金と社会保障 [1274] (2000.05.25)

1258. 社会保障判例研究: 条例によらない保育料徴収は適法か / 菊池馨実 (p.38-45)

賃金と社会保障 [1275] (2000.06.10)

- 特集: 検証・147国会成立した年金改革法
 1259. 年金の男女格差をどうするのか / 国広陽子 (p.43-44)
 1260. 自営=一号被保険者をないがしろにしてはならない / 山崎久民 (p.45-47)

統計 [51-3] (2000.03)

特集：少子化を考える

1261. 少子化と結婚 / 井上俊一 (p.1-7)
 1262. 少子化はなぜ起こっているのか：人口統計学的分析 / 廣嶋清志 (p.8-15)
 1263. 北海道における少子化 / 原俊彦 (p.16-21)
 1264. 少子化と社会保障 / 兼清弘之 (p.22-27)
 1265. 女性のキャリア形成と出生の変化 / 大沢真知子 (p.28-34)
 1266. 少子化と子育て問題 / 森田明美 (p.35-41)
 1267. 統計調査の結果から：家計トピックス：バレンタインデーに見られる支出 / 中川和子 (p.46-47)

時の動き [44-1] (2000.01)

特集：男女共同参画社会の実現を目指して
 < 施策の紹介 >

1268. 男女共同参画社会基本法の概要：男女共同参画社会の形成についての基本理念を明らかにしてその方向を示す / 総理府 (p.24-27)
 1269. 男女共同参画社会づくりに向けた取組：関係機関、NGOとの連携の下に総合的な取組を推進 / 総理府 (p.28-31)
 1270. 女性二〇〇〇年会議に向けての取組：六月会議開催に向けて活発化する国内外の動き / 総理府 (p.32-33)
 1271. 警察庁の取組：女性に対するあらゆる暴力を根絶するために / 警察庁 (p.34-35)
 1272. 法務省の取組：女性の人権を守るための人権擁護機関の役割 / 法務省 (p.36-37)
 1273. 外務省の取組：女性の地位向上を図るための国際協力 / 外務省 (p.38-39)
 1274. 文部省の取組：男女共同参画を推進するための教育・学習 / 文部省 (p.40-41)
 1275. 厚生省の取組：女性の健康や育児、介護の支援を推進 / 厚生省 (p.42-43)
 1276. 農林水産省の取組：男女がともに活躍できる農山漁村の実現を目指して / 農林水産省 (p.44-45)
 1277. 労働省の取組：男女が主体的に働き方を選択し能力を発揮できる社会の実現に向けて / 労働省 (p.46-47)
 1278. 全国の男女共同参画宣言都市を集めてサミットを開催 (熊本県八代市) / 笹田泉 (p.50-53)
 1279. 資料：男女共同参画社会基本法 (p.54-57)

日米女性ジャーナル [26] (1999.12)

1280. 皇后の新しい衣服と日本女性、1868-1912 / Sally A. Hastings, 時実早苗 (p.3-14)
 1281. 明治閨秀作家を読みなおす / Rebecca L. Copeland ; 泉水康子訳 (p.15-39)
 1282. 近代日本における女性教師のジェンダー：平田のぶの愛の葛藤 / 浅井幸子 (p.40-55)
 1283. 「12のステップ」が癒すアメリカ / 有賀千恵子 (p.56-72)
 1284. アフリカにおけるジェンダーと社会運動：西アフリカの事例 / Ifi Amadiume ; 大池真知子訳 (p.73-97)
 1285. 海外と日本での現代アフリカ女性文学研究の動向 / 大池真知子 (p.98-119)

日本家政学会誌 [408] (1999.04)

1286. 大学における家政教育の現状と課題：一般教育としての開設の可能性と教員養成系学部における新展開 / 鈴木真由子[ほか] (p.87-97)

日本家政学会誌 [50-5] (1999.05)

1287. 澤柳政太郎の女子高等教育観：東北帝国大学における女性への門戸開放を中心として / 吉野真弓, 草野篤子 (p.1-10)
 1288. 青年がとらえる両親の夫婦関係：親子関係、家族システムとの関連 / 宇都宮博 (p.23-31)
 1289. 中国帰国者の住生活に関する研究(第1報)：自治体における支援対策・施設がもたらす影響について / Ping Zhao, 町田玲子 (p.77-88)
 1290. 中国帰国者の住生活に関する研究(第2報)：中国と日本における住文化や生活習慣の違いがもたらす影響について / Ping Zhao, 町田玲子 (p.89-97)
 1291. 第一線で活躍する家政系出身者から(22)：消費者被害の実際に触れて / 林恭恵 (p.99-100)

日本家政学会誌 [50-6] (1999.06)

1292. 中学生の父母はどう性教育をしているか：親と子の認知の比較 / 高橋久美子 (p.51-65)
 1293. 16年間の会社生活をふり返って / 橋本良子 (p.85-86)

日本家政学会誌 [50-7] (1999.07)

1294. 関連領域から家政系大学のスタッフとなって(12)：教員養成と家政学に関わって / 加藤陽治 (p.83-84)

日本家政学会誌 [50-8] (1999.08)

1295. 中年期における女性の夫婦間ディストレス / 長津美代子, 濱田由紀子 (p.1-23)
 1296. 古典料理について：島津家の婚礼規程と饗膳 / 高正晴子, 江後迪子 (p.53-62)
 1297. 被服衛生と文学との接点：コルセットの場合：女性作家の作品を中心として / 中橋美智子 (p.73-84)
 1298. 暮らしと安全(7)：厚底靴の危険性 / 石井照子 (p.89-93)

日本家政学会誌 [50-9] (1999.09)

1299. 夫妻の家事労働時間に与える家事労働に関する態度の影響 / 貴志倫子, 平田道憲 (p.15-24)
 1300. 第一線で活躍する家政系出身者から(25)：生命産業としての農業・農村に関わる仕事にたずさわって / 村井智子 (p.91-92)
 1301. 第一線で活躍する家政系出身者から(25)：生活者の視点からみる美容 / 谷都美子 (p.93-34)
 1302. 事例研究法をめぐって(4)：服飾史・服飾美学研究の紹介 / 大久保春乃 (p.101-104)

日本家政学会誌 [51-1] (2000.01)

1303. ベアテ・シロタ草案の背景と憲法研究会草案：日本国憲法第3章人権条項の制定過程(第2報) / 草野篤子, 中西央, 小野瀬裕子 (p.5-14)

日本家政学会誌 [51-2] (2000.02)

1304. 第一線で活躍する家政系出身者から(28)：アジアの女

性作家シリーズを出版 / 坂井正子 (p.79-194)

日本家政学会誌 [51-3] (2000.03)

1305. 第一線で活躍する家政系出身者から(29): 「農家・農村生活の改善」とともに / 川合千鶴子 (p.35-36)

1306. 高齢者の住環境整備をめざして / 末延豊子 (p.37-39)

日本家政学会誌 [51-4] (2000.04)

1307. 親子のコミュニケーションが中学生の「心の健康度」に及ぼす影響 / 小西史子, 黒川衣代 (p.9-22)

1308. 平安時代の葬送装束: 素服を中心に / 増田美子 (p.31-38)

1309. 第一線で活躍する家政系出身者から(30): ファッションビジネスに、女子大生の進出を期待 / 齋藤敬子 (p.71-74)

日本家政学会誌 [51-5] (2000.05)

1310. 家の外で遊ぶ子どもと家の中で遊ぶ子どもの市部と郡部での地域比較 / 池山和子 (p.11-29)

1311. 第一線で活躍する家政系出身者から(31): 見直された日本食: 生涯現役の為に / 森山由記子 (p.69-70)

日本家政学会誌 [51-6] (2000.06)

1312. 山梨県内3校の中学生における食行動や食意識に及ぼす食事環境の影響 / 松本晴美 (p.25-32)

1313. プレイリーダーのいる子どもの遊び場に対するニーズと評価: 「プレイスクール」における調査事例 / 梶木典子, 瀬渡章子, 田中智子 (p.33-44)

1314. 都市に居住する高齢者の緑行動を促進させる要因: 自然環境に関する学習・活動支援を行う組織の重要性 / 今津乃理子, 中山徹 (p.45-55)

1315. 第一線で活躍する家政系出身者から(32): “技術情報” および“特許” と共に歩んだ30年 / 安藤智江 (p.71-72)

1316. 第一線で活躍する家政系出身者から(32): 相撲社会に生きる / 上沢婦記子 (p.73-74)

1317. 子どもをめぐる人間関係(1): 家庭における人間関係: 児童虐待について / 吉川晴美 (p.81-87)

日本労働研究雑誌 [478] (2000.05)

特集: セクハラと雇用・人事

1318. セクシュアルハラスメントと意識しない職場 / 春木節子 (p.1)

1319. セクシュアル・ハラスメントをめぐる法的枠組み: その法概念と法的責任を中心に / 奥山明良 (p.2-15)

1320. セクシュアルハラスメントの実態と防止のための配慮義務 / 富田契子 (p.16-22)

1321. セクシュアルハラスメントへの企業の対応 / 西嶋美那子 (p.23-32)

1322. セクシュアルハラスメントへの労働組合の対応: ゼンセン同盟の取り組み事例 / 逢見直人 (p.33-39)

発達 [20-78] (1999.04)

特集: 自閉症はいま...

1323. 自閉症を通して考える対人関係の発達段階 / 熊谷高幸 (p.10-21)

1324. 環形障害臨床からみた自閉症理解と治療 / 小林隆児 (p.22-35)

発達 [20-79] (1999.08)

特集: 人生を物語る: 生成のライフストーリー

1325. 自伝を書くことと生きること: 19世紀労働者の自伝における放浪と人生 / 稲垣恭子 (p.21-29)

発達 [21-82] (2000.04)

特集: <わたし>を探しに

1326. 成人期の「自分」探し: ケアすることを通じての<他者>育てと<自分>育て / 岡本祐子 (p.56-63)

ファミポリテック=Femme politique [25] (1999.09)

1327. バリアを乗り越えて: がんばる女性議員たち (p.6-10)

1328. 女性議員のページ: 内田秀子さん / 青木千恵 (p.11)

1329. 検定が教科書をダメにする! / 宗像陽子, 田中喜美子 (p.12-15)

1330. メディアが支配する来世紀: こどもたちの未来は? (上) / 山口遼子 (p.16-18)

ファミポリテック=Femme politique [27] (2000.03)

1331. 女性議員のページ: 宮沢友子さん / 福田弘美 (p.13)

1332. 女性候補なら誰でもいい?: 「WINWIN」に何ができるのか / 田中喜美子 (p.14-15)

1333. 女が働けない年金制度: 国広陽子さんにきく / 宗像陽子 (p.16-19)

婦人新報 [1183] (1999.04)

1334. 『空気の美味しいレストラン』 / 大越祥敬 (p.13-15)

1335. 回想のなかの会とひと: 柏村松枝姉回想記 / 後藤拓男 (p.18-20)

1336. ユネスコ専門家会議 1: インターネット上の性的虐待・子どもポルノとペドフィリア: 国際的チャレンジとして / 宮本潤子 (p.22-23)

婦人新報 [1184] (1999.05)

1337. ユネスコ専門家会議 2: インターネット上の性的虐待・子どもポルノとペドフィリア / 宮本潤子 (p.22-23)

婦人新報 [1185] (1999.05)

特集: 国際シェルターとしてのHELPのこれから

1338. インタビュー: これからのシェルター: アメリカのシェルター訪問から得たもの / 東海林路得子 (p.2-7)

1339. HELP利用者統計表(1998年1月~12月末) (p.13-15)

1340. 婦人保護にかかわる社会福祉事業法改正にあたって / 柿澤路得子 (p.22-23)

婦人新報 [1186] (1999.07)

1341. 女性の家HELP: 1998年度活動状況 (p.23-26)

1342. 回想のなかの会とひと: よるべなき子らの母 大西静江先生 / 木村優子 (p.27-29)

婦人新報 [1187] (1999.08)

1343. 回想のなかの会とひと: 中村直と金沢の廃娼運動 / 牧野逸子 (p.18-20)

婦人新報 [1188] (1999.09)

特集：性と生の学び：中高年の立場から

1344. 子どもにきちんと性が語れますか / 高柳美知子 (p.2-5)

1345. 私の『オジさん売春』茶話：この国の空気のような売春風土の中で感じる事 / 星建男 (p.6-9)

1346. 性差別と性暴力：少女への米兵暴力事件以後、新聞やラジオ番組から問題を学ぶ：沖縄部会 / 芳澤江美子 (p.14-15)

1347. 子どもの商業的性搾取に反対する世界会議：第3回フォローアップ会議報告：《テーマ》実効性のある法執行を目指して / 斎藤恵子 (p.24-25)

婦人新報 [1192] (2000.01)

1348. 矯風会セミナー特別講演要旨：韓半島の平和と日米新ガイドライン：女性たちのピースラインを / 金允玉 (p.2-5)

1349. “インターネット上の子どもポルノと闘う” EU-USA 合同国際会議(1) / 宮本潤子 (p.20-22)

婦人新報 [1193] (2000.02)

1350. 回想のなかの会とひと：二宮わか生涯としごと / 左近節子 (p.16-18)

1351. インターネット上の子どもポルノと闘う))EU-USA 合同国際会議[2] / 宮本潤子 (p.22-23)

婦人新報 [1194] (2000.03)

特集：性暴力との闘い：従軍慰安婦からセクハラまで

1352. 「慰安婦」が望む戦後補償：その意味と立法運動を考える / 今村嗣夫 (p.2-5)

1353. 「下関判決」の灯を消してはならない!!：関釜裁判と立法化 / 松岡澄子 (p.6-8)

1354. 資料：国立国会図書館法の一部を改正する法律(案)：提出者・鳩山由紀夫・竹村正義・木島日出男・賛成者118名 (p.9-10)

1355. 資料：戦時性的強制被害者補償要綱(第一次案) (p.11)

1356. 東北大学セクハラ訴訟の画期的判決 / 松井恵 (p.12-14)

1357. チカンという性暴力と闘って：教師の立場から、生徒と共に / 斎藤尊子 (p.15-17)

婦人新報 [1195] (2000.04)

特集：アディクション：女の声

1358. 女性のアルコール依存症：グループホーム「まゆの家」の活動を通して見えてきたもの / 井上恭子 (p.2-5)

1359. 女性とたばこ：あの世への平等だけがひと足先に実現しないために / 仲野暢子 (p.6-9)

1360. 回想のなかの会のひと：小橋カツエ氏の歩まれた道：飯沼道子 (p.19-20)

1361. 99年国際シンポジウム報告：戦時・性暴力・過去・現在にどう立ち向かうか：2000年「女性国際戦犯法廷」に向けて / 北垣景子 (p.25-26)

婦人新報 [1196] (2000.05)

特集：多民族共生の21世紀へ：同化と排外・管理をのりこえて

1362. 地域住民として共に生きるために：「外国人住民基本法」のめざすもの / 李清一 (p.2-5)

1363. アイヌ民族が提起するもの / 宮島利光 (p.6-9)

1364. 外国人女性の権利はどこに：「女性の家HELP」から見て / 東海林路得子 (p.13-15)

1365. 地域ケアネットワーク：アルコール問題から子ども虐待まで / 徳永雅子 (p.18-20)

1366. 新宿警察署から見える女性たち / 佐橋典子 (p.22-23)

婦人新報 [1197] (2000.06)

1367. HELPに來所する子どもたち / 本木朋子 (p.2-5)

1368. HELP利用者統計表(1999年1月～12月末) (p.14-16)

婦人通信 [488] (1999.07)

1369. ケアマネージャーの研修を受けて / 栗原寿美子 (p.22-23)

1370. 20世紀を生きた女たち(1)：壺井栄：作家への道(1899-1967年) / 滝いく子 (p.24-27)

1371. フィンランド女性事情 / グスタフソン・美砂子 (p.29-31)

婦人通信 [489] (1999.08)

特集：女&男の新しいカンケイ

1372. 男の家庭責任：まだまだ続く二人の模索 / 布施恵輔 (p.4-5)

1373. 男の家庭責任：育児できない男も父とは呼べないのか? / 江口凡太郎 (p.6-8)

1374. 男の家庭責任：占拠奮戦記：私の責任のとりかた / 神田高 (p.8-9)

1375. 男の家庭責任：家庭こそフェアプレー精神を / 澤田雅弘 (p.9-10)

1376. 男の家庭責任：恐妻がゆえの共同ではない / 平岡敏光 (p.11-13)

1377. 男の家庭責任：初めて夜勤をしてみよう / 本野純 (p.13-14)

1378. 20世紀を生きた女たち(2)：久布白落實(くぶしろおちみ)(1882-1972年)：廃娼をめざして / 高橋喜久江 (p.26-29)

婦人通信 [490] (1999.09)

1379. 20世紀を生きた女たち(3)：勝目テル：未来にかけた日日(1894-1984年) / 守谷武子 (p.24-27)

1380. ようこそ日本へ：国際民婦連会長 シルビー・ジャンさん (p.33)

1381. 文学に描かれた女性像：パオ・ニン『戦争の悲しみ』 / 瀬野とし (p.40-41)

婦人通信 [494] (2000.01)

1382. 東西知事告発(大阪)：横山知事のセクハラを許さない / 雪田樹理 (p.20-21)

1383. 東西知事告発(東京)：石原知事応援団の危険な動き / 丸岡玲子 (p.22-23)

1384. 二〇世紀を生きた女たち(七)：住井す系：人間に貴賤なし / 増田れい子 (p.24-27)

婦人通信 [495] (2000.02)

1385. フランス女性事情：夫婦間の暴力：マリカの場合 / 片

岡文子訳 (p.19-22)

1386. 二〇世紀を生きた女たち(八)：丸岡秀子：ひとすじの道を歩きとおして / 高林寛子 (p.28-31)

婦人通信 [497] (2000.03)

1387. 3月8日、世界女性行進いっせいスタート：平和・平等の願いをこめて：2000年世界女性行進に参加しましょう / 一番ヶ瀬康子[ほか] (p.4-7)
1388. 世界の家族農業者と連帯して：WTO会議参加記 / 高橋マス子 (p.20-22)
1389. 二〇世紀を生きた女たち(九)：市川房枝：母の嘆きを出発点に / 本尾良 (p.28-31)

婦人通信 [498] (2000.04)

1390. 世界女性行進情報：「パンとバラの行進」よびかけたカナダ・ケベックの女性たち (p.16-17)
1391. フランス女性事情：抵抗する農業女性：マリー・オデイル / 片岡文子訳 (p.20-22)
1392. 司法制度改革に大きな関心を！：市民に開かれた司法制度に / 杉井静子 (p.23-25)
1393. 二〇世紀を生きた女たち(10)：香川綾：料理を科学に / 早瀬展子 (p.26-29)

婦人通信 [499] (2000.05)

1394. 母・わたし・娘の20世紀 / 米田佐代子 (p.14-17)
1395. 世界女性行進情報：行進スタート！銀座を800人 (p.18-19)
1396. 2000年世界女性行進：私のサポートカード：“実効ある調停制度を” / 木谷憲子 (p.20)
1397. 第44回国連女性の地位委員会・特別総会に参加して / 平野恵美子 (p.21-22)
1398. 20世紀を生きた女たち(11)：富本一枝：生まれながらの芸術家 / 小林富美枝 (p.24-27)
1399. 南木佳土『破水』：文学に描かれた女性像 / 瀬野とし (p.40-41)

婦人通信 [500] (2000.06)

1400. 20世紀を生きた女たち(12)：いわさきちひろ(1919-1974)：絵筆に願いを託して / 松本由理子 (p.20-23)
1401. 紫式部『源氏物語』：文学に描かれた女性像 / 根本萌臈子 (p.40-41)

婦人之友 [93-6] (1999.05)

特集：今日の女性の課題

1402. 私と育児休業<女性と職業>50人の声：育児休業をめぐって (p.30-41)
1403. 仕事も子育ても男女が共に・労基法・均等法・育児介護休業法 / 中島通子 (p.42-45)
1404. 今日の家族像：協力し合う毎日：「趣味の家事」から「仕事の家事」へ / 細谷毅 (p.47-50)
1405. 今日の家族像：協力し合う毎日：家族で支え合いながら：市川京子さん / 市川京子 (p.51-54)
1406. 記憶の扉をひらく 個人美術館の旅 5：未完の画家たちの肖像：無言館 / 中村輝子 (p.80-86)

婦人之友 [93-7] (1999.06)

特集：今日の女性の課題

1407. 私の再就職：投書アンケート 家計を支えるために自分の可能性を試したい：実例 ライフワークに出会って：西川薫、熊木貞江、菊池トミ子 (p.30-41)
1408. パートで働くとき：パートタイム労働法の活用と改正を / 中島通子 (p.42-45)
1409. 自分らしさを生かす仕事場：誰もがくつろげる喫茶店 (p.47-49)
1410. 自分らしさを生かす仕事場：一步一步を楽しんで (p.50-51)
1411. 自分らしさを生かす仕事場：生きがいを仕事に (p.52-54)
1412. 記憶の扉をひらく 個人美術館の旅 6：孤独を幸福に変えて-三岸節子記念美術館 / 中村輝子 (p.80-86)

婦人之友 [93-8] (1999.07)

特集：今日の女性の課題

1413. 親と暮らす：嫁と姑 娘と母：50人に聞く (p.28-39)
1414. 「嫁」の法的立場 / 吉岡睦子 (p.42-45)

婦人之友 [93-9] (1999.08)

特集：今日の女性の課題

1415. 血縁がなくても家族に / 井上智子, 内田和子, 吉岡睦子 (p.30-45)

婦人之友 [93-10] (1999.09)

特集：シングルライフ：仕事といきがい

1416. 独りで生きる女の必須条件 / 神津カンナ (p.38-41)
1417. 法律の視点から：シングルの女性は不利? / 吉岡睦子 (p.42-45)
1418. 記憶の扉をひらく 個人美術館の旅(9)：内なる哀しみの行方：竹久夢二美術館 / 中村輝子 (p.80-86)

婦人之友 [94-1] (2000.01)

特集：もう一つの「豊かさ」の設計図

1419. 1万7000人の主婦の生活時間しらべ(全国友の会・1999年)：減った「家事・家族との時間」 増えた「社会・文化的時間」 / 木村列子 (p.16-21)
1420. 手記六篇：大切にしたい個人の時間、家族の絆 / 峰松道子[ほか] (p.35-38)

婦人之友 [94-2] (2000.02)

特集：もう一つの「豊かさ」の設計図

1421. それでも食卓に揃いたい / 全国友の会 (p.16-21)
1422. わたしの生活と家計簿：子どもとこづかい：小中高校生100人の家庭の報告 / 小山友の会 (p.117-123)

婦人之友 [94-6] (2000.05)

特集：女性の健康：ふたつの節目

1423. 更年期を元気に過ごすために：村崎芙蓉子氏に聞く (p.32-35)
1424. 教育の広場：家庭で身につけたい生活の力：20分×休みの日数分のお手伝い：四人きょうだいで決めた家事

- 分担 / 小倉文恵, 屋敷光世 (p.78-83)
 1425. わたしの生活と家計簿 : 子どもとおこづかい : 中学・高校生の家庭 / 小室友の会 (p.130-134)

婦人之友 [94-7] (2000.06)

特集 : 暮らしの質を高める住宅とは

1426. これからの都市集合住宅 : いつでも遊べるみんなと遊べる子育てのしやすいまち (p.42-43)
 1427. これからの都市集合住宅 : 個性豊かな住まいを知恵と力を出し合って建てたコーポラティブハウス : 14家族は仲間 (p.44-46)

別冊ジュリスト [153] (2000.03.10)

1428. 重婚の内縁関係と遺族年金の請求権 / 本沢巳代子 (p.20-21)
 1429. 重婚の内縁配偶者の遺族補償年金受給資格 : 中央労基署長(松原工業所)事件 / 増田幸弘 (p.120-121)
 1430. 保母の頸肩腕症候群と業務との因果関係 : 横浜市立保育園保母事件 / 中嶋士元也 (p.148-149)
 1431. 婚姻によらないで懐胎した児童の父による認知と児童扶養手当 / 倉田聡 (p.218-219)
 1432. ボランティアの民事責任 / 前田陽一 (p.222-223)

母子保健情報 [39] (1999.06)

特集 : 不妊・不育

1433. 生殖医療と生命倫理 : 産婦人科の立場から / 森崇英 (p.4-10)
 1434. 生殖補助医療の法的諸問題 / 石井美智子 (p.11-14)
 1435. ヒトの生殖医療の臨床応用と倫理 / 久保春海 (p.15-24)
 1436. 望ましい生殖医療を考える / 荒木重雄 (p.25-30)
 1437. 「不妊ホットライン」の実践を通して / 北村邦夫, 杉村由香里, 鈴木良子 (p.31-34)
 1438. 不妊状態の女性の心理とその対応 : ピア(仲間)として電話相談に係わる中で / 赤城恵子 (p.35-40)
 1439. 不妊症の原因と検査, 治療 / 吉村泰典 (p.41-46)
 1440. 男性不妊の原因と治療 / 伊藤晴夫 (p.47-50)
 1441. 不育症(習慣流産など)とは : 検査と治療, サポート / 杉俊隆, 牧野恒久 (p.56-58)
 1442. 内分泌攪乱物質と生殖機能 / 堤治 (p.59-64)
 1443. 情報資料 生殖補助医療技術についての意識調査結果概要(平成11年5月6日) / 厚生省児童家庭局母子保健課 (p.65-70)
 1444. 母子保健等の機会を活用して配布される「家庭教育手帳」 / 文部省生涯学習局男女共同参画学習課家庭教育支室 (p.88-91)
 1445. ダイオキシン類と母乳 / 多田裕 (p.92-96)
 1446. 初の「全国子育てマップ」作成 / 山本真実 (p.97-101)
 1447. 厚生省発行『子どもの虐待対応の手引き』 / 才村純 (p.102-107)

立法と調査 [215] (2000.01)

特集 : 女性の地位

1448. 男女共同参画社会の形成に向けて : 基本法制定と男女共同参画会議の設置 / 横関洋一 (p.36-40)
 1449. 政治と行政における女性の地位 / 皆川健一 (p.41-46)

1450. 農村女性をめぐる問題 / 西村尚敏 (p.47-50)
 1451. 「女性に対する暴力」への法的対応 / 青木勢津子 (p.51-56)
 1452. 国民年金第3号被保険者問題 / 佐藤研資 (p.57-62)

歴史評論 [600] (2000.04)

1453. 生殖と女性史 : 生殖と古代社会 / 西野悠紀子 (p.2-14)
 1454. 生殖と女性史 : 中世社会における性と愛と出産 : 産む「性」と産まざる「性」の位置付け / 飯沼賢司 (p.15-26)
 1455. 生殖と女性史 : 近世の妊娠出産言説 / 桜井由幾 (p.27-38,66)
 1456. 生殖と女性史 : 明治期の生殖をめぐる国家政策 / 石崎昇子 (p.39-53)
 1457. 生殖と女性史 : 優生保護法から母体保護法へ / 浅野富美枝 (p.54-66)
 1458. アメリカ女性史学界的動向 / 寺澤由紀 (p.67-75)

れんごう政策資料 [122] (2000.03.31)

1459. 改正均等法施行に関する調査報告書 (p.1-126)

れんごう政策資料 [123] (2000.04)

1460. 短組における女性の労働組合活動への参画に関する調査報告書(1999年調査) (p.1-193)

労政時報 [3439] (2000.04.07)

1461. 育児休業制度の最新実態 : 賃金・賞与の取り扱いから短時間勤務制度、育児時間まで (p.2-10)

特集 : 育児休業制度の最新実態

1462. <会社別一覧> 育児休業・短時間勤務制度の実施内容 (p.11-20)
 1463. 協定・規定ファイル : 育児休業・育児短時間勤務等規定 (p.21-25)
 1464. 本音でTALK : 我が社の育児休業事情 (p.26-29)

fct GAZETTE [19-68] (1999.07)

1465. メディア・リテラシーの国カナダを訪ねて / 西村寿子 (p.4-6)
 1466. 対話の「ひろば」として機能していたMnet : Media Awareness Networkを訪ねて / 篠塚公 (p.7-8)
 1467. 「子どもとインターネット」に取り組むオーストラリアのNPO : Young Media Australia の活動から (p.9)
 1468. テレビ・コマーシャルを読む : 第3回テモプロジェクト「CMを読み解く」報告その2 / 新開清子 (p.10-13)

fct GAZETTE [19-70] (2000.03)

特集 : メディア・リテラシーをめぐる

1469. 市民とメディアの交流フォーラム「メディア・リテラシーを考える」開催 : メディア総合研究所 / FCT共催「第3回全国視聴者交流会」 / 鈴木みどり (p.3-8)
 1470. 変わる市民とメディアの関係 / 川本祐司 (p.9-11)
 1471. 高校生によるCM制作実践報告 : 受け取るだけじゃもの足りない / 青谷有美子 (p.12-13)
 1472. 「教育TODAY : メディア・リテラシー教育」を読み解く / 西村寿子 (p.14-15)
 1473. FCT2000年活動計画 : ML研修と国際シンポジウムを

中心に (p.16-17)

1474. サミット2000、カナダ・トロントで開催を予定 (p.19)

Women & work [128] (1999.06)

特集：男女雇用機会均等法改正に伴う動きについて

1475. 平成11年度働く女性のための施策について / 労働省女性局 (p.3-9)
1476. 第14回男女雇用機会均等月間(6月)：均等法がバージョンアップしました：女性がその能力を十分発揮できる職場づくりを / 労働省女性局女性政策課 (p.10-11)
1477. 均等推進企業表彰について / 労働省女性局女性政策課 (p.12-13)
1478. 男女雇用機会均等法改正に伴う動きについて / 労働省女性局女性政策課 (p.14-19)
1479. ポジティブ・アクションを始めましょう / 労働省女性局女性政策課 (p.20-21)
1480. 「ファミリー・フレンドリー」企業をめざして：「家庭にやさしい企業」(仮称)研究会報告書 / 労働省女性局女性福祉課 (p.22-25)
1481. 職業訓練に女性の視点を / 田口晶子 (p.27-29)
1482. 両立支援事業各種助成金の解説(1)：事業所内託児施設助成金 / 労働省女性局女性福祉課 (p.38-39)
1483. 「対等なパートナー社会」をめざして：岡山の女性たちと改正男女雇用機会均等法 / 三宅綾子 (p.40-41)
1484. 施設だより：「平和で豊かな男女平等社会の実現のために」：東京ウィメンズプラザ / 東京女性財団 (p.42-43)

Women & work [129] (1999.09)

特集：在宅ワークをめぐる

1485. 在宅就労問題研究会中間報告について / 労働省女性局女性労働課 (p.12-13)
1486. 経済不況下の在宅ワーカーの動向：99年FWORK就業実態調査結果より：在宅ワーク<私の場合> / 神谷隆之、後藤明日香、川田幸子 (p.14-17)
1487. 企業から：イコール・パートナーシップの実現に向けて：セクシュアル・ハラスメント、相談体制を視野に入れて / 春木節子 (p.18-19)
1488. 改正均等法施行直前の女性雇用管理の状況：女性の管理職への登用はおおむね横ばい：総合職を「男女とも採用」した企業は4割を超える：「平成10年度女性雇用管理基本調査」結果概要 / 労働省女性局女性政策課 (p.20-23)
1489. 「少子化に関する世論調査」(総理府)について / 労働省女性局女性福祉課 (p.24-26)
1490. 男女共同参画社会基本法について / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.27-30)
1491. 労働者派遣法の改正について / 労働省職業安定局民間需給調整事業室 (p.31-33)
1492. 第九次雇用対策基本計画について：今後の労働市場・働き方の展望と対策の方向 / 労働省職業安定局雇用政策課 (p.34-35)
1493. 少子化への対応をめぐる動きについて / 労働省女性局女性福祉課 (p.36-37)

1494. 施設だより：男女協働社会の実現をめざすドーンセンター / 大阪府男女協働社会づくり財団 (p.38-39)

1495. 仕事と家庭の両立支援のための各種助成金の解説(2)：育児・介護費用助成金 / 労働省女性局女性福祉課, 40-41)

1496. 福岡県における女性労働 / 白石二六代 (p.46-47)

Women & work [130] (1999.12)

特集：少子化時代の家族や企業の在り方を考える

1497. 「ファミリー・フレンドリー」企業表彰について / 労働省女性局女性福祉課 (p.17-20)
1498. 海外における「ファミリー・フレンドリー」企業：米国の例 (p.21-22)

1499. 平成11年度大学等卒業予定者就職内定状況等調査(平成11年10月1日現在) / 労働省職業安定局業務調整課 (p.23-25)

1500. 企業から：マツダ株式会社の女性活用 / 青木一郎 (p.26-29)

1501. 「女性と仕事の未来館」がオープンします / 労働省女性局女性政策課 (p.30-35)

1502. 女性2000年会議準備会合：ESCAPハイレベル政府間会合：北京行動綱領のフォローアップにおけるILOアジア地域会議 / 労働省女性局女性政策課 (p.36-41)

1503. 施設だより：北九州市立女性センター“ムーブ”：男女共同参画社会の実現をめざす活動と情報の拠点 (p.41-43)

1504. 仕事と家庭の両立支援のための各種助成金の解説(3)：育児・介護休業者職場復帰プログラム実施奨励金 (p.44-45)

1505. “試される大地”北海道：女性雇用の実情 / 安保和子 (p.46-47)

Women & work [131] (2000.03)

1506. 開館しました!「女性と仕事の未来館」：開館記念式典・開館記念事業から / 女性労働協会 (p.3-21)

1507. 平成11年版 働く女性の実情 / 労働省女性局女性労働課 (p.22-31)

1508. 企業から：武田薬品工業株式会社の女性活用 / 古賀幹男 (p.32-35)

1509. 女性少年室は労働局雇用均等室に変わります / 労働省女性局庶務課 (p.36-37)

1510. 「少子化対策推進基本方針」及び「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について(新エンゼルプラン)」について / 労働省女性局女性福祉課 (p.38-43)

1511. 平成12年度労働省女性局予算(案)の概要 / 労働省女性局庶務課 (p.44-45)

1512. 平成12年「女性週間」の実施について / 労働省女性局女性政策課 (p.46)

1513. 仕事と家庭の両立支援のための各種助成金の解説(4)：育児・介護雇用環境整備助成金(育児・介護雇用安定助成金) / 労働省女性局女性福祉課 (p.47)

1514. 「ファミリー・フレンドリー」企業とは (p.48)

Women & work [132] (2000.06)

特集：21世紀へそれぞれの挑戦

1515. 均等法を活かし女性とその能力を十分発揮できる職場作りを / 労働省女性局女性政策課 (p.13-15)
1516. 均等推進企業表彰について / 労働省女性局女性政策課 (p.15-17)
1517. 女性とその能力を十分に発揮できる職場づくりに取り組む：企業のポジティブ・アクション取組事例紹介 / 労働省女性局女性政策課 (p.17-20)
1518. 職場におけるセクシュアルハラスメントに関する相談の状況等について / 労働省女性局女性政策課 (p.21-23)
1519. 海外情報：EUにおける男女均等法制と女性政策(1)：EUの新たなジェンダー・クオリティ・プログラム(2001-2005) / 濱口桂一郎 (p.24-27)
1520. 企業から：未来工業株式会社の女性活用 / 渋谷雅之 (p.28-31)
1521. パートタイム労働に係る雇用管理研究会報告 / 労働省女性局女性労働課 (p.33-38)
1522. 施設だより：女性や消費者の権利を守る運動の拠点：主婦会館プラザエフ (p.41-42)
1523. 仕事と家庭の両立支援のための各種助成金の解説(5)：育児休業代替要員確保等助成金：平成12年4月から新しくスタートする助成金です / 労働省女性局女性福祉課 (p.43-44)
1524. 宮城の女性労働：今日まで、そして明日から / 白兼俊貴 (p.45-46)

テーマ展示図書案内

婦人教育情報センターでは、「男女共同参画社会の形成をめざした「学び」と「活動」」を平成12年度の総合テーマとして、会館が所蔵している資料の紹介と、女性問題に対する課題解決に資するためにテーマ展示を実施しています。今回は2000年4月～9月の資料リストをご紹介します。

4～6月

- テーマ
「子どもへの虐待のない社会に」
- ねらい
なぜ、親が子を虐待するのか。虐待する親が生まれる社会的背景を探るとともに、虐待から子どもたちを守るためには何が必要か、その社会的支援策とは何かについて考えました。

7～9月

- テーマ
「21世紀に向けての男女平等・開発・平和」
- ねらい
1975年メキシコシティでの国際婦人年世界会議からコペンハーゲン、ナイロビ、北京における4回の世界女性会議を通して女性の地位向上への国連の取り組みと、6月の「女性2000年会議」までの21世紀の男女共同参画社会へ向けた日本国内の取り組みについて考えました。

なお、

- 10～12月 ● テーマ「セクシュアリティをめぐる現在」
2001年1～3月 ● テーマ「政策決定の場における男女共同参画」を予定しています。

凡 例

No. 書名：副書名 / 編著者

出版社（出版年）請求記号

「児童虐待」
(平成12年4月～6月)

1. アダルト・チルドレンと家族：心のなかの子どもを癒す / 斎藤学著
学陽書房 (1996) 367.3/A16
2. あなたが守るあなたの心・あなたのからだ / 森田ゆり作, 平野恵理子絵
童話館出版 (1997) 367.6/A46
3. あなたにもキャッチできる! 児童虐待のSOS (新企画サイエンスシリーズ; 2) / 徳永雅子著
新企画出版社 (1999) 369.4/A46
4. インナーチャイルドの癒し：子どもを愛せない親たち / 黒川昭登, 上田三枝子著
朱鷺書房 (1997) 146.8/I54
5. 隠された痛み：幼児期の虐待のいやしを求めて / リッチ・ビューラー著; 長谷川詠子訳
いのちのことば社 (1995) 190/Ka28
6. 家族・暴力・虐待の構図 / 日本弁護士連合会子どもの権利委員会, 日本弁護士連合会両性の平等に関する委員会編
読売新聞社 (1998) 367.3/Ka99
7. 虐待 (子どものためのソーシャルワーク1) / 川崎二三彦著
明石書店 (1999) 369.4/G99
8. 虐待：沈黙を破った母親たち / 保坂渉著
岩波書店 (1999) 369.4/G99
9. 虐待を受けた子どもの治療戦略：被害者からサバイバーへ / シェリル L.カープ, トレイシー L.バトラー著; 坂井聖二, 西沢哲訳
明石書店 (1999) 146.8/G99
10. 虐待される子どもたち / E.クレイ・ジョーゲンセン著; 門眞一郎[ほか]訳
星和書店 (1996) 369.4/G99
11. 虐待で傷ついたこころのための本 / 椎名篤子著
大和書房 (1998) 369.4/G99
12. 厚生科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (平成10年度 第3/6 第5/6) / 厚生省
[厚生省] (1999) 493.9/Ko83
13. 厚生省心身障害研究効果的な親子のメンタルケアに関する研究研究報告書 (平成8年度) / 「効果的な親子のメンタルケアに関する研究」研究班
「効果的な親子のメンタルケアに関する研究」研究班 (1997) 493.7/Ko41
14. 凍りついた瞳(め)が見つめるもの：被虐待児からのメッセージ：YOU特別編集 / 椎名篤子編
集英社 (1995) 369.4/Ko79
15. 子ども虐待(いじめ)の防止力を育てる：子どもの権利とエンパワメント / 女性ライフサイクル研究所編
法政出版 (1997) 367.6/Ko21
16. 子どもへの虐待：その予防と救済のための提言 (関東弁護士会連合会シンポジウム：1998年度) / 関東弁護士会連合会編
関東弁護士会連合会 (1998) 369.4/Ko21
17. 子ども虐待：アメリカの教訓 / 砂金玲子著
日本放送出版協会 (1995) 369.4/Ko21
18. 子ども虐待：その発見と初期対応 / 母子衛生研究会編
母子保健事業団 (1997) 369.4/Ko21
19. 子ども虐待と性教育 / 浅井春夫著
大修館書店 (1995) 369.4/Ko21
20. 子どもと暴力：子どもたちと語るために / 森田ゆり著
岩波書店 (1999) 367.6/Ko21
21. 子どもの虐待防止センター報告書 / 子どもの虐待防止センター報告書編集委員会編
子どもの虐待防止センター事務局 (1993) 369.4/Ko21
22. 子どもの虐待：その権利が侵されるとき (岩波ブックレット：No.385) / 森田ゆり[著]
岩波書店 (1995) 369.4/Ko21
23. 子どもの虐待をなくすために：親になるための学校テキスト/オーストラリア / ジル・ウィルソン [著]; 松村京子訳
東信堂 (1998) 369.4/Ko21
24. 子どもの虐待防止・法的実務マニュアル / 日本弁護士連合会子どもの権利委員会編
明石書店 (1998) 369.4/Ko21
25. 子どもの性的虐待サバイバー：癒しのためのカウンセリング技法 / クレア・バーク・ドラッカー著; 北山秋雄, 石井絵里子訳
現代書館 (1997) 367.9/Ko21
26. 叱ってばかりの私：子どもはかわいい。でも... / プチタンファン編集部編
婦人生活社 (1999) 599/Sh33
27. 静かなたたかい：広岡知彦と「憩いの家」の三〇年 / 青少年と共に歩む会編

- 青少年と共に歩む会 (1997) 369.4/Sh94
28. 児童虐待 (危機介入編, 臨床編) / 斎藤学編
金剛出版 (1994, 1998) 369.4/J48
29. 児童虐待への介入: その制度と法 (増補版) / 吉田恒雄編
向学社 (1999) 369.4/J48
30. 児童虐待とその対策: 実態調査を踏まえて / 萩原玉味, 岩井宜子編著
多賀出版 (1998) 369.4/J48
31. 児童虐待の家族と社会: 児童問題にみる20世紀 / 井垣章二著
ミネルヴァ書房 (1998) 369.4/J48
32. 児童虐待の社会学 / 上野加代子著
世界思想社 (1996) 369.4/J46
33. 児童虐待防止ハンドブック / David N. Jones[編著]; John Pickett[ほか]著; 鈴木敦子[ほか]訳
医学書院 (1995) 369.4/J48
34. 児童虐待ものがたり: 法的アプローチ (ものがたりシリーズ 弁護実務研究会編) / 弁護実務研究会編集
大蔵省印刷局 (1997) 369.4/J48
35. 心的外傷と回復 / ジュディス・L・ハーマン [著]; 中井久夫訳
みすず書房 (1996) 146.8/Sh69
36. セクシャルアビューズ: 家族に壊される子どもたち / 山口遼子著
朝日新聞社 (1999) 369.4/Se45
37. 解き放たれる魂: 性虐待の後遺症を生きぬいて: 子供時代の呪縛からの解放 / 穂積純著
高文研 (1999) 368.6/To31
38. 毒になる親 / スーザン・フォワード著; 玉置悟訳
毎日新聞社 (1999) 369.4/D83
39. ママにもいえなかった... / ミカエル ルンドグレン文; ウルフ グスタフソン絵; きたざわ きょうこ, はまこペーション訳
アーニ出版 (1995) 367.9/Ma41
40. 見えなかった死: 子ども虐待データブック / 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち編
キャプナ出版 (1998) 369.4/Mi15
41. 楽園を追われた子どもたち / カロリーヌ・エリアシェフ [著]; 久松健一監訳; 玄間理恵 [ほか] 訳
新評論 (1998) 369.4/R12
42. わが子を愛するレッスン: 「傷ついた子ども」だった両親へ / マーガレット・ラインホルド著; 朝長梨枝子
訳
朝日新聞社 (1995) 146.8/W14
43. わが子をいじめてしまう母親たち: 育児ストレスからキレるとき / 武田京子著
ミネルヴァ書房 (1998) 369.4/W14
44. The abuse of women within childcare work / Kieran O'Hagan and Karola Dillenburger
Open University Press (1995) 369.4/A14
45. The APSAC handbook on child maltreatment / editors, John Briere ... [et al.]
Sage Publications (1996) 369.4/A59
46. The hostage child: sex abuse allegations in custody disputes / Leora N. Rosen, Michelle Etlin
Indiana University Press (1996) 367.6/H91
47. The politics of child abuse in America / Lela B. Costin, Howard Jacob Karger, David Stoesz
Oxford University Press (1996) 367.6/P76
48. Spectral evidence: the Ramona case: incest memory and truth on trial in Napa Valley / Moira Johnston,
Boulder
Westview Press (1998) 368.6/Sp3
49. Unspeakable acts: why men sexually abuse children / Douglas W. Pryor
New York University Press (1996) 367.9/U77

「21世紀に向けての男女平等・開発・平和」
(平成12年7月～9月)

1. Open sesame! ひらけごま：イラストでよむ北京世界会議「行動綱領」/ プラウ・プロジェクト制作
プラウ・プロジェクト (1997) 367.2/O69
2. 第4回世界女性会議及び関連事業等報告書 / 総理府男女共同参画室
総理府男女共同参画室 (1996) 367.1/D28
3. 男女共同参画社会の実現を目指して：男女共同参画社会基本法のあらまし / 総理府男女共同参画室
総理府男女共同参画室 (1999) 367.1/D28
4. 男女共同参画2000年プラン：男女共同参画社会の形成の促進に関する平成12年(西暦2000年)度までの国内行動計画 / 男女共同参画推進本部
男女共同参画推進本部 (1996) 367.1/D37
5. 男女共同参画ビジョン：21世紀の新たな価値の創造 / 男女共同参画審議会
男女共同参画審議会 (1996) 367.1/D37
6. 元気になる!! 女の本：北京世界女性会議からあなたへ / Human Rights of Womenの会著
日本評論社 (1996) 367.2/G34
7. 国際婦人年世界会議報告 / 国連局社会課
国連局社会課 (1975) 367.1/Ko51
8. 行動する女たちが拓いた道：メキシコからニューヨークへ / 行動する会記録集編集委員会編
未来社 (1999) 367.21/Ko21
9. 国際婦人年(昭和50年)及び「国連婦人の十年」(昭和51年～60年)の記録 / 総理府
総理府 (1986) 367.1/Ko51
10. 国際婦人年参考資料集 / 労働省婦人少年局
労働省婦人少年局 (1975) 367.2/Ko51
11. 国際婦人年世界会議報告：世界行動計画及び宣言 / 外務省国際連合局編
大蔵省印刷局 (1977) 367.1/Ko51
12. 国際婦人年をめぐって(業務参考資料：75) / 労働省婦人少年局労働省婦人少年局
労働省 (1977) 367.2/Ko51
13. 国際連合と女性の地位向上 1945-1996(国際連合ブルーブック・シリーズ：第6巻) / 国際女性の地位協会
国際女性の地位協会 (1998) 367.1/Ko51
14. 国内行動計画 / 婦人問題企画推進本部
婦人問題企画推進本部 (1980) 367.1/Ko48
15. 国連の女性問題への取り組みと日本：国連デー講演会 / 国連広報センター
国連広報センター (1993) 367.21/Ko49
16. 国連婦人の10年世界会議：国連婦人の10年後半期行動プログラム / 内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室)編
内閣総理大臣官房審議室 (1981) 367.1/Ko49
17. 「国連婦人の十年」ナイロビ世界会議及び関連事業等報告書 / 内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室)編
内閣総理大臣官房審議室 (1986) 367.1/Ko49
18. 国連婦人の十年ナイロビ会議：フォーラム'85 / 国際婦人教育振興会 (1985) 367.1/こ2
19. 国連婦人の十年1980年世界会議派遣議員団報告書 (1981) 367.1/Ko49
20. 国連婦人の十年世界会議と女子差別撤廃条約 / 山下泰子著 (1986) 367/Ko49
21. 国連婦人の十年世界会議のためのエスカップ地域政府間準備会議及び関連事業等報告書 / 内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室)編
内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室) (1984) 367.1/Ko49
22. 国連婦人の十年中間年全国会議録 / 内閣総理大臣官房(婦人問題担当室)
内閣総理大臣官房(婦人問題担当室) (1980) 367.1/Ko49
23. 「国連婦人の一〇年」に向けて：一九七〇年代後期(資料集成現代日本女性の主体形成：7) / 千野陽一編集・解説
ドメス出版 (1996) 367/Sh99
24. 「国連婦人の十年」の歩み：国内行動計画に沿って / 日本広報協会編
日本広報協会 (1985) 367.1/Ko49
25. ここが知りたい!!そこが聞きたい!!男女共同参画社会基本法 / 船橋邦子著
ウィメンズブックストア松香堂書店 (1999) 367.1/D37
26. 女性がつくる21世紀：私たちの北京「行動綱領」 / 清水澄子、北沢洋子共著
女性政策研究所 (1996) 367.2/J76
27. 女性の権利：ハンドブック女性差別撤廃条約 / 国際女性の地位協会編
岩波書店 (1999) 367.2/J76
28. 女性の地位向上のための戦略 1985年～2000年：ナイロビ世界婦人会議 / 国際連合広報センター

- 国際連合広報センター (1987) 367/J76
29. 西暦2000年に向けて平等・発展・平和の一層の推進のために：会議の概要 / 内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室)
内閣総理大臣官房審議室(婦人問題担当室) (1986) 367.1/Se19
30. 西暦2000年に向けての新国内行動計画：男女共同参加型社会の形成を目指す / 婦人問題企画推進本部
婦人問題企画推進本部 (1987) 367.1/Se19
31. 西暦2000年に向けての新国内行動計画(第1次改定)：男女共同参加型社会の形成を目指す / 婦人問題企画推進本部
婦人問題企画推進本部 (1991) 367.1/Se19
32. 西暦2000年に向けての婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略の実施に関する第1回見直しと評価に伴う勧告及び結論(仮訳)
内閣総理大臣官房内政審議室婦人問題担当室 (1990) 367.1/Se19
33. 世界行動計画：1975年7月1日国際婦人年世界会議において採択 / 外務省国際連合同, 労働省婦人少年局
外務省国際連合同, 労働省婦人少年局 (1975) 367.1/Se22
34. 第4回世界女性会議に向けての日本国政府ナショナル・レポート / 総理府男女共同参画室編
大蔵省印刷局 (1994) 367.1/D28
35. 地球規模の男女平等：ナイロビから21世紀へ / 岩波書店編集部編
岩波書店 (1985) 367.2/C71
36. ナイロビから北京へ：10年の歩み(昭和61年度～平成7年度) / 総理府
総理府 (1996) 367.1/N28
37. ナイロビ戦略と女性の未来(資料国際婦人年：2) / 国際婦人年大阪の会
創元社 (1989) 367.1/コ25
38. 北京JACからの提言：第4回国連世界女性会議で採択された「北京行動綱領」の実現に向けて / 北京JACワーキンググループ1[編]
北京JACワーキンググループ (1995) 367.21/P36
39. '95 北京～東京 NGO日本女性大会の軌跡 / 国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会
国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会 (1996) 367.21/P37
40. 北京から日本へ：女性たちのエンパワーメント / 北京JAC[編]
北京JAC (1996) 367.2/P36
41. 北京世界女性会議：行動綱領草案対訳 / 北京世界女性会議に提言する会仮訳
北京世界女性会議に提言する会 (1995) 367.2/P36
42. 北京で燃えた女たち：世界女性会議'95 / 松井やより [著] 岩波書店 (1996) 367.2/P37
43. 北京につどう：95年国連世界女性会議に向けて / 久保田真苗, 大脇雅子[著]
日本社会党機関紙局 (1994) 367.2/P36
44. 北京発、日本の女たちへ：世界女性会議をどう生かすか / アジア女性資料センター編
明石書店 (1997) 367.2/P36
45. Achievements of the United Nations Decade for Women in Asia and the Pacific / United Nations, Economic and Social Commission for Asia and the Pacific
United Nations, Economic and Social Commission for Asia and the Pacific (1987) 367/A15
46. The Beijing declaration and the platform for action : Fourth World Conference on Women, Beijing, China, 4-15 September 1995 / Department of Public Information
United Nations (1996) 367.1/B32
47. FORUM '85 : NGO Planning Committee : Final report : Nairobi, Kenya / International Women's Tribune Centre
International Women's Tribune Centre (1985) 367.1/I57
48. From Nairobi to Beijing : second review and appraisal of the implementation of the Nairobi forward-looking strategies for the advancement of women / report of the Secretary General
United Nations (1995) 367.1/P/G215
49. Making women matter : the role of the United Nations / Hilikka Pietilä Jeanne Vickers ; foreword by Gertrude Mongella
Zed Books Ltd (1994) 367.2/Ma35
50. Meeting in Mexico / United Nations
United Nations (1975) 367.1/W88
51. The Nairobi Forward-looking Strategies for the Advancement of Women : as adopted by the World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women : Equality, Development and Peace, Nairobi, Kenya, 15-26 July 1985 / United Nations
United Nations (1986) 367.1/U75
52. National plan of action / Headquarters for the Planning and Promoting of Policies Relating to Women
Headquarters for the Planning and Promoting of Policies Relating to Women (1977) 367.1/N57

53. National report submitted by Japan : world conference of the United Nations decade for women / Government of Japan
Government of Japan (1980) 367.1/Y88
54. National report of Japan for economic and social commission for Asia and pacific / Government of Japan
Government of Japan (1984) 367.1/J24
55. NGO Forum on Women : look at the world through women's eyes : program book (1995) 367.1/G253
56. NGO Forum on Women : look at the world through women's eyes : schedule of activities (1995) 367.1/G253
57. Plan for gender equality 2000 : the national plan of action for promotion of a gender-equal society by the year 2000 / Headquarters for the Promoting of gender equality Japan
Headquarters for the Promoting of gender equality Japan (1996) 367.1/P71
58. Provisional list of delegations to the Fourth World Conference on Women : protocol and liaison service / EOSG
United Nations (1995) 367.1/P/G1789
59. Report of the world conference of the international women's year / United Nations
United Nations (1979) 367.1/W88
60. Report of the world conference of the of the United Nations decade for women : equality, development and peace / United Nations
United Nations (1982) 367.1/W88
61. Report of the World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women : Equality, Development and Peace, Nairobi, 15-26 July 1985 / United Nations
United Nations (1986) 367.1/W88
62. The state of the world's women 1985 / United Nations
New international publications (1985) 367/U75
63. The U.N. decade for women : documents and dialogue / Arvonne S. Fraser
Westview Press (1987) 367.1/U75
64. The United Nations and the advancement of women, 1945-1996(The United Nations blue books series : v. 6) / Department of Public Information, United Nations
(1996) 367.2/U75/R
65. The United Nations Decade for Women and the women of Japan / Prime Minister's Office
(1985) 367.1/J24
66. United Nations Decade for Women World Conference / Naomi B.Lynn
Haworth Press (1984) 367.1/L99
67. Vision of gender equality : creating new values for the 21st century / Council for gender equality
Council for gender equality (1996) 367.1/V82
68. What dose the United Nations mean to women? / Hilikka Pietil ä
United Nations Non-Government Liaison Service (1987)
367.1/W65
69. Women : challenges to the year 2000 / United Nations
United Nations (1991) 367/W85
70. Women, politics, and the United Nations / Anne Winslow
Greenwood Press (1995) 367.2/W85
71. World conference of the United Nations of the United Nations decade for women : equality, development and peace, list of participants / United Nations
United Nations (1982) 367.1/W88/R
- <雑誌特集号>
1. あごら12号：特集・世界婦人会議
BOC出版部 (1975.10)
 2. あごら13号：特集・国際婦人年を考える
BOC出版部 (1976.1)
 3. あごら23号：特集・女たちはいま変わる (コペンハーゲン会議と女性差別撤廃条約)
BOC出版部 (1980.12)
 4. あごら104号：特集・ナイロビが語りかけるもの
BOC出版部 (1985.12)
 5. あごら211号：特集・記録/北京会議：速報・私たちの旅
BOC出版部 (1995.10)
 6. えがりて14号：特集・「国連婦人の10年」1980年世界会議
総理府・婦人問題担当室 (1980.10)
 7. えがりて44号：特集・「国連婦人の10年」ナイロビ世界会議
総理府・婦人問題担当室 (1985.10)
 8. えがりて104号：(第4回世界女性会議)
総理府・男女共同参画室 (1995.11)

新着図書案内

当会館婦人教育情報センターに平成12年4～8月に受贈された資料の中から、一般には入手しにくく、女性問題学習に参考になると思われる資料をご紹介します。

1. 「産む側2200人が語るお産って何だろう：ぐるーぶ・きりんのアンケート報告」(改訂)阿部真理子(2000.6)
2. 「おとうさんのおおきなポケット」和歌山県女性センターりいぶる(2000.3)
3. 「男と女のメディアリテラシー事業報告書：平成11年度文部省委嘱事業「青年男女の共同参画セミナー」男と女のメディアリテラシー事業実行委員会(2000.2)
4. 「各家族世帯における家計の現状」生命保険文化センター(2000.3)
5. 「家計と子育てで費用調査(第6回)」野村證券株式会社(1999.12)
6. 「家庭や地域の教育力を高める社会教育の推進：学校・家庭・地域社会の連携を通して：審議報告」兵庫県社会教育委員の会議(2000.3)
7. 「京都国際専門家会議及び公開フォーラム報告書」女性のためのアジア平和国民基金(2000.3)
8. 「「健康」と「ジェンダー」お茶の水女子大学ジェンダー研究センター(2000.3)
9. 「ゲンダイ親子関係とお金「親編」：独身社会人の子どもを持つ父親・母親500名に聞く」UCカード(2000.3)
10. 「高校生の描く21世紀像(モノグラフ・高校生Vol.59)」ベネッセ教育研究所(2000.6)
11. 「厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書(平成11年度)」厚生省(2000)
12. 「国立大学における男女共同参画を推進するために」国立大学協会(2000.6)
13. 「子育て昔と今、そしてこれから(家庭教育研究第3回白書)」幼児開発協会(1999.11)
14. 「子ども看護休暇に関する調査報告書」連合総合男女平等局(2000.5)
15. 「こどもジェンダー探偵団」和歌山県女性政策課(2000)
16. 「子どもの生きる力を育む地域活動に関する調査研究(平成11年度調査研究報告書)」秋田県生涯学習センター(2000.3)
17. 「子守唄とジェンダー」會本希世子(2000.3)
18. 「雇用均等政策研究会報告書：変革期における企業の人材活用と個人の働き方の調和を目指して」雇用均等政策研究会(2000.2)
19. 「在宅就労問題研究会報告」在宅就労問題研究会(2000.3)
20. 「埼玉県男女共同参画推進条例-考え方-：「あなたらしさ」を發揮して」埼玉県総務部女性政策課(2000)
21. 「ジェンダー・ノート：女と男のなぜとなに」花書院(2000.4)
22. 「ジェンダーの視点から地域を越えて「なんぞかんぞ」語り合う：男女共生社会への道しるべ：事業報告書」しあわせづくり実行委員会(2000.3)
23. 「ジェンダーの視点に立った若もののライフスタイルの変容を促す学習に関する研究」天野正子(2000.3)
24. 「ジェンダーフリーの表現ガイドライン：それって当然？：気付き編」川西市女性施策推進会議幹事会議(川西市生活・人権部人権推進室)(2000.3)
25. 「事業報告書：ストップ「女性への暴力」：「性暴力を防ぐためのエンパワーメント事業」実行委員会(2000.3)
26. 「自己開発セミナー」国際婦人教育振興会埼玉支部(2000.2)
27. 「時代が変わる社会が変わる男女(わたし)も変わる(あすばるブックレット)」福岡県女性財団(2000.3)
28. 「社会教育指導者のエンパワーメントに向けて：『男女共同参画社会に向けた学習ガイド』実践編」日本女子社会教育会(2000.3)
29. 「社会の変化に対応する保育所・幼稚園の今後のあり方に関する調査研究報告書：園・所における子育て支援事業の実践について」三重県乳幼児教育センター(2000.3)
30. 「少子化社会が提起する諸課題：国際高齢者年にちなんで：日本家政学会4部会合同セミナー報告」日本家政学会4部会合同セミナー運営委員会(2000.3)
31. 「少子化対策に関する意識・実態調査報告書」北九州市保健福祉局総務部計画課(2000.3)
32. 「少子化と教育について：報告」中央教育審議会(2000.4)
33. 「女性関連施設に関する総合調査：男女共同参画時代の女性センター」全国婦人会館協議会(2000.3)
34. 「女性政策・女性センターを考える：男女共同参画社会基本法を受けて」東京女性財団(2000.3)
35. 「女性農業者の地位向上に関する実態調査」農村生活総合研究センター(2000.4)
36. 「「女性への暴力(ドメスティック・バイオレンス)」調査報告書」静岡県弁護士会(2000.3)
37. 「シンポジウム「アートとジェンダー～女性の視点で読み直す」記録集」ふくおか女性まつり'99実行委員会(2000.3)
38. 「新・レポート不妊：不妊治療の実態と生殖技術についての意識調査報告」フィンレージの会(2000.3)
39. 「図説小中学生は今：変わる家族環境の中で」日本女子社会教育会(2000.3)
40. 「生活環境のなかのボルノグラフィー」甲南女子大学大

- 学院ジェンダー研究グループ(2000.5)
41. 「セクシュアル・ハラスメント（生駒市女性問題啓発ハンドブック）」生駒市教育委員会(2000.3)
 42. 「セクシュアル・ハラスメントの防止に向けて」札幌市(2000.3)
 43. 「セクハラから考える男女雇用均等」東京都新宿労政事務所(2000.3)
 44. 「1999年度市民グループ調査研究支援事業報告書」福岡市女性協会(2000.3)
 45. 「総合職女性の就業実態調査結果概要」21世紀職業財団(2000.6)
 46. 「ソーレへの階段：「女性センターを育てる会」活動記録」女性センターを育てる会(2000.1)
 47. 「男女間における暴力に関する調査」総理府内閣総理大臣官房男女共同参画室(2000.2)
 48. 「男女共同参画社会に関する世論調査(平成12年2月調査)」総理府内閣総理大臣官房広報室(2000)
 49. 「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理：21世紀の最重要課題」内閣総理大臣官房男女共同参画室(2000.5)
 50. 「男女共同参画社会をめざす情報活動ハンドブック(改訂版)(イープンハンドブック v.18)」兵庫県立女性センター(イープン)(2000.3)
 51. 「男女共同参画社会をめざす：TAKAMATSU REPORT」高松市女性センター(2000.3)
 52. 「男女共同参画の視点に立った生涯学習をめざして：公民館のための新たな学習プログラムの開発」山口県教育庁社会教育課(2000.3)
 53. 「男女共同参画の視点に立ったよりよい相談のために」あいち女性総合センター情報相談課(2000.3)
 54. 「「男女混合名簿」のとりくみについて(2000年3月)」日教組女性部(2000.3)
 55. 「男女平等教育副読本の手引：教職員用」宮城県柴田町(2000.3)
 56. 「ちょっと待って!その表現：男女共同参画の意識づくりのために」行政刊行物の表現の検討会(豊橋市)(2000.3)
 57. 「東京ウィメンズプラザ所蔵資料目録：女性情報ガイドV(インターネット編)」東京女性財団(2000.3)
 58. 「東京都男女平等参画基本条例逐条解説」東京都生活文化局女性青少年部女性計画課(2000.3)
 59. 「東京都の婦人学級30年 パート」東京都婦人学級史研究会(2000.3)
 60. 「都心に新型保育園・学童館を！アンケート調査結果：働く母親とその家族の生活実態と保育ニーズ」都心子育てニーズ研究会(2000.6)
 61. 「ドメスティック・バイオレンス(DV)を考える」朝日新聞大阪厚生文化事業団、大阪市女性協会(2000.3)
 62. 「ドメスティック・バイオレンス家庭における女性と子どもの被害」女性のためのアジア平和国民基金(2000.3)
 63. 「日韓教育比較調査報告書：中学生・高校生の比較調査から」日韓文化交流基金(2000.1)
 64. 「NO! 「女性に対する暴力」：すべての女性に自由と安心を」福岡市女性協会(2000)
 65. 「パートタイマー白書：女性の就労と家事・育児との両立問題」株式会社アイデム(2000.1)
 66. 「働き方を変えて、暮らし方を変えよう」東京女性財団(2000.3)
 67. 「犯罪被害者としての女性と子どもの人権」女性のためのアジア平和国民基金(2000.3)
 68. 「女(ひと)と男(ひと)のもっといい関係：お風呂はだれから？」彦根市(2000.3)
 69. 「平成11年度家庭教育カウンセラー活用調査研究委託事業報告書：子育てカウンセリング」北海道立社会教育総合センター(2000.3)
 70. 「ベトナムの女性(アジア女性シリーズ No.7)」アジア女性交流・研究フォーラム(2000.2)
 71. 「暴力の被害者を支援する相談員のためのハンドブック」女性のためのアジア平和国民基金(2000.3)
 72. 「ホームヘルパーの社会的評価の向上を目指して(平成11年度調査研究報告書)」福岡県女性財団(2000.3)
 73. 「痴呆性(ぼけ)老人を抱える家族全国実態調査報告書」健康保健組合連合会(2000.3)
 74. 「学びへの道標：相模原市の婦人学級のあゆみ」ピーアイビー出版(2000.2)
 75. 「箕面市における今後の女性政策のあり方について：提言」箕面市女性問題懇話会(2000.3)
 76. 「メディア・リテラシーとジェンダー」大阪府男女協働社会づくり財団(2000.3)
 77. 「りいぶるハンドブック：「男女共生社会の未来へ」」和歌山県女性センター(2000)
 78. 「恋愛・結婚データブック 1996-1999」株式会社オーエムエムジー(2000.4)
 79. 「連合中央女性集会報告書 1999」日本労働組合総連合会(2000.3)
 80. 「Changing lenses : women's perspectives on media」Isis International-Manila(1999)
 81. 「Monitoring women's sexual and reproductive health and rights」K.U.L.U.-Women and development(2000)
 82. 「The present status of gender equality and measures : Third report on the plan for gender equality 2000 : outline」Prime Minister's Office(1999.4)
 83. 「Searching for a non-violent life : case studies from the emergency homes」Gender and development research institute(1999.7)

新刊案内

『男女共同参画、はじめの一步を家庭から：家庭教育事業推進のための理論と実践』

国立婦人教育会館では、平成10年度から文部省の委嘱を受け「男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究」を3年計画で進めています。このたび、2年次の研究成果として、男女共同参画の視点に立って家庭教育に関する生涯学習関係事業を企画・実施するための参考資料となるブックレット「男女共同参画、はじめの一步を家庭から - 家庭教育事業推進のための理論と実践 - 」を作成しましたのでどうぞご利用ください。

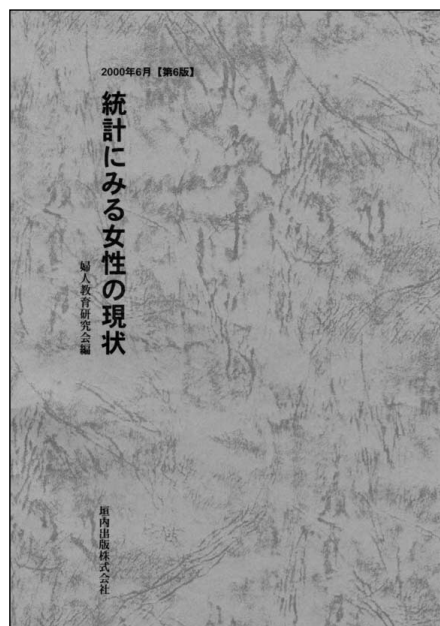
(大蔵省印刷局 予価460円+消費税)



『統計に見る女性の現状』

昭和62年から2年ごとに館内婦人教育研究会が企画・編集してきた『統計に見る女性の現状』の第6版が出版されました。平成10年12月現在でのデータ更新ですが、日本の女性が置かれている状況について政府統計資料を中心に男女の比較や国際比較を含めて掲載しています。構成は、人口・人口動態、家族・家庭、健康・福祉、教育・学習、労働、社会的活動、女性・家族に関する意識の7分野と女性の地位の国際比較です。婦人教育・家庭教育事業企画の基礎的な参考資料として、学習の教材として広くご利用ください。

(垣内出版株式会社 2,100円+消費税)





編集後記

暑かった夏も峠を越えて、朝晩はすっかり秋らしくなってきましたが、今号では本年6月にニューヨークで熱い議論がかわされた「国連特別総会「女性2000年会議」」を特集してお送りいたします。館長の報告「女性2000年会議に参加して」と、國信潤子氏からいただきました「NGOの目から見た女性2000年会議」の文章から「女性2000年会議」の雰囲気伝わってまいります。

会館事業においても「女性2000年会議」を念頭に置きながら実施いたしておりますが、「会館事業情報」の記事でその一端を紹介いたしております。また、8月には「女性2000年会議」の関連資料の特別展示を行い、その報告を掲載いたしました。

「WINET情報」も「女性2000年会議」の成果を生かして、より充実した情報を掲載していきたいと考えております。皆様のご意見、ご感想をお待ちいたしております。

(T.K)

WINET情報 No.6

発行日 平成12年9月30日

編集・発行 国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地

電話 0493(62)6711(大代表)

ホームページ URL <http://www.nwec.go.jp>

E-mail webmaster@nwec.go.jp

印刷 株式会社青松社

電話 03(3479)7111(大代表)

